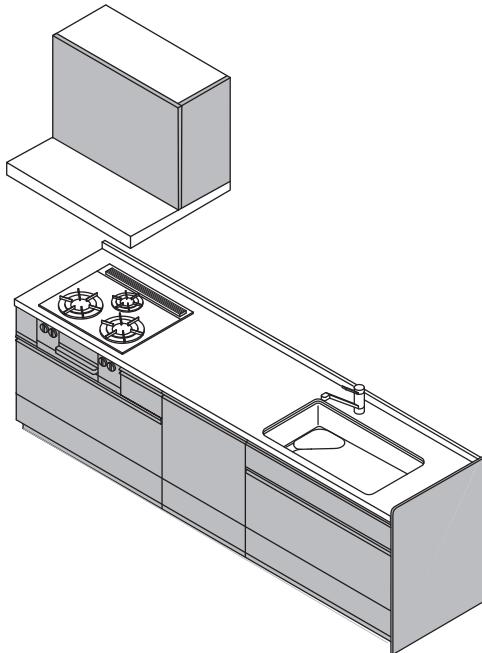


システムキッチン 取扱説明書 保証書付

CENTRO



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ	3
ご利用の前に	4
安全上の注意	8
キッチン全体の使い方	23
調理アイテムの使い方	26
収納アイテムの使い方	
- キャビネット	44
- 吊戸棚	70
- キッチン周辺収納	77
- キッチン対面収納	90
その他部材	92
アクセサリーパーツのご案内	97
こんなときは	102
保証書	103



※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

W103411000

2507B-104-01

CENTRO（セントロ）の特徴

1
ご利用の前に

CENTRO（セントロ）は、調理機能、収納機能、デザインなど、様々な魅力を備えたシステムキッチンです。「食」をもっと大切にしたいという想いのもと、究極の道具としてカタチにしたキッチンには、様々な特徴があります。



清潔で丈夫な「ステンレスキャビネット」

ステンレスはさびにくく、カビがつきにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

参照

3.1. キッチン全体の使い方 P.23~25



キッチンワークを効率的にする「センターポジション設計」

キッチンの中央に立ち、効率的に作業を行うことができます。

引出しのレールにはオーストリア・ブルム社製の最上位レール「レグラボックス」を採用し、なめらかなスライド性能で、大容量の引出しもスムーズに引き出すことができます。

参照

5.1. キャビネットの収納例 P.44~45



足元のスペースを有効に使える「フロアコンテナ」

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。

置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

参照

5.1. キャビネットの収納例 P.44~45



汚れに強いコーティング「美コート」

美コートワークトップとステンレスシンクには、しつこい汚れも簡単に落とせるセラミック系特殊コーティングの「美コート」を施しています。日々のお手入れをサポートして、簡単にきれいを保つことができます。

参照

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.26~34



耐久性と美しさをあわせ持つ「セラミックワークトップ」

磁器やガラス、天然水晶で構成され、変色・熱・傷・汚れに強い素材です。

スペイン・コセンティーノ社の高品質素材「DEKTON®」を採用し、洗練されたキッチンを演出します。

参照

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.26~34

もくじ

● 本書について

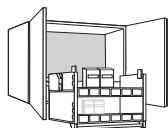
- ・キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- ・本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- ・シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- ・「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。
- ・本書に記載の「DEKTON®」はスペイン・コセンティーノ社の登録商標です。

1. ご利用の前に	
1.1. 各アイテムのなまえ	4
1.2. お手入れスケジュール	6
1.3. 定期的な点検	7
2. 安全上の注意	
2.1. 安全上の注意	8
2.2. 重量に関する規定	21
3. キッチン全体の使い方	
3.1. キッチン全体の使い方	23
4. 調理アイテムの使い方	
4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク	26
4.2. 排水口周り	35
4.3. かってにクリントラップ	38
5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット	
5.1. キャビネットの収納例	44
5.2. 包丁差し	46
5.3. ツールボックス	50
5.4. シャローパレット	51
5.5. 立て置き収納	52
5.6. シンクキャビネット（コンセント付）.	55
5.7. コンロキャビネット・コンロ横引出し	57
5.8. コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）.	58
5.9. ボトル収納スライドキャビネット	59
5.10. 網カゴスライドキャビネット	60
5.11. 家電収納タイプベースキャビネット	61
5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口	62
6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚	
6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた	70
6.2. ムーブダウン吊戸棚	71
6.3. プルダウン吊戸棚	72
6.4. ハンドムーブ	74
7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納	
7.1. システムエリア収納	77
7.2. リサイクルゴミワゴン	78
7.3. 片面フロア・片面／両面ハイフロア・ 片面カッパボード・コーナーパントリー	79
7.4. コンバーチブル収納	82
7.5. リビング収納	87
7.6. ダイニングテーブル	88
8. 収納アイテムの使い方 - キッチン対面収納	
8.1. デュアルトップ対面 ハイタイプ上台	90
8.2. デュアルトップ対面 デスクタイプ	91
9. その他部材	
9.1. プッシュラッチ・扉開放防止部品・コーナーアングル .	92
9.2. フロントスクリーン	93
9.3. 照明器具	93
9.4. 壁パネル	94
10. アクセサリーパーツのご案内	
10.1. シンクアクセサリーパーツ	97
10.2. 引出しオプションパーツ	98
10.3. 便利アイテム	100
11. こんなときは	
11.1. Q & A	102
保証書	103

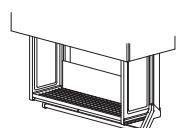
1.1. 各アイテムのなまえ

収納アイテム

吊戸棚



ムーブダウン



ハンドムーブ

参照

- ・安全上の注意：吊戸棚 P.16
- ・重量に関する規定：プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ P.21
- ・使い方：収納アイテムの使い方一吊戸棚 P.70～76

キャビネット

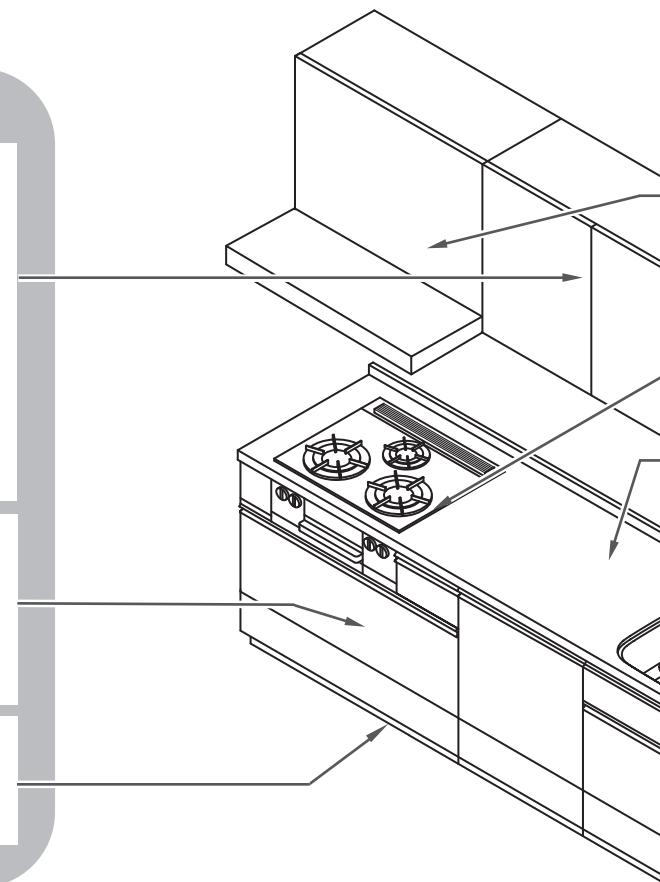
参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.10～15
- ・重量に関する規定：キャビネット P.21
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.44～45
- ・使い方：キャビネット P.44～69

フロアコンテナ

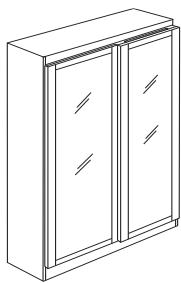
参照

- ・安全上の注意：フロアコンテナ P.15
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.44～45

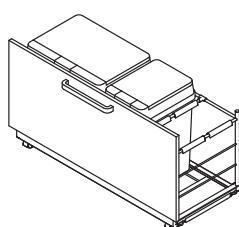


各アイテムの名称と参照先は、図のとおりです。

キッチン周辺収納



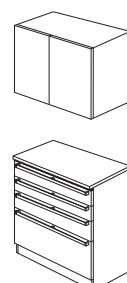
システムエリア収納



リサイクルゴミワゴン



片面ハイフロア下台・中台・上台



参照

- ・安全上の注意：キッチン周辺収納 P.17～18
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：システムエリア収納 P.77

参照

- ・安全上の注意：リサイクルゴミワゴン P.14
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：リサイクルゴミワゴン P.78

- ・安全上の注意：
キッチン周辺収納 P.17～18
- ・重量に関する規定：
キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：片面フロア・片面ハイフロア
P.79～81

調理アイテム

レンジフード

参照

- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

調理機器

参照

- ・安全上の注意：調理機器・組込機器類 P.11
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

ワークトップ

参照

- ・使い方：ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク P.26～34

水栓

参照

- ・安全上の注意：水栓 P.12
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

シンク

参照

- ・安全上の注意：シンク P.12
- ・使い方：ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク P.24～32

排水口

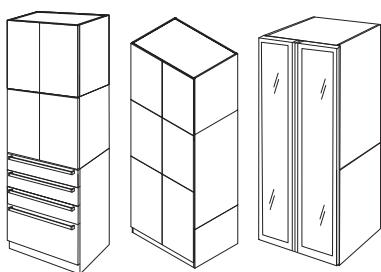
参照

- ・使い方：排水口周り P.35～37

取扱い方法・お手入れに関する動画
は、こちらの2次元コードから
ご覧ください。



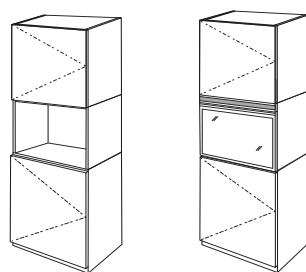
※取扱い方法・お手入れの動画がない商品・部位もございます。
※ご利用いただく際に発生する通信料などは、お客様の
ご負担となりますので、予めご了承ください。



片面カップボード

参照

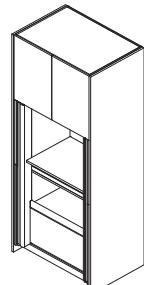
- ・安全上の注意：
キッチン周辺収納 P.18
- ・重量に関する規定：
キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：片面カップボード
P.79～81



ウォール家電収納

参照

- ・安全上の注意：
キッチン周辺収納 P.17
- ・重量に関する規定：
キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：ウォール家電収納
P.79～81



コンバーチブル収納

参照

- ・安全上の注意：
キッチン周辺収納 P.17
- ・重量に関する規定：
キッチン周辺収納 P.22
- ・使い方：コンバーチブル収納
P.82～86

1.2. お手入れスケジュール

お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチンは、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> ワークトップ（カウンター類を含む）：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。 排水口：浅型カゴにたまつたゴミを捨てる。 引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。 調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。 調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。 レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度 または 汚れてきたら	<ul style="list-style-type: none"> ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。 排水パイプ（ホース）：防臭ワンまたは防臭パイプを取り出す。洗い桶に1～2杯（5～10ℓ）のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。 水栓：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。 引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。 壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	<ul style="list-style-type: none"> 排水トラップ本体、防臭ワンまたは防臭パイプ：洗剤をつけたスポンジや洗浄ブラシでこすり落とし、水で洗剤を洗い流す。 ※かってにクリントラップの場合は、汚れてきたら、もしくは、臭いやつまりを感じたら、お手入れをしてください。 排水パイプ（ホース）：排水プレート～防臭ワンまたは防臭パイプを取り外して排水パイプ用洗浄剤を、排水パイプ（ホース）に注ぎ、洗浄する。洗浄後は、十分に水を流す。 レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"> レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。 浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO

洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

1.3. 定期的な点検

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ワークトップ（カウンター類を含む）やシンクに水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

参照 ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.26～34、Q & A P.102

- ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- 水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

参照 ガスコンロ、水栓について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- 汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなります。
- 床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

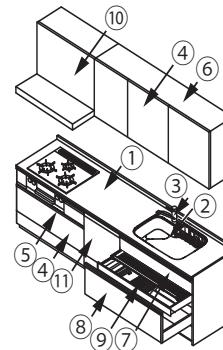
定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーへッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財等の破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	扉の裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
⑧引出し	安全点検	引出しが変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ点検	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。	水漏れ	水漏れによる家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**警告**

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。

**注意**

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



この行為は禁止されています。

禁止



この行為は、注意が必要です。



この行為を必ず実行してください。

必ず実行



特定の条件で特定の場所に触ると、傷害が起こる可能性があります。

接触禁止



製品をぬれた手で扱うと感電する
恐れがあります。

ぬれ手禁止



引出しや扉などで手をはさむことで、
傷害が起こる可能性があります。

手をはさまれないよう注意



特定の条件で発火の恐れがあります。

発火注意

**キッチン全体**

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

発火注意

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

発火注意

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



調理機器を使っているときは、その場を離れない。

発火注意

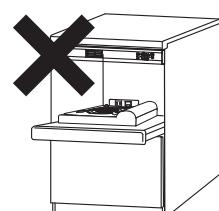
高温になりすぎて、火災の原因になります。



キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

発火注意

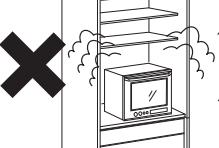
キャビネットが加熱され、火災の原因になります。



システムエリア収納に蒸気を発生させる電気製品を置いて使用しない。

発火注意

キャビネットの変形・変色や、火災の原因になります。





コンバーチブル収納 カウンタータイプ(中台)、デスクタイプ(中台)にオープンレンジ・電子レンジを置いて使用しない。

扉を閉めて使用した場合、火災の原因になります。



キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



吊戸棚本体がグラついたり、壁との間にすき間が空いているときは使用を中止する。

吊戸棚が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙



扉が傾いていたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

必ず実行

扉が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的にご確認ください。

参考 5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口 P.62 ~69



マグネット製品を使用する際は電子機器類の影響に注意する。

誤作動をまねく恐れがあります。また、心臓用ペースメーカーをお使いの方は、必ず 30cm以上離してご使用ください。

コンセント全般



製品を分解・改造・修理をしない。

発火注意

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発火注意

発熱により、火災の原因になります。



たこ足配線をしない。

発火注意

発熱により、火災の原因になります。



ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

ぬれ手禁止

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



電源コードを引っ張るなど、コンセントに無理な力をかけて使用しない。

発火注意

破損による、感電・火災の原因になります。



コンセントに水・洗剤・スプレーをかけない。

発火注意

破損による、感電・火災の原因になります。



表面被覆が傷ついた電源コードを使用しない。

発火注意

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



電源コードを無理に曲げたまま使用しない。

発火注意

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



コンセント、電源プラグについていた水や汚れは、必ず乾いた布できれいに拭き取ってから使用する。

必ず実行

破損による、感電・火災の原因になります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

警告**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**

液体がすき間からコンセント内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。

**先端の曲がった電源プラグは使用しない。**

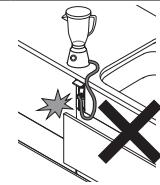
破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持ってまっすぐに引き抜く。**

破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。

**電源コードが垂れたまま、引出しなどを開けない。**

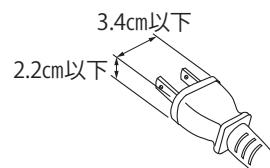
破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。

**キャビネット****●シンクキャビネット（コンセント付）****アース接続が必要な電気機器は使用しない。**

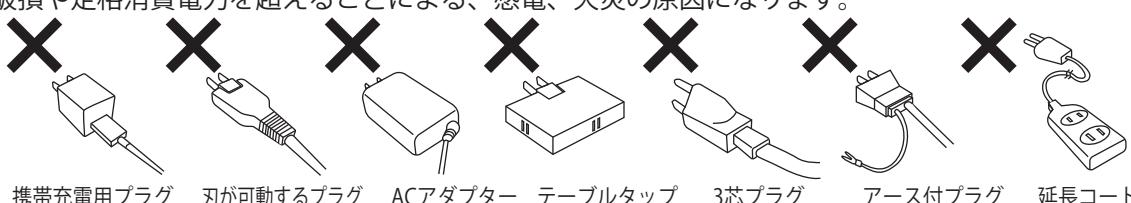
漏電により、感電の原因になります。

**コンセント差込口の根元まで差すことのできない電源プラグを使用しない。**

液体がすき間からコンセントユニット内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。

**規定のプラグコード以外を使用しない。**

破損や定格消費電力を超えることによる、感電、火災の原因になります。



携帯充電用プラグ 刃が可動するプラグ ACアダプター テーブルタップ 3芯プラグ アース付プラグ 延長コード

**コンセント差込口カバーが割れ・外れ・開きすぎた状態で、使用しない。**

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。

コンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

**コンセントユニットにガタつきや破損がある状態で、使用しない。**

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。

コンセントユニットにガタつき、破損がある場合やコンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

キッチン全体



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。
また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。



禁止

万一、ガラスが破損(ひび、欠けなど)したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。
ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙



禁止

取っ手、扉、引出し、化粧板、棚、ラック、ワゴン、リンクカウンター、ダイニングテーブルなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

破損し、ケガをする恐れがあります。

〈スイングダウン扉〉

〈ワゴン〉

〈吊戸棚〉

〈引出し、扉(取っ手)〉

〈コンバーチブル収納〉



必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



禁止

スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁などを載せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせ、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。



禁止

ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。



禁止

プッシュオープンの扉に寄りかかったり、蹴ったりしない。

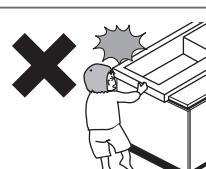
意図せず扉が開き、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

カウンターの角部に頭や体をぶつけないように注意する。

特に小さなお子様の場合、ケガをする恐れがあります。



調理機器・組込機器類



接触禁止

調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

シンク



禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない（※ JM/JL シンクを除く）。

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。また、排水管のつまりの原因になります。

水栓



必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様には注意してください。

コンセント全般



禁止

電源コードがぬれたり、加熱機器に電源コードが掛けたまま、使用しない。

断線・ショートによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

調理家電を使用時に、電源コードなどで遊ばないように注意する。

電源コードを引っ張り、調理家電や物が落下し、ケガ・やけどをする恐れがあります。



必ず実行

ときどき電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。

ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

キャビネット

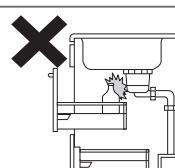
●シンクキャビネット



必ず実行

シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

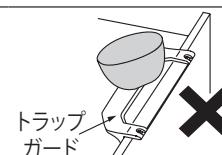
接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



禁止

トラップガードの位置を移動させたり、取り外したりしない。トラップガードの上に収納物を載せない。

収納物と排水器具が接触し、漏水の恐れがあります。



必ず実行

ツールコンテナなし用ロック付包丁差しのロックキャップがロック方向に回転しているか確認する。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



ロックキャップ



禁止

包丁差しを固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

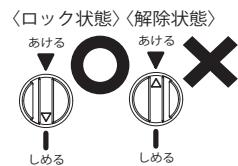


必ず実行

ロック付包丁差し（開き扉 / スライドキャビネット）

の前面カバーロック部は必ずロック状態で使用する。

前面カバーが外れて包丁がむき出しになる恐れがあります。



禁止

ロック付包丁差し（開き扉 / スライドキャビネット）の

前面カバーロック部つまみや溝につめを引っ掛け回さない。

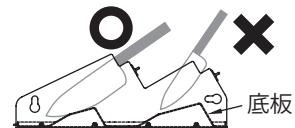
つめがはがれたり、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁を無理に引っ張らない。

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。



禁止

包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。

●シンクキャビネット（コンセント付）



禁止

調理家電を使用していないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、差込口カバーを閉め、コンセントユニットのフタも閉める。

液体がこぼれコンセントユニット内部に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



2.1. 安全上の注意

! 注意

●コンロキャビネット



ツールボックスに収納する場合は、排水器具に当たらないように、収納物の高さ、奥行きに注意する。

収納物が排水器具に当たると、排水器具が破損し、水漏れする恐れがあります。



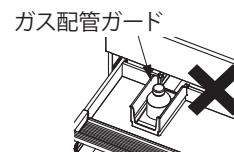
ツールボックスを操作する際は、必ず手掛け部分を持つ。

手掛け以外の部分を持って操作すると、他の部品に手や指をはさむ恐れがあります。



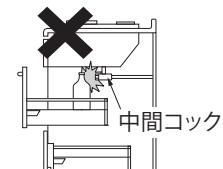
ガス配管ガードは絶対に外さない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



必ず実行
コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。

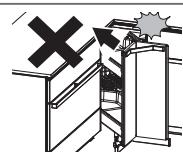


●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）、リサイクルゴミワゴン



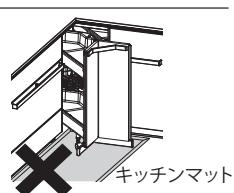
ワゴンを勢いよく動かさない。

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかりと支えながら移動してください。



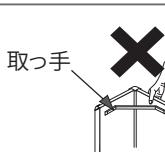
ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



必ず実行
ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。



ワゴンに、沸騰したやかんや鍋などを直接載せない。

やけどやワゴンの変形、破損の原因になります。



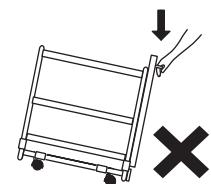
必ず実行
ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかりと支えながら移動する。

転倒する恐れがあります。



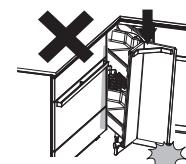
ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



ワゴンの収納量が少ない場合に、取っ手を握りながら下方向に力を加えない。

後方のキャスターが持ち上がり、ケガをしたり、床を傷つける恐れがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。



● フロアコンテナ



フロアコンテナを引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。

足をぶつけたり、転倒によるケガや、フロアコンテナが破損する恐れがあります。



フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業者やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさむ恐れがあります。



引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナが破損する恐れがあります。

● 開き扉、引出し、棚板



開き扉開閉時は、丁番には手を触れない。

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手を掛けない。

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



扉を大きく開けすぎない。

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



棚受けダボは確実に奥まで差し込む。

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

⚠ 注意**吊戸棚****● プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ共通**

禁止

操作部以外に手を掛けたり、機構部や本体のすき間に手を入れない。

手をはさむ恐れがあります。



禁止

収納物がはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットが破損する恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落し、ケガをする恐れがあります。また、ムーブダウン吊戸棚の場合は高さガイドバーより高いものを収納しないでください。



禁止

勢いよく昇降しない。

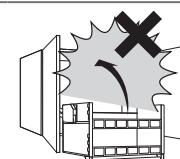
収納物が落し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

バネ切り替えレバーは、重量に対して適切にセットする。

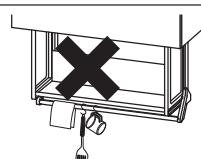
収納ラックが勢いよく戻ったり急降下したりして、収納物の落下や、収納ラックの変形・落下により、ケガをする恐れがあります。

**参考** 6.2. ムーブダウン吊戸棚 P.71、6.4. ハンドムーブ P.74～76

禁止

操作レバーにものを引っ掛けない。

収納物が落し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

棚は降ろしきった状態で使用する。

収納物が落し、破片でケガをする恐れがあります。



禁止

調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつける恐れがあります。

キッチン周辺収納

●扉付家電収納



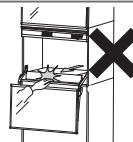
スイングダウン扉を降ろす際は、機構部に手を入れない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



スイングダウン扉に手を掛けたままスライド台を引き出さない。また、スライド台の下側を持って引き出さない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



●ウォール家電収納庫



オーブンレンジ使用後は、取っ手以外の扉周辺部に触れない。

接触禁止

オーブンレンジからの熱で熱くなり、やけどの恐れがあります。

●システムエリア収納



扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。

扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。

●コンバーチブル収納



調理家電を利用する際は、扉を閉めたまま使用しない。

禁止

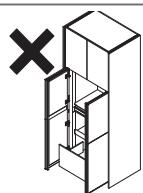
火災の恐れがあります。



扉を引き出した状態のまま使用しない。

禁止

扉を引き出した状態で使用するとケガや破損の原因になります。



扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

手をはさまれないよう注意

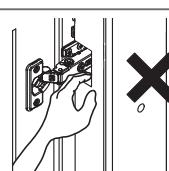
開閉する際は、取っ手の手掛け部分以外を持って開閉しないでください。手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



機構部を触ったり、すき間に手を入れたりしない。

禁止

機構部で手をはさんでケガをする恐れがあります。



勢いよく扉を開閉しない。

禁止

異音や破損・ケガの原因になります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

●片面カップボードパントリータイプ



必ず実行

脱落防止部品を取り外した後は、必ず元の位置に取り付ける。

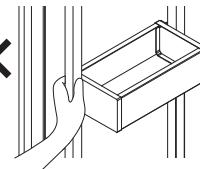
収納ラックが落下し、破損したり、ケガをする恐れがあります。



禁止

収納ラックのフレームやトレーの裏面に手をかけて扉を開閉しない。

扉とフレーム、トレーのすき間で指をはさむ恐れがあります。



対面型キッチン



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐに拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。



禁止

デュアルトップ対面ハイタイプ上台(コンロ側)、デスクタイプの収納部に水やぬれたものを置かない。

コンセントが水でぬれて、感電や漏電、火災の原因になります。



禁止

デュアルトップ対面ハイタイプ上台フラップダウン扉の上や、デュアルトップ対面のカウンターに体重をかけない。

金具が破損する恐れがあります。



禁止

サイド化粧板に体重をかけない。突っ張り棒など負荷をかけるものは使用しない。

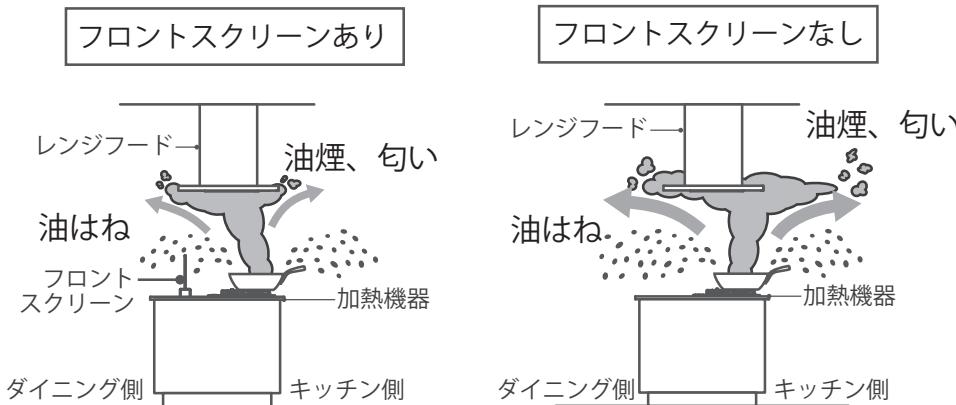
サイド化粧板がはずれてケガをする恐れがあります。



注意

「フロントスクリーンなし」の場合、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなったり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングに広がりやすくなるので注意する。

調理中の油はねなどにより、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなります。また、レンジフードが室内の空気の流れ（窓、エアコン、人の動きによる風など）の影響を受けやすくなるため、油煙を吸い込みにくくになり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングへ広がる場合があります。



●フロントスクリーン、防熱板



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

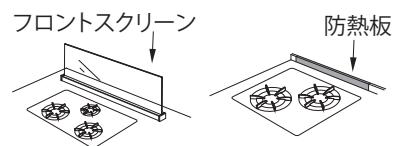
傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。
また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。



接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや
防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。



禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかからない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

万一、ガラスが破損（ひび、欠けなど）したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。
ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙

2.1. 安全上の注意



その他部材

● 照明器具



必ず実行

照明が取付器具に確実に取り付けられているか確認する。

照明が脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

点灯中や消灯直後（約5分間）は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

● マグネット製品



注意

マグネット製品を使用する際は電子機器類の影響に注意する。

誤作動をまねく恐れがあります。また、心臓用ペースメーカーをお使いの方は、必ず30cm以上離してご使用ください。

● ダイニングテーブル



禁止

ダイニングテーブルに腰かけない。テーブルに乗らない。

転倒し、ケガをする恐れがあります。

洗剤



必ず実行

キッチンで使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

固形または粉末の塩素系洗浄剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。



禁止

キッチンでは成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

2.2. 重量に関する規定



収納アイテム



収納アイテムに、収納物を無理につめ込まない。

引出しや棚板の変形の原因になります。

● キャビネット、棚板



必ず実行

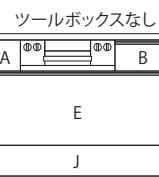
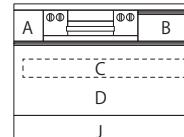
キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

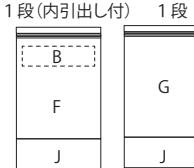
部位		耐荷重
A	コンロ横引出し	—
B	引出し	—
C	コンロキャビネット用 ツールボックス本体	手前 奥
D	ツールボックス付 コンロキャビネット引出し	—
E	引出し	—
F	引出し	間口 30cm / 45cm 間口 60cm~
G	引出し	間口 30cm 間口 45cm
H	シンクキャビネット用 ツールボックス本体 シャローパレット	— —
I	ツールボックス付 シンクキャビネット引出し	—
J	フロアコンテナ	—
スライドキャビネット		網カゴ ボトル収納
棚板		1枚
底板		1枚
※仕切り板が入っている場合でも、底板一枚です。 ただし、キャビネットが分割している場合は、 底板は一枚ずつになります。		20 kg 20 kg

MEMO 20 kg = 直径 26 cm の大皿 25 枚以内が目安です。

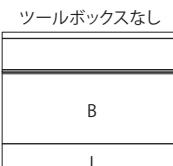
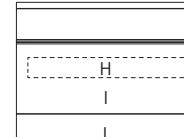
■ コンロキャビネット ツールボックス付



■ ベースキャビネット 1段(内引出し付)



■ シンクキャビネット ツールボックス付



● プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ

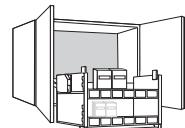


必ず実行

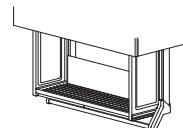
昇降ラック付吊戸棚の収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形や落下の原因となり、ケガをする恐れがあります。

部位		耐荷重
プルダウン吊戸棚	レードルラックタイプ(間口 45cm)	1 kg
	調味料棚タイプ(間口 45cm)	2 kg
	調味料棚タイプ(間口 30cm)	1.5 kg
ムーブダウン吊戸棚	15 kg	
ハンドムーブ	8 kg	



ムーブダウン吊戸棚



ハンドムーブ

2.2. 重量に関する規定

●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）

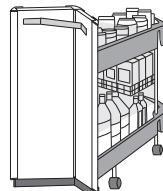


必ず実行

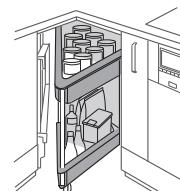
収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

特に、ワゴンの場合、下記の限度以上に収納したり、上段に重いものを載せてかたよったりすると、転倒する恐れがあります。

部位	耐荷重
コーナーワゴン 上段、下段それぞれ	10 kg
中段の網棚	5 kg
デルタトレー 上段、下段それぞれ	10 kg



コーナーワゴン



デルタトレー

キッチン周辺収納



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

限度以上の収納をすると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

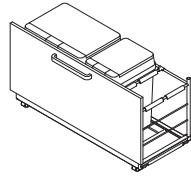
※片面ハイフロアコーナー用、コーナーパントリーは「全般」の奥行き 65cm を参照してください。

部位	耐荷重	
	キャビネットの奥行き	
	45 cm	65 cm
全般	棚板	20 kg
	引出し①浅型※	20 kg
	引出し②深型※	20 kg 40 kg
家電収納庫	スライド台	15 kg
	引出し（サーボなし）	20 kg
	引出し（サーボ付）	20 kg 40 kg
パントリータイプ 扉裏収納ラック	トレー 1 個	- 3kg
	全体	20 kg
	ポリ袋ストッパー	5 kg
リサイクルゴミワゴン	ゴミ箱	5 kg (1 個当たり)
	カウンター	90 kg
	棚板	20 kg
コンバーチブル収納 電子レンジタイプ	棚板	10 kg

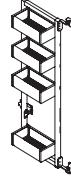
※ 引出し前板の高さが 20cm 以下のものは浅型、それ以上のものは深型に該当します。



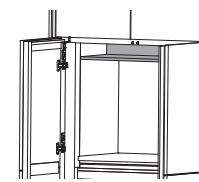
家電収納庫

リサイクル
ゴミワゴン

リビング収納



パントリータイプ

コンバーチブル収納
電子レンジ収納タイプ

対面型キッチン、その他部材



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、変形する恐れがあります。

部位	耐荷重
デュアルトップ対面/ハイタイプ上台	両面引出し 5 kg

3.1. キッチン全体の使い方

● 使用上の注意

●ステンレス部品（ステンレスワークトップ（カウンター類を含む）、ステンレス扉、引出し底板など）



禁止

ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



禁止

ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

●樹脂部品（人工大理石ワークトップ（カウンター類を含む）、プラスチック製品など）



禁止

樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油成分などを付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



禁止

樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

●開き扉・引出し・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット



禁止

家具用ワックス、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

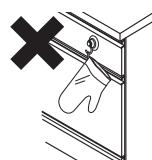
変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。



禁止

水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



禁止

開き扉・引出し前板やパネル類などにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

開き扉・引出し前板やパネル類などをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。



禁止

ガラス扉・ガラス棚板の裏面にはガラスクリーナーを使わない。

ガラス扉・ガラス棚板の裏面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内に洗剤などを保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。

3. キッチン全体の使い方

3.1. キッチン全体の使い方



注意

室内の温度や調理機器の使用時間、方法などによってコンロキャビネットやウォール家電収納および隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料・食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。



禁止

引出しを開けたまま、他の引出しを開けない。

引出しが自重で下がったり、左右のブレによって、扉どうしが干渉し、破損の恐れがあります。



禁止

間口の大きい引出しへは、取っ手の端部を持って開閉しない。

扉がガタつき、引き出しにくくなる恐れがあります。また、パネル類に干渉し、破損の恐れがあります。



禁止

扉にもたれ掛けたり、扉を前後に強く押さない。

扉がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



禁止

勢いよく扉を閉めない。

異音の発生や部品の破損の恐れがあります。



禁止

引出しを手前に引き出した状態で無理な力を掛けない。

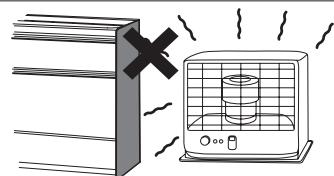
破損の原因となります。

●その他

禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



注意

ワークトップ、カウンター上に炊飯器などの蒸気を発生する機器を置いて使う場合、吊戸棚に直接蒸気がかかるないように留意する。

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



注意

食器洗い乾燥機の洗浄時・乾燥時の熱によってキッチンカウンター や隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。

お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・扉・引出し・棚板・取っ手

通常のお手入れ

- ・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

- ・ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。
- ・開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。
- ・ガラス扉・ガラス棚板の裏面は、飛散防止フィルム貼りのため、表面に比べて傷がつきやすくなっています。お手入れの際は、傷を避けるため、ほこりなどを柔らかいハケで払い落としてから、通常のお手入れを行ってください。

MEMO

- ・引出しの色が変わって見える場合がありますが、異常ではありません。
- ・引出しの色は照明などの影響で色味が変わって見えることがあります。

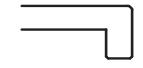
4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

CENTROのワークトップやシンク、カウンター類にはさまざまな種類の素材があります。

それぞれの素材の特徴や使用上の注意、お手入れのしかたをお読みになり、素材に合った使い方をしてください。

●各素材の特徴

素材名	対象部材	特 徴	ワークトップ前縁
ステンレス	ワークトップ シンク カウンター類	汚れに強く丈夫な素材です。 美コートワークトップやステンレスシンクには美コート(セラミック系特殊コーティング)を施しています(※1)。美コートは油汚れが落としやすく、日々のお手入れで簡単にきれいを保つことができます。 シンクの底面や美コートワークトップの調理面(※2)には、特殊エンボス加工を施しています。特殊エンボス加工により、食器や調理器具の接する面を小さくし、こすれキズがつきにくく、目立ちにくくします。	
アクリルストン	ワークトップ シンク カウンター類	美しい色合いを長く保てるアクリル系人工大理石です。 砂目調や石目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	
フォルテックス	ワークトップ シンク カウンター類	汚れに強いアクリル系人工大理石です。 一般的な人工大理石と比べて硬く、汚れがしみ込みにくい素材です。 ワークトップ表面とシンク底面には、岩肌調の凹凸を施しています。	
セラミック	ワークトップ カウンター類	ガラス、天然水晶で構成され、変色・熱・傷・汚れに強い素材です。 スペイン・コセンティーノ社の高品質素材「DEKTON®」を採用し、洗練されたキッチンを演出します。	
メラミン	カウンター類	カウンターとして使用できる耐久性の高い化粧板です。 砂目調や石目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	

※1 以下の部分には美コートが施されていません。

[ワークトップとシンクのつなぎ目(バイプレーションダークの場合)] [L型ワークトップのつなぎ目]

※2 特殊エンボス加工が施されたワークトップは、サテンエンボスとバイプレーションエンボスです。

また、以下の部分には特殊エンボス加工が施されていないため、傷の目立ち方が異なります。

[ワークトップ前縁部分とバックガード部分] [L型ワークトップのつなぎ目部分] [シンク側面]

[クラフツマンデッキシンクの上面・側面・デッキ部]

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

● 使用上の注意

● ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク共通



ワークトップをまな板代わりに使用しない。

禁止

傷がつく恐れがあります。



強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

禁止

破損の原因になります。



ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

禁止

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれの原因）などの恐れがあります。置く場合は鍋敷き（厚さ1cm以上）などを使用してください。



ワークトップの上で、低温調理をする際は、鍋敷き（厚さ1cm以上）を使用する。

必ず実行

変色・変形・ふくれ（ステンワークトップの場合、裏面接着剤のはがれ）の原因になります。



ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

禁止

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。



ワークトップやシンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。

禁止

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

特に濃色のワークトップやシンクは水あかや汚れが目立ちますので、こまめにお手入れをしてください。

参考 お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.28～29



食器や調理器具の置き方に注意し、引きずらない。

禁止

表面に傷がつく恐れがあります。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用下さい。

特に濃色のワークトップや鏡面仕上げのワークトップの場合は、傷が目立つので注意してください。

ヘアライン仕上げの場合は、加工の目方向と垂直方向に傷がつくと目立ちます。



硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

禁止

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油

鍋をシンクの中に直接置かない。

禁止

変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



シンクに多量の氷や、冷水を入れない。

注意

シンクの裏面や、その周辺が結露して、収納物や引出しをぬらす恐れがあります。

● ダークコートワークトップ・セラミックワークトップ（鏡面）



傷が目立つ恐れがあるので、取り扱いに注意する。

注意

目立つ傷が発生しても、補修することができません。

●アクリストン／フォルテックスワークトップ（カウンター類を含む）、シンク



禁止

還元水素水生成器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。



必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。



禁止

金属製の食器類や調理器具（フライパン、鍋など）をシンク底面にこすりつけたり、引きずったりしない。

フォルテックスワークトップやシンクのチャコール色／グレー色は、傷がついて白くなる場合があります。ホワイト色／ベージュ色は、金属の跡（メタルマーク）がつく場合があります。程度により補修できない場合があります。



禁止

研磨剤粒子つきスポンジやクリームクレンザーを使用しない。

フォルテックスワークトップやシンクのチャコール色／グレー色は、磨くと傷がついて白くなります。程度により補修できない場合があります。

●セラミックワークトップ（カウンター類を含む）



禁止

ワークトップ端部に、強い衝撃を与えない。

破損（割れ、欠けなど）の原因になります。破損した場合、補修はできません。



注意

ワークトップ前縁に体を押し付けたまま移動しない。

摩擦により、衣服が白くなったり、破れ、ほつれの原因になります。

●サポートプレート、クリンラック（BF/JX/JS/JM/JL/JT シンク用）

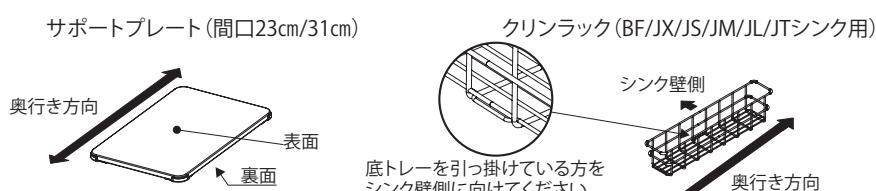


必ず実行

サポートプレートとクリンラックは必ず正しい向きで取り付け、シンクの段差に引っ掛けていることを確認してから使用する。

サポートプレートやクリンラックが落下し、破損やケガの恐れがあります。

MEMO 間口 46cm のサポートプレートには、前後左右の向きはありません。



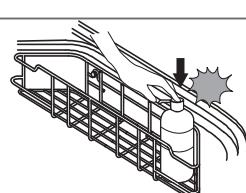
●クリンラック（SC/SK シンク用）



注意

クリンラック（SC/SK シンク用）の端にポンプ式などの洗剤を置いて強く押さないよう留意する。

クリンラックが傾いて収納物が倒れる恐れがあります。



4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

お手入れのしかた

お手入れ方法と洗浄具・洗剤



必ず実行

下表を参照し、適切なお手入れを行う。

ワークトップやシンクの材質によって、お手入れの方法が異なります。

以下の表を参照し、お使いのキッチンに合わせて、適切なお手入れを行ってください。

MEMO

お客様がお使いのシンクとワークトップの種類を確認し、表中の「お使いの商品」の欄にチェックマークを入れておくと便利です。

4

調理アイテムの使い方

		ワークトップ・シンクのお手入れ方法				
		通常のお手入れ				
洗浄具類 (参考事例)		ふきん・柔らかい布		スポンジ 『ウレタンスポンジ下面』 『ネット付スポンジ』		
洗剤類 (参考事例)		お使いの商品	—		食器用中性洗剤	
シンク	ステンレス (美コート付)		毎日のお手入れ		使用推奨 ①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 ③乾いた布で乾拭きする。	
	アクリストン		週1度のお手入れ			
	フォルテックス		汚れてきたら			
ワークトップ カウンター類	ステンレス (美コートなし)		毎日のお手入れ	週1度のお手入れ	使用推奨 ①洗剤をつけたメラミンフォームで汚れを落とす。 ②水を含んだ布で洗剤を拭き取る。 ③乾いた布で乾拭きする。	
	ステンレス (美コート付)		毎日のお手入れ			
	アクリストン		週1度のお手入れ			
	フォルテックス		汚れてきたら			
	セラミック		使用推奨 ①水を含んだ布で拭き取る。 ②乾いた布で乾拭きする。			
メラミン			使用推奨 ①洗剤をつけたメラミンフォームで汚れを落とす。 ②水を含んだ布で洗剤を拭き取る。 ③乾いた布で乾拭きする。			
<フォルテックス濃色・メラミンの場合> 注意 軽く拭き取ってください。 メラミンフォームで強く拭き取るとつやが変わることがあります。						

注意

- ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ・ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分が変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。
- ・クリームクレンザーやサンドペーパー、スポンジ（研磨粒子付）を使用する場合は、ワークトップの目立たない部分で傷が付かないか確認してください。

参照

1.2.お手入れスケジュール P.6 アフターサービスのご用命 裏表紙

MEMO

フォルテックスワークトップ・シンクで、表面の凹凸頂点の傷が目立つ場合は、水を含んだメラミンスポンジで磨くことで、目立ち方を軽減できます。

フォルテックスワークトップ・シンクで、金属製の調理器具等がこすれた際に、黒や銀色の跡（メタルマーク）が残る場合があります。水を含んだメラミンスポンジでこすることで跡を除去できますが、強くこするとつやが変わる恐れがあります。

※1 アクリストンワークトップ・シンクで、汚れや傷をお手入れした箇所とその周辺に光沢の違いが見られる場合は、クリームクレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。

※2 アクリストンワークトップ・シンクで、下記お手入れを実施したうえで傷や欠けが気になる場合、お買い求めの販売店または、クリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、補修ができない場合もあります。

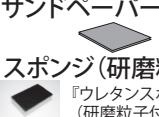
ワークトップ・シンクのお手入れ方法

落ちにくい汚れや水あか、傷のお手入れ

メラミンフォーム

『激落ちくん』
(レック株式会社)

サンドペーパー240番

『ウレタンスポンジ上面』
(研磨粒子付不織布部)

金属タワシ



クリームクレンザー（研磨材20%以下）

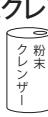
**注意**

傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、もらいサビの恐れがあります。



使用不可
①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
②通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

粉末クレンザー

**注意**

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



使用不可
傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。

注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



使用不可
①汚れがついた部分を磨く。
②通常のお手入れ同様に仕上げる。

MEMO ヘアライン仕上げの場合は、目方向と平行になるように磨いてください。

注意

傷や表面のつやの変化、もらいサビの恐れがあります。



使用不可
傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。

注意

傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、もらいサビの恐れがあります。



※1 ※2



①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
②通常のお手入れ同様に仕上げる。



傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。

注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



①汚れがついた部分を円を描くように磨く。
②通常のお手入れ同様に仕上げる。



傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。

注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

注意が必要な洗剤類



必ず実行

**洗剤類を使用する場合は、下表を確認のうえ、注意して使用する。
また、使用不可な洗剤は使用しない。**

ワークトップやシンクには、使用時に注意が必要な洗剤や使用できない洗剤があります。
洗剤類を使用する場合は、以下の表でご確認のうえ、注意してご使用ください。

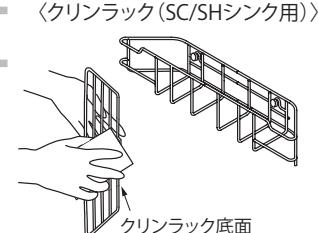
4

調理アイテムの使い方

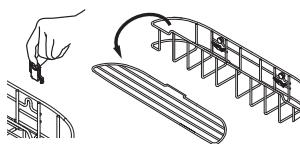
		ワークトップ・シンク用の洗剤	
洗剤類 (参考事例)		台所用漂白剤(液状)	台所用漂白剤(泡状)
液性・成分		塩素系の漂白剤・洗浄剤やアルカリ性の洗剤	
シンク	全て		●使用条件 必ず実行 洗剤の容器などに表示された使用方法に従い、適正な放置時間や希釈方法で使用してください。 使用後すぐに十分に水洗いしてください。
ワークトップ カウンター類	全て	条件付で使用可	

クリンラック・スリムラック・マルチバスケットのお手入れ

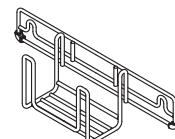
- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、ラックやバスケットを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。
汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。



〈クリンラック(SC/SKシンク用)〉



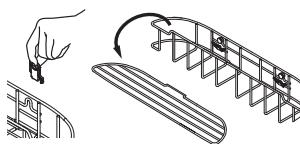
〈クリンラック(BWシンク用)〉



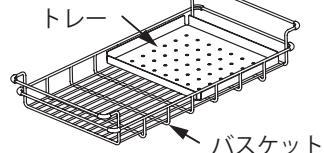
〈スリムラック(BWシンク用)〉

MEMO

- クリンラックは、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分だけを外して、お手入れすることができます。
- クリンラック(BWシンク用)はプロテクターを外してお手入れすることができます。



〈マルチバスケット〉



トレー バスケット

●マルチバスケットトレー部分(美コート付)

- 中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水で洗剤を洗い流してください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

注意

- トレーには美コートが施されています。ステンレス(美コート付)のシンクやワークトップ同様に、お手入れを行ってください。
- 汚れを長時間放置すると、こびりついで落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。

参照

4.1. お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.28 ~ 29

ワークトップ・シンク用以外の洗剤 ※ワークトップ用、シンク用ではないが使用する可能性のある洗剤類

排水パイプ用洗浄剤	排水パイプ用洗浄剤	排水口用洗浄剤	トイレ用洗浄剤など	業務用洗剤
				
塩素系のアルカリ性洗剤	ケイ酸塩 （「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表記している洗剤）	固形または粉末の塩素系の洗浄剤 （ヌメリ取り剤など）	酸性の洗浄剤 （塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗浄剤）	業務用洗剤



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。



使用不可

注意

腐食やサビの恐れがあります。



使用不可

注意

サビや変色の恐れがあります。



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

まな板ラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、まな板ラックを外し、小さなブラシを使ってお手入れしてください。

注意

樹脂部品の溝に、汚れがたまつたまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビやヌメリの原因となります。

4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

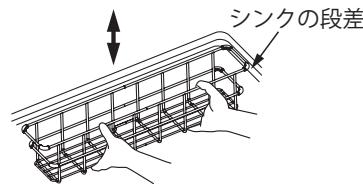
使い方

取り付け、取り外しは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出し、クリンラック底面を取り外してから行ってください。

クリンラック (BF/JX/JS/JM/JL/JT シンク用) の脱着

取り外し方

クリンラックを両手で持ち上げる。



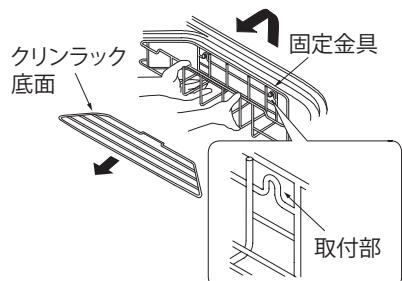
取り付け方

シンクの段差にクリンラックの上部を載せる。

クリンラック (SC/SH シンク用) の脱着

取り外し方

クリンラックの全体を持ち、一度上方へ平行に持ち上げてから手前に引く。



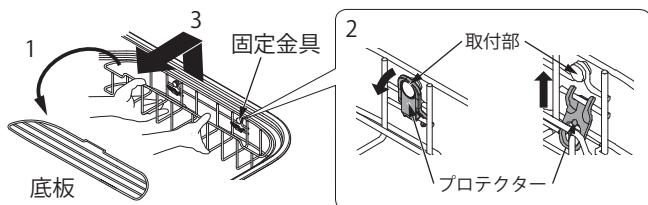
取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。

クリンラック (BW シンク用) の脱着

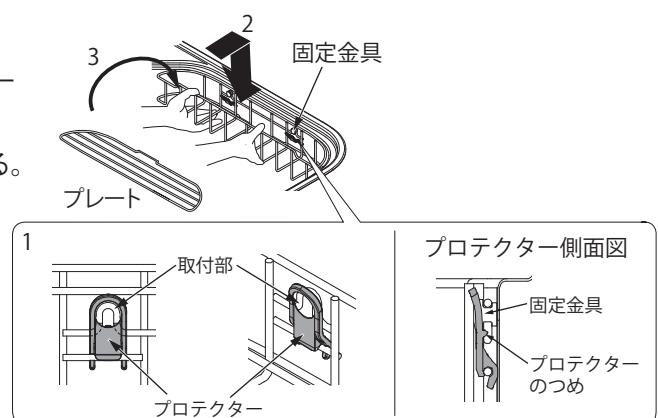
取り外し方

1. 底板部分を外す。
2. プロテクターを下げる。
3. クリンラック全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから手前に引く。



取り付け方

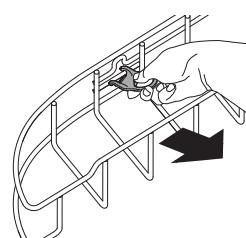
1. クリンラックの取付部の U 字とプロテクターの穴の円を合わせる。
2. 両端の固定金具に取付部を上から引っ掛ける。
3. 底板部分を戻す。



注意 プロテクターの後ろにあるつめが固定金具にしっかりと引っ掛かっていることを確認してください。

MEMO

プロテクター本体をお手入れする際は、プロテクターをクリンラックから取り外してください。クリンラックをシンクから取り外した状態で、クリンラックを押さえながら、プロテクターを斜めに引っ張ると外れます。



スリムラック (BW シンク用) の使い方

食品トレイやペットボトルの水切り、まな板やスポンジ置きなど様々な使い方ができます。
シンク内の固定金具だけでなく、クリンラックや水切りバスケットにも引っ掛けることができます。

MEMO まな板を置く場合は、必ずスリムラックを固定金具に取り付けた状態で置いてください。

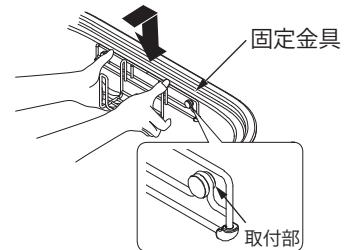
スリムラック (BW シンク用) の脱着

取り外し方

スリムラック全体を持ち、一度上方へ平行に持ち上げてから手前に引く。

取り付け方

シンクの固定金具に、スリムラック取付部を上から引っ掛ける。



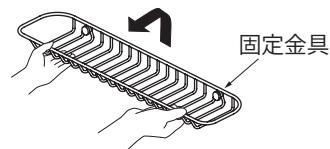
クリンラック (AE/AK シンク用) の脱着

取り外し方

スリムラック全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから手前に引く。

取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。



まな板ラック (BW/SC/SH シンク用) の脱着

取り外し方

フックの部分を内側に押してフックを外し、クリンラック・スリムラック (BW シンク用) からまな板ラックを外す。

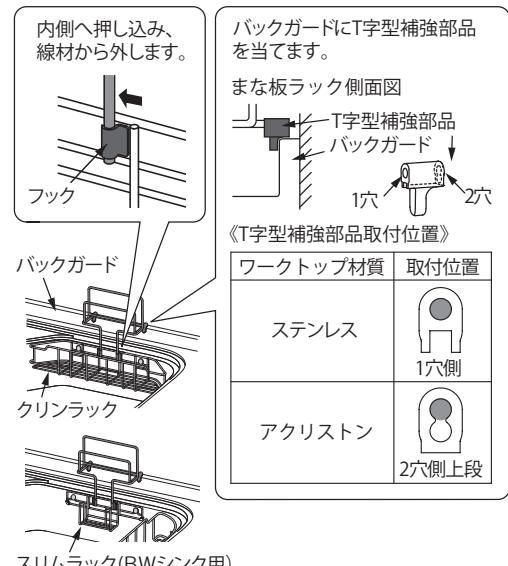
取り付け方

片側のフックをクリンラック・スリムラック (BW シンク用) にはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながらクリンラック・スリムラック (BW シンク用) にはめる。

T字型補強部品をシンクのバックガードに当たるように取り付け、まな板ラックを動かしてみて、クリンラック・スリムラック (BW シンク用) から外れないことを確認してください。

MEMO

- ・ つねにT字型補強部品がバックガードに当たるようにしてください。
- ・ T字型補強部品はワークトップの材質によって取付位置が異なります。取り外した場合は右図を参考に元の位置に取り付けてください。



注意 まな板ラック (BW/SC/SH シンク用) は、セラミックワークトップ、フルテックスワークトップには取り付けることができません。

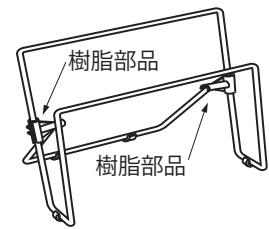
参照 アクセサリーパーツのご案内は下記ページを参照してください。
10.1. シンクアクセサリーパーツ P.97 ~ 98

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

まな板スタンドの使い方

- まな板スタンドは、ワークトップ上に広げて立て、まな板を立てるることができます。また、折りたたんでシャローパレットに収納することができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの線材に、上からはめ込んでください。
- まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、3.5cm以下です。

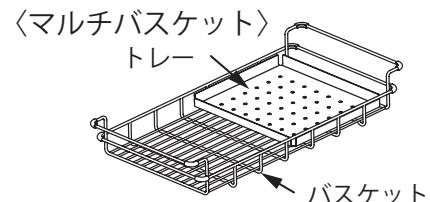


4

調理アイテムの使い方

マルチバスケットの使い方

- マルチバスケットは、バスケットにトレーを設置して使うことができます。
- バスケット単体で食器の水切りや作業スペースの拡張としての使い方ができます。また、バスケットとトレーを合わせて食品の水切りなど様々な使い方ができます。



4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口周り

● 使用上の注意

● 排水管共通



浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。

排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。



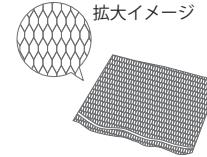
浅型カゴ、クリンコーナーにためたゴミは、こまめに捨てる。

半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

MEMO

水切りネットを使用した場合、ゴミがつまりやすくなる場合がありますので、よりこまめにゴミを捨ててください。

なお、ご使用になる場合は、下表を参考にしてご使用ください。

浅型カゴ	クリンコーナー
<p>小判型用／三角コーナー兼用などのストッキングタイプ ※20×15cm／20×20cmと記載のあるもの（伸張時） が目安</p> <p>拡大イメージ</p>   <p>使用時</p>	<p>三角コーナー用のネットタイプ ※25×25cmと記載のあるものが目安</p> <p>拡大イメージ</p>   <p>使用時</p>



浅型カゴのお手入れは、必ず排水口から取り外して行う。

設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



防臭ワンや防臭パイプ、防臭器は、通常使用時に取り外さない。

排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。

変色の恐れがあります。

使い方

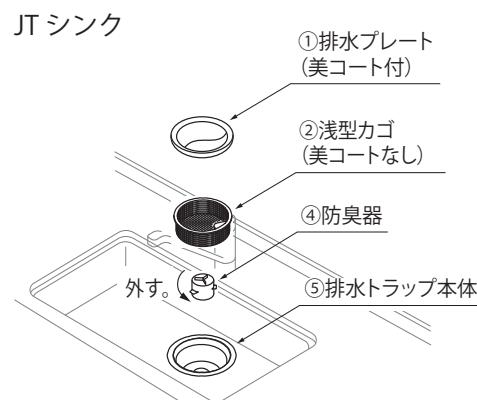
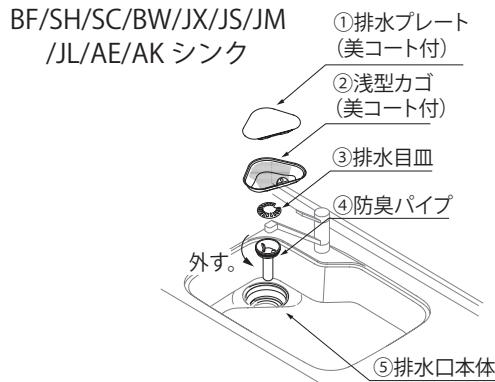
排水トラップの使い方

排水トラップは、下図のような構成になっています。

参考

アクセサリーパーツのご案内は、下記ページを参照してください。

10.1. シンクアクセサリーパーツ P.98



4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口周り

お手入れのしかた

部品ごとのお手入れ方法



下表を参考し、適切なお手入れを行う。

必ず実行

排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

MEMO

④防臭ワン / 防臭パイプ / 防臭器 (P.35 参照) の取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

注意

- 排水パイプ用洗浄剤を使用する場合は、必ず使用前に、洗浄剤の使用方法・注意をお読みください。
- 万一、使用不可の洗剤を誤って使用した場合やシンクやワーキングトップに洗浄剤が付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流してください。サビや変色の原因になります。

4

調理アイテムの使い方

	排水口周りのお手入れ方法	
	通常のお手入れ	
洗剤類 (参考事例)	食器用洗剤	
液性・成分	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤	
①排水プレート (美コート付)	週1度以上のお手入れ 使用推奨	<p>①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。</p> <p>MEMO ステンレス部分は美コートが施されています。 ステンレス(美コート付)のシンク同様の お手入れを行ってください。(P.28参照)</p>
②浅型カゴ (美コート付)	週1度以上のお手入れ 使用推奨	<p>①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。</p>
③排水目皿	月1度程度のお手入れ 使用推奨	<p>①洗剤をつけたスポンジや洗浄ブラシでこすり落とす。 ②水で洗剤を洗い流す。</p>
④防臭ワン/防臭 パイプ/防臭器	臭いやつまりを感じたら 使用推奨	<p>①洗剤をつけたスポンジや洗浄ブラシでこすり落とす。 ②水で洗剤を洗い流す。</p>
⑤排水トラップ本体	<かつてにクリントラップの場合> 汚れてきたら 臭いやつまりを感じたら 使用推奨	洗浄ブラシ 樹脂トラップ
⑥排水パイプ (ホース)	週1度程度のお手入れ 使用推奨	<p>①防臭ワン/防臭パイプ/防臭器を取り外す。 ②洗い桶に1~2杯(5~10ℓ)のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜる。 ③排水口に向けて勢いよく流す。</p>

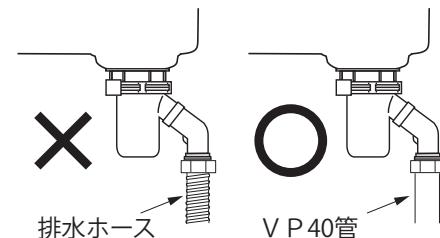
集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、下記点に注意し、洗浄業者と打ち合わせしてください。

- ・洗浄前に排水目皿と防臭ワン／防臭パイプ／防臭器を取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- ・排水口・排水トラップ・かってにクリントラップの場合はノズル部に高い水圧をかけないようにしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。
- ・集中洗浄（高圧洗浄）機についているホースは樹脂製を推奨します。（かってにクリントラップの場合は、高圧洗浄機のホースはΦ8程度のものを推奨します。）

注意

排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



排水口周りのお手入れ方法

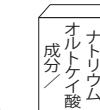
月1度のお手入れ・使ってはいけない洗剤

排水パイプ用洗浄剤



塩素系のアルカリ性洗剤

排水パイプ用洗浄剤



ケイ酸塩
（「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表記している洗剤）

排水口用洗浄剤



固形または粉末の塩素系の洗浄剤
（ヌメリ取り剤など）

トイレ用洗浄剤など



酸性の洗浄剤
（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗浄剤）

業務用洗剤



業務用洗剤



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。

月1度程度のお手入れ



条件付で使用可

●使用条件

- ・月1度程度のお手入れのみ使用する。
- ・排水パイプ（ホース）以外に付着した場合は、すぐに十分な水で洗い流す。

①排水プレート、浅型カゴ、防臭ワン／防臭パイプ／防臭器を取り外す。

②排水パイプ用洗浄剤を、直接排水パイプ（ホース）へ注ぎ、洗浄する。
直接排水パイプ（ホース）に注ぐ。



③洗浄後、十分に水を流す。



使用不可



使用不可



使用不可



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

注意

腐食やサビの恐れがあります。

注意

サビや変色の恐れがあります。

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水トラップ本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。

4.3. かってにクリントラップ

- ・ かってにクリントラップはトラップ内にきれいな水を噴射し、汚れた封水をきれいな水に入れ替えます。
- ・ タイマー運転（8時間に1回）により、定期的な洗浄運転を行うことで、封水内の汚水の腐敗や汚れの固着を防ぎ、トラップ内の手洗い時の手間を軽減します。

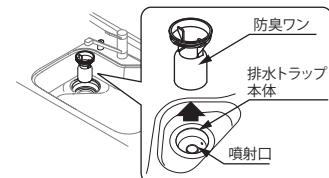


使用上の注意



噴射口にシャワーなどを意図的に直接かけない。

配管ホース内が汚染されたり、配管が詰まる恐れがあります。



排水トラップ内に噴射される水を飲まない。

この噴射口から噴射される水は飲料水ではありません。健康を害する恐れがあります。



洗浄運転中は水栓など水の使用を控える。

同時に水を使用すると水圧が下がり、洗浄効果が弱まる恐れがあります。また、水圧が下がりすぎるとエラー発生の原因になる場合があります。



タイマー OFF モードで使用する場合、8 時間に 1 回を目安に洗浄運転を行う。

定期的に洗浄を繰り返すことで汚れの付着を軽減するため、定期的に洗浄しないと洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。また、洗浄運転の間隔が 8 時間以上空くと、洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。汚れ・臭いなどを感じたら手洗いでお手入れを行なう。

参照 お手入れのしかた P.36 ~ 37



汚れ・臭い・つまりなどを感じたら、手洗いでのお手入れを行う。

かってにクリントラップは定期的に洗浄を繰り返すことで、排水トラップ内の汚れの付着を抑制するものであり、お手入れが不要になるものではありません。キッチンの使用状況や環境によって、洗浄効果は異なります。固着した汚れや繁殖したカビは、洗浄運転では除去できません。

参照 お手入れのしかた P.36 ~ 37



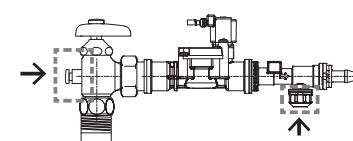
防臭ワンは、通常使用時に取り外さない。

取り外すと、排水管から悪臭が発生します。また、取り外した状態で洗浄運転が行われると、水がはねて家財等を濡らす恐れがあります。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



水抜き栓は、水抜き以外の目的で開けない。

漏水の恐れがあります。



スイッチのめっき部の剥がれはそのまま放置しない。

めっき部の剥がれや傷で、ケガをする恐れがあります。



スイッチの吸気口にシャワーなどを直接かけない。

電装部品が故障する恐れがあります。吸気口に水が入った場合、スイッチとシンクのすき間から水が漏れ出でますが、故障ではありません。



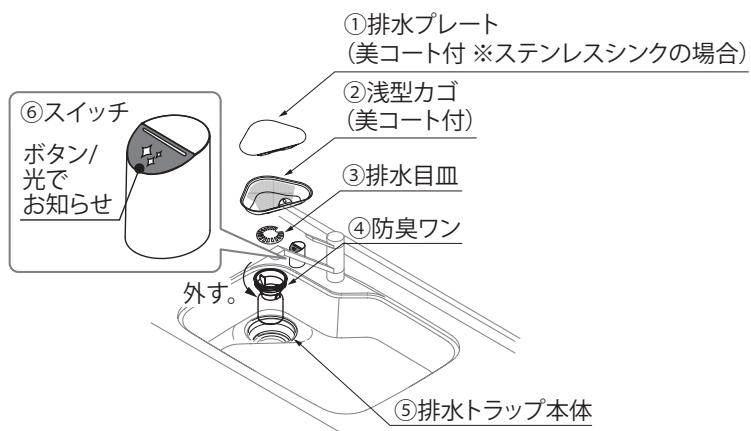
止水キャップを付けたまま、かってにクリントラップの洗浄運転をしない。

排水トラップ内部に圧力差が生じ、止水キャップが振動したり、漏水したりする恐れがあります。



使い方

かってにクリントラップは、下図のような構成になっています。



注意

- ・かってにクリントラップは定期的に洗浄を繰り返すことで、トラップ内の汚れの付着を抑制するものであり、お手入れが不要になるものではありません。キッチンの使用状況や環境条件によっても効果は異なります。
- ・水圧が低すぎる場合や、水栓などと一緒に水を使用していた場合、効果が落ちる場合があります。
- ・上水道に接続してください。(井戸水、温泉水では使用しないでください。)

電源の入れ方・消し方



- ・電源がONになると、タイマーONモードになります。
- ・2秒長押しで電源OFFにできます。

注意

長期間不在にする場合は、P.36～37「4.2 排水口周り」「部品ごとのお手入れ方法」を参照してお手入れを行った上、電源をオフにしてください。

4.3. かってにクリントラップ[®]

モードの選び方

かってにクリントラップは、2つのモードを搭載しています。

●タイマーONモード ※初期設定

- ・電源がONになると、タイマーONモードになります。
- ・タイマーONモードが設定されたタイミングから、8時間ごとに自動で洗浄運転を行います。

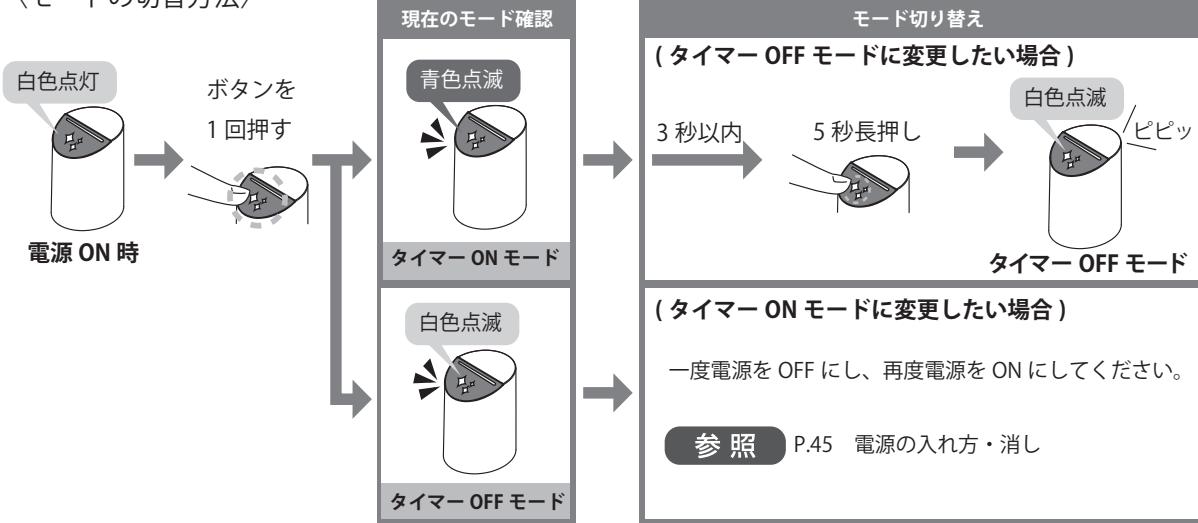
注意 ・タイマーONモードの場合、夜間に自動運転を行う場合があります。洗浄音が気になる場合は、タイマーオフモードをご使用ください。

●タイマーOFFモード

- ・お客様がご自分で操作して洗浄運転を行うモードです。タイマーによる自動洗浄運転は行われません。

注意 ・かってにクリントラップはタイマー運転(8時間毎の自動運転)により、定期的に洗浄を繰り返すことで、トラップ内の汚れの付着を抑制するものです。「タイマーOFFモード」を選択した場合でも、8時間に1回を目安に、手動で洗浄運転を行ってください。定期的に洗浄しないと洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。
・電源をOFFにすると再度「タイマーONモード」が設定されます。「タイマーOFFモード」にする場合は再度モードを切り替えてください。

〈モードの切替方法〉



参考

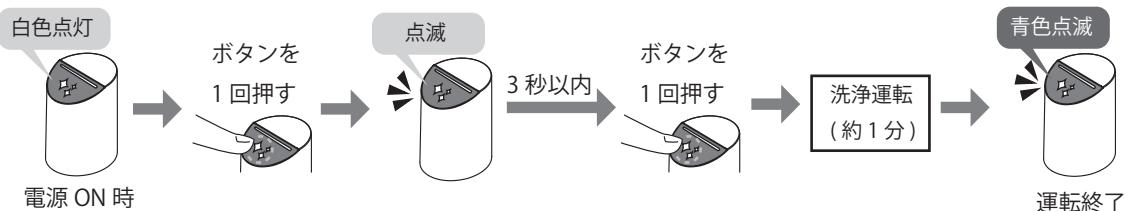
洗浄運転の操作方法は、下記ページを参照してください。

P.41 手動で洗浄運転したいとき

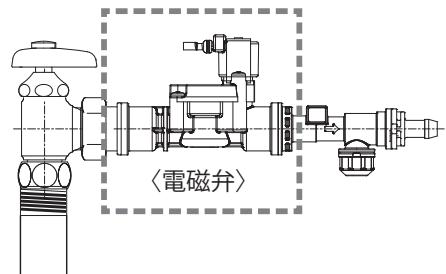
手動で洗浄運転したいとき

- ボタンを操作することで、手動で洗浄運転を行うことができます。
- 油分の多い汚れや色の濃い汚れが付いた食器や調理器具を洗った後などは、直後に洗浄運転を行うことで、排水トラップへの汚れの付着が軽減されます。（汚れの種類や環境条件により、洗浄効果に差が出る可能性があります。）

〈手動運転方法〉



- タイマー ON モードを設定中に手動で洗浄運転を行った場合、洗浄運転が終了したタイミングから 8 時間ごとに自動で洗浄運転を行います。
- 洗浄運転を連続で何度も行うと電磁弁が熱くなることがあります。運転後しばらくは電磁弁を触らないようにしてください。



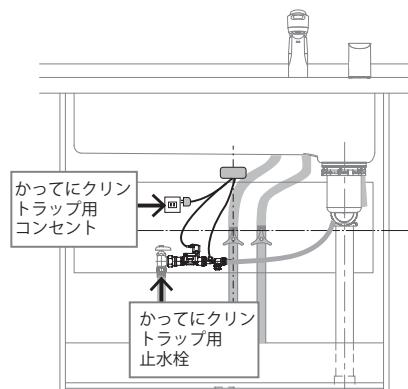
洗浄効果をより高めるために

- 普段の食器洗いを 40°C 程度のぬるま湯で行うことで、排水トラップ内の汚れの固着が緩和し、洗浄効果が高まります。
- 排水口に 40°C 程度のぬるま湯を流した後、手動で洗浄運転を行うことで、排水トラップ内の汚れの固着が緩和し、洗浄効果が高まります。

停電時・緊急時の対応

- 停電時は、かってにクリントラップの洗浄運転はできません。復旧後に電源を ON にしてご使用ください。
- 水漏れ等緊急時は、キャビネット内部にあるかってにクリントラップ用止水栓を止め、電源プラグを抜いてから、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙



4.3. かってにクリントラップ[®]

エラー表示

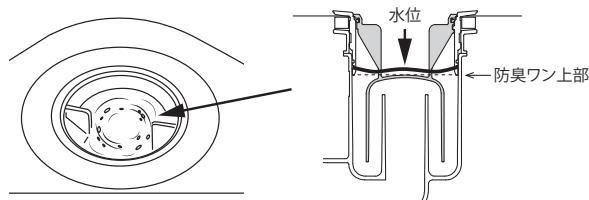
- エラーが発生すると、スイッチが赤く点灯し「ピーピー」というエラー音が鳴ります。
光の色や音のパターンを確認し、下表を参照して対応してください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙

	光	音	状況	対処方法
パターン①	赤く点灯 	ピピッピピッ… (5回)	給水量不足	①水栓など同時に使用している場合は水を止める。 ②止水栓が閉まっていたり、断水していないか確認する。 ③かってにクリントラップ用の止水栓を調節し、適正水圧にする。※1 ④解決しない場合は、止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン②	赤くゆっくり点滅 	ピーピー… (5回)	給水量オーバー	①止水栓を調節し、適正水圧にする。※1 ②解決しない場合は、止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン③	赤く早い点滅 	ピーピー… (30秒)	電磁弁閉栓エラー トラップ内に水が流れ続けています。	
パターン④	赤白交互に点滅 	ピピピピピピ… (30秒)	電磁弁（コイル）異常	止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン⑤	赤青交互に点滅 	ピピピピピピ… (30秒)	ACアダプター異常	

※1 適正水量の目安

洗浄運転時、防臭ワンの上部まで水位が上昇するのが適正水圧の目安です。
止水栓を回して水圧を調整してください。

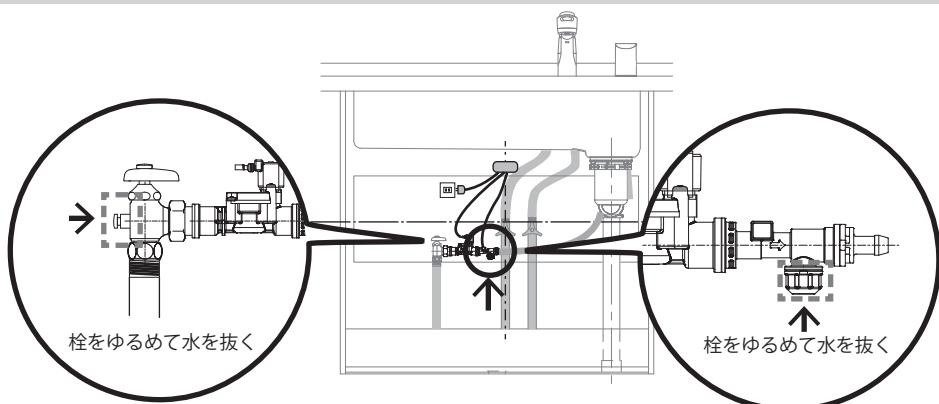


凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、下記に従って、水抜きを行ってください。水抜きを行わないと、凍結して部品が破損し、水漏れの原因になる恐れがあります。また、凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。

注意

- ・凍結が予想される場合は周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。氷点下になる場合は、凍結予防の処置を必ず行ってください。
- ・水抜きを行う場合、電源を OFFにしてから水抜きを行ってください。



お手入れのしかた

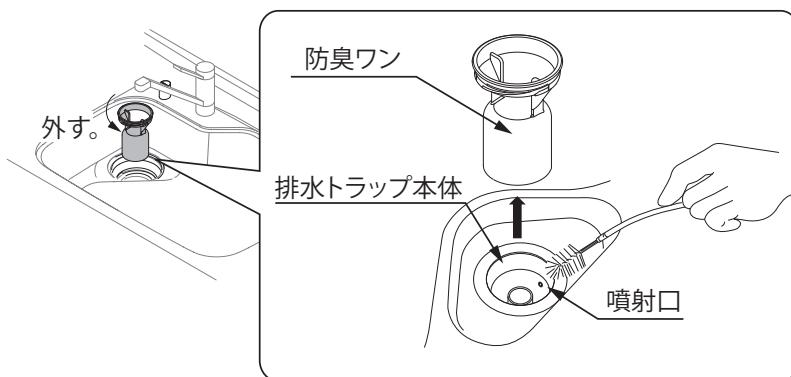
かってにクリントラップの排水口から嫌な臭いやつまりが発生する場合や、汚れてきた場合は、手洗いでのお手入れをしてください。

- ・防臭ワンを取り外して、防臭ワンと排水トラップ本体をスポンジやブラシで掃除してください。
- ・噴射口がつまらないよう、洗浄ブラシなどでお手入れしてください。

参考

排水トラップのお手入れ方法は、下記ページを参照してください。

4.2. 排水管周り P.36 ~ 37



仕様

- ・電源 交流 100V 50/60Hz 共通
- ・消費電力 常時：0.3W、作業時：5.0W
※電源 OFF の状態でも、0.2W の電力を消費しています。
- ・圧力条件 0.1MPa (流動時) ~ 0.75MPa (静止時)
- ・使用水量 約 1.7L (流動時 0.15Mpa の場合)

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.1. キャビネットの収納例

本項では収納例をご紹介します。豊富な収納を持つキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンには様々な形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご使用の商品とは異なる場合があります。

参照

収納に役立つアクセサリーパーツは下記ページを参照してください。

10.2. 引出しオプションパーツ P.98 ~ 100

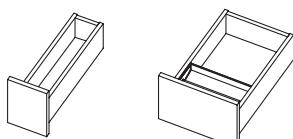
10.3. 便利アイテム P.100 ~ 101

コンロキャビネット

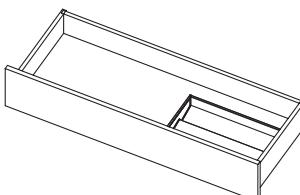
引出し部(1段目)

使用頻度の高い調味料を収納。
スパイス類、袋物調味料、小物調味料

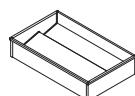
〈ガスコンロ・IH用〉



〈グリルレス用〉



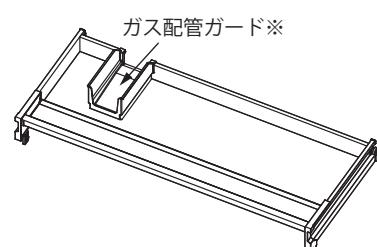
●アクセサリートレー(ワイド)



スパイス類、袋物調味料など

ツールコンテナ

ツールボックス(1段目)



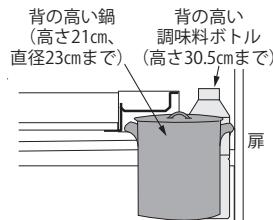
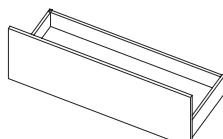
ガス配管ガード※

主に火周りで使用する調理道具や小さいフライパン(直径25cmまで)、片手鍋などの使用頻度の高い調理道具を、取り出しやすい場所にまとめてきれいに収納。手前部にはフライ返しやお玉などのレードル類を収納。



※ガス配管ガードはガス配管と収納物との干渉を防ぐために設置しています。収納物は絶対に入れないでください。

引出し部(2段目)



〈手前〉背の高い調味料ボトルや鍋を収納。
しょうゆ、みりん、酒、油、寸胴鍋など

〈奥〉火周りでよく使用する道具を収納。
大きいフライパン、背の高い鍋など

センターポジ

ベースキャビネット

使用頻度の高い収納

キッチンの中心

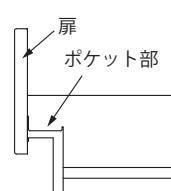
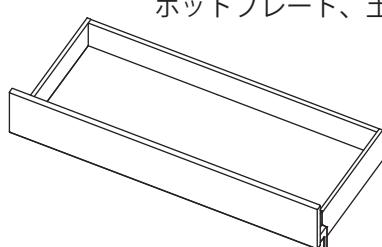
すぐに使いたいものを取

フロアコンテナ

使用頻度の低い鍋やフライパン、季節使いの調理器具を収納。

鍋、フライパン、カセットコンロ、

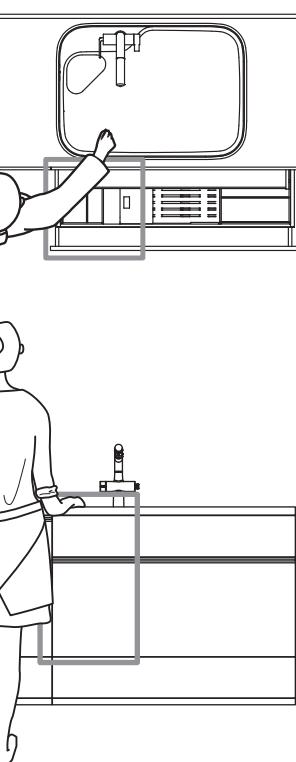
ホットプレート、土鍋など



ポケット部

家庭用油凝固剤





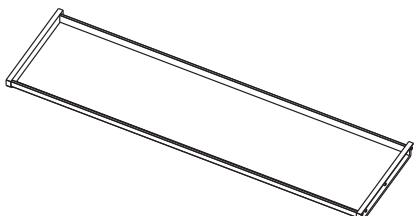
シヨン設計

ネットの周りに収納物を置くことで、立ったまま、取り出すことができます。

シンクキャビネット

ツールコンテナ

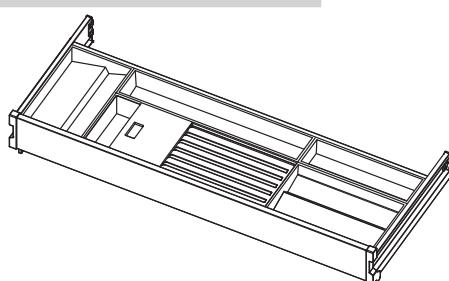
シャローパレット (1段目)



まな板、ふきんなど



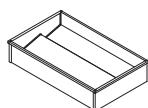
ツールボックス (2段目)



主に水回りで使用する調理道具、調味料などの使用頻度の高い収納物を、取り出しやすい場所にまとめてきれいに収納。トレイや包丁差しは簡単に取り外せる為、お客様の使いやすい場所に配置できます。

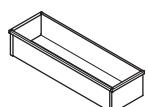


●アクセサリートレー (ワイド)



スパイス類、計量スプーン、コルク抜き、缶切り、栓抜き、しゃもじなど

●アクセサリートレー (スリム)



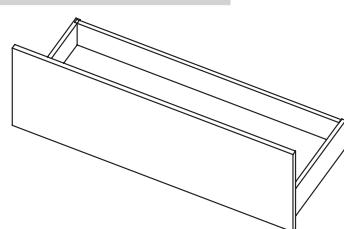
ラップ、アルミホイル、菜箸、めん棒など

●ロック付包丁差し



40cmまでの長さの包丁 5本

引出し部 (3段目)

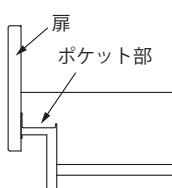
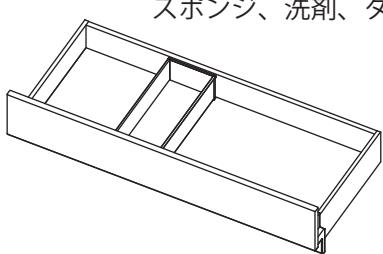


水回りでよく使用する道具を収納。ボウル、ざる、計量カップ、はかり、ふるい、トレー、樹脂容器など

フロアコンテナ

使用頻度の低い家電や、清掃道具などの日用ストック品を収納。

缶詰、ビール (500ml)、樹脂容器、お弁当箱、
スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤など



パーテーショントレー

引出し内を仕切りながら、ストック用の食材類を並べて収納。

ストック用レトルト類など、使用頻度が低い食材



ポケット部

ラップ、アルミホイルなどのストック品、ゴミ袋、スポンジなど



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

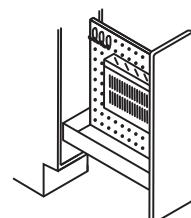
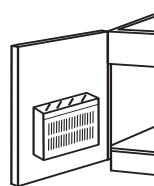
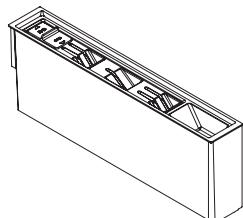
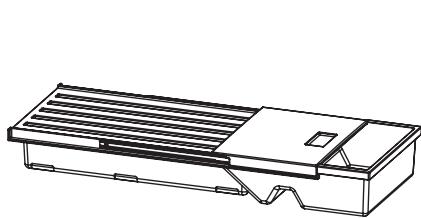
包丁差し（ロック付）は4種類のタイプがあります。ご使用の包丁差しをご確認の上、お読みください。

〈ツールコンテナ用
ロック付包丁差し〉

〈ツールコンテナなし用
ロック付包丁差し〉

〈ロック付包丁差し
(開き扉)〉

〈ロック付包丁差し
(スライドキャビネット)〉



● 使用上の注意



必ず実行

包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。

● 使い方

収納できる包丁の本数・大きさ

部位	収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ツールコンテナ用 ロック付包丁差し	差込口（大）	2本	250mm以下	8mm以下
	差込口（小）	3本	250mm以下	5mm以下
ツールコンテナなし用 ロック付包丁差し※	差込口（大）[前後]	2本	210mm以下	10mm以下
	差込口（小）[前後]	2本	210mm以下	6mm以下
	差込口（小）[中央]	1本	250mm以下	6mm以下
ロック付包丁差し (開き扉、スライドキャビネット)	差込口（大）	1本	215mm以下	6mm以下
	差込口（小）	3本	215mm以下	4mm以下

注意

- 包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。
- 包丁のサイズ、形式によっては包丁が傾いて収納され、包丁差しの底面を傷つける場合があります。

MEMO

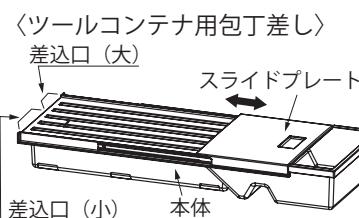
包丁差しによっては差込口が大小2タイプあるものがあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口（大）に収納してください。

※ツールコンテナなし用ロック付包丁差しでは、差込口により、収納できる包丁が異なります。刃先側の差込口に収納できない場合、柄側の差込口に収納できないかをご確認ください。

ロックのしかた

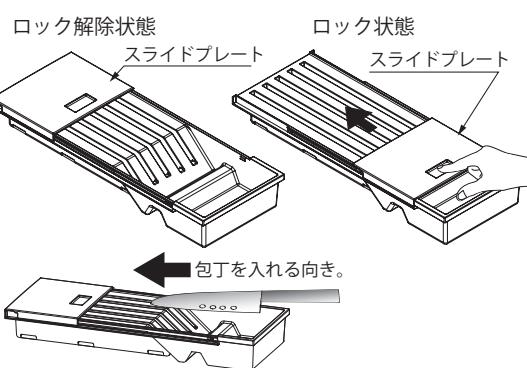
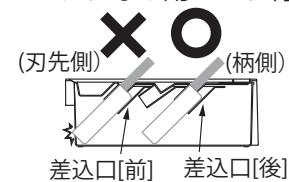
●ツールコンテナ用ロック付包丁差し

スライドプレートを包丁の柄の方向へスライドさせると包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、スライドプレートを押しながら、包丁の刃先方向へスライドさせてください。



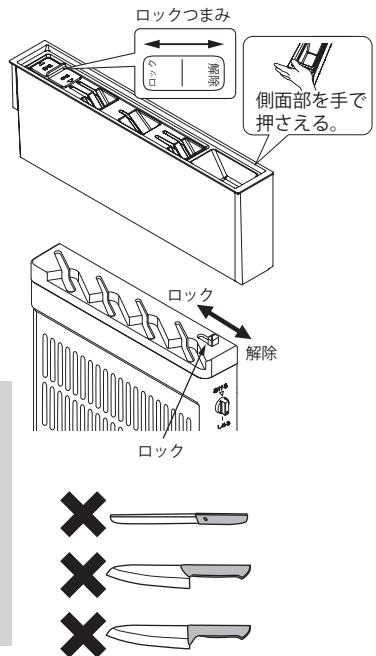
〈ツールコンテナ用包丁差し〉

〈ツールコンテナなし用ロック付包丁差し〉



●ツールコンテナなし用ロック付包丁差し

包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを下へ押しながら「解除」方向へずらしてください。(側面部を手で押さえると操作がしやすくなります。)



注意

- ・サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- ・刃と柄の部分に段差の少ないものや、柄の形状によっては、ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ・ロックをかけるときは“カチッ”というまでロック方向にずらしてください。
しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。

包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた

包丁差しは、一部または全体を取り外してお手入れすることができます。

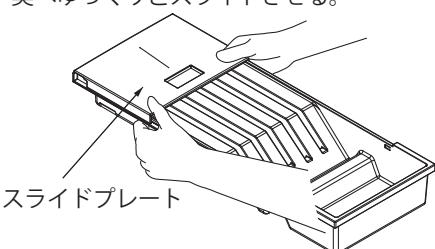
●ツールコンテナ用包丁差し

スライドプレートの取り外し方

両手でスライドプレートの手前付近を下に押しながら、奥へゆっくりとスライドさせる。

MEMO お手入れはスライドプレートを取り外して行うことをお勧めします。

両手で左右の手前付近を下に押しながら、奥へゆっくりとスライドさせる。

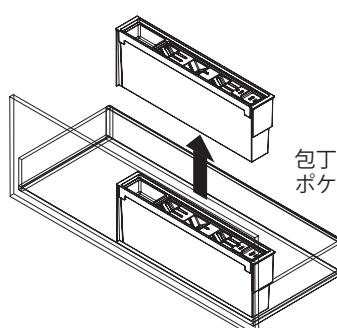


●ツールコンテナなし用ロック付包丁差し

包丁差しの左右向きを変えることができます。

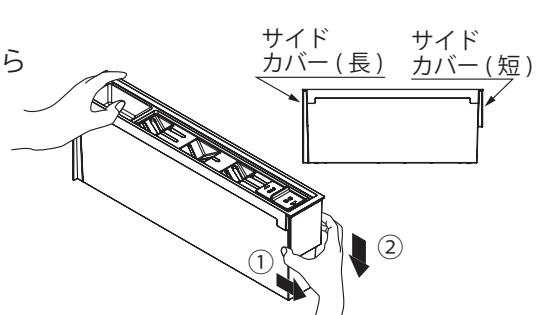
取り外し方

1. 包丁差しをポケットごと上に持ち上げるようにして外す。



2. 包丁差しポケットのサイドカバー(短)を取り外す。

- ①サイドカバーを右図の矢印方向に軽く引っ張りながら
- ②下方向にスライドさせ、取り外す。



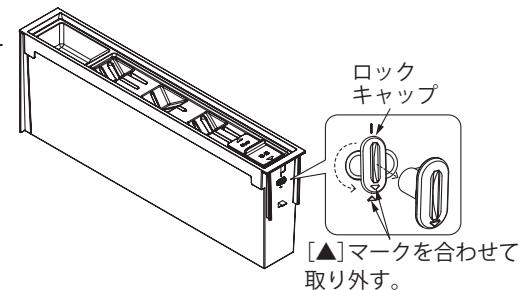
5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

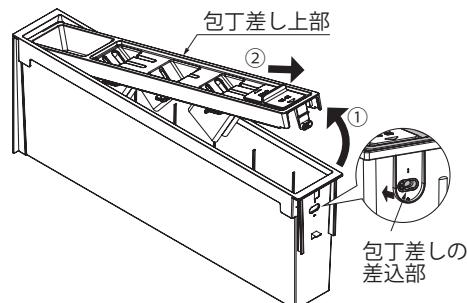
包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた（つづき）

- ロックキャップの矢印がポケット側の [I] から [▲] に合うよう、反時計回りにロックキャップを 180 度回して外す。

MEMO ロックキャップを回すときは、中央の凹形状に合わせて、コインなどを使うと簡単に回すことができます。

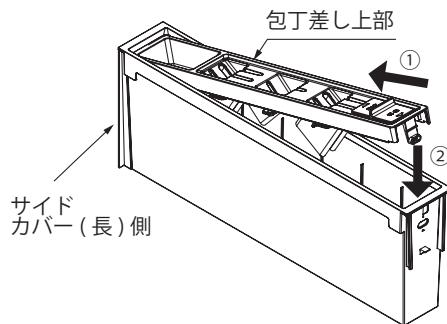


- ロックキャップを外した長穴から、包丁差しの差込部分を押して、
①包丁差し上部を右図の矢印の方向に持ち上げ、
②斜め横に引き抜く。



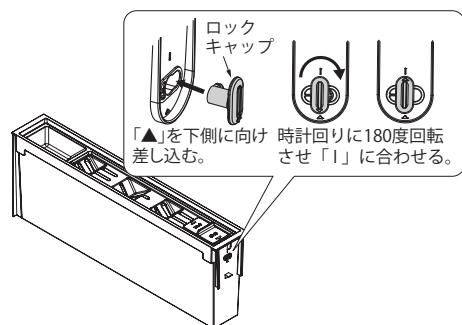
取り付け方

- 包丁差し上部を右図のようにサイドカバー（長）側に差し込んでから取り付ける。

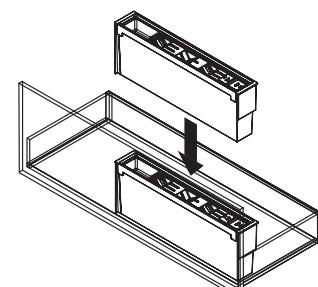


- ロックキャップを差しこみ、時計回りに 180 度回して固定する。

このときロックキャップの [▼] をポケット側の [I] に確実に合わせてください。

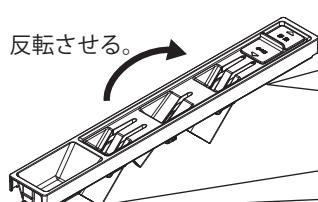


- 包丁差しが入っているポケットを真上から元の位置に取り付ける。



左右入れ替え方

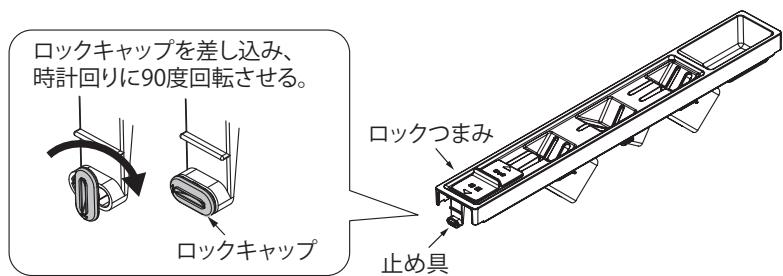
- 脱着した包丁差し上部の左右の差込部に付いている、ロックキャップを反時計回りに 90 度回転させ、取り外す。



- 包丁差し上部を反転する。

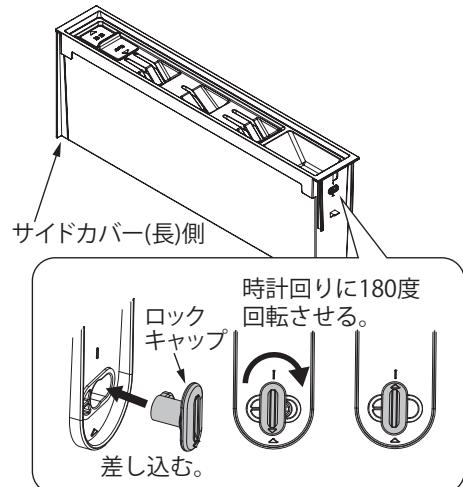


3. 包丁差し上部のロックつまみ側の止め具に、1. で取り外したロックキャップを取り付け、時計回りに90度回転させ、水平向きにする。



4. P.48 [取り付け方] の手順に従い、ポケットに取り付ける。

サイドカバー(長)側から差し込むようにしてください。

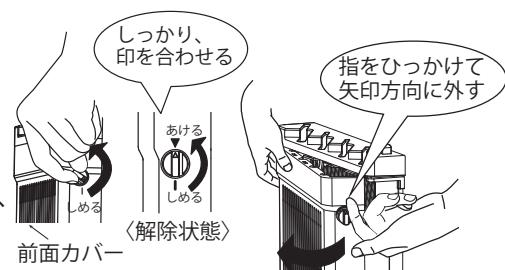


●ロック付包丁差し(開き扉、スライドキャビネット)

前面カバーを取り外す場合は、次の手順で行ってください。

[取り外し方]

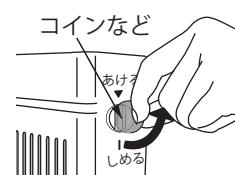
- 前面カバーロック部のつまみの「△」が前面カバー側面の「！」から「▼」に合うように、反時計回りにつまみを180度回す。
このとき、印をぴったり合わせないと前面カバーが外れないようになっています。
- 前面カバーロック部のつまみに右図のように指を引っ掛け、前面カバーを本体から取り外す。



[取り付け方]

取り外した時と逆の手順で取り付ける。

MEMO つまみが回しにくい場合は、つまみ横の溝を利用してコインなどでも回すことができます。



[注意]

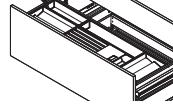
- 包丁差しの前面カバーを取り外す前に、包丁はすべて外してください。ケガをする恐れがあります。
- 本体受けを固定しているねじは外さないでください。包丁の落下につながる恐れがあります。
- ロック部は180度以上回せないようになっています。無理に回そうとすると、前面カバーロック部が破損する恐れがあります。
- つまみ横の溝はコインを利用して回すためのものです。つめを引っ掛け外さないでください。ケガをする恐れがあります。
- 使用時は、必ずつまみ部の「△」を「！」に合わせてください。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット 5.3. ツールボックス

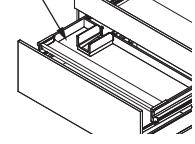
ツールボックスは、さまざまな場所に収納していた調理道具を見やすくきれいにまとめて収納することができます。調理中に必要な道具を手元ですぐに取り出することができます。

引出しを引くとツールボックスも一緒に引き出されるので、開け閉めするわずらわしさを減らします。

〈シンクキャビネットの場合〉
ツールボックス



〈コンロキャビネットの場合〉
ツールボックス



使用上の注意



必ず実行

包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

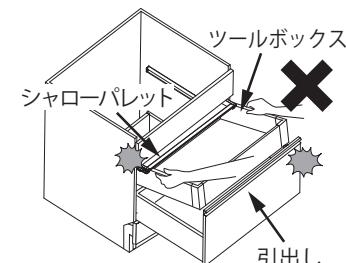
ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

ツールボックスを脱着するときは、引出しやシャローパレットにぶつからないようにする。

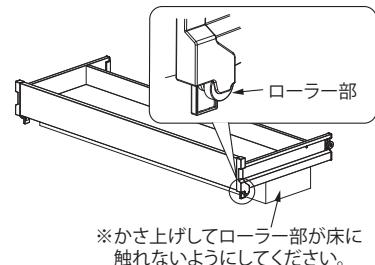
引出しやツールボックスなどに傷がつく恐れがあります。



必ず実行

ツールボックスを床に置く際は、ローラー部分が破損しないよう、かさ上げして床に置く。

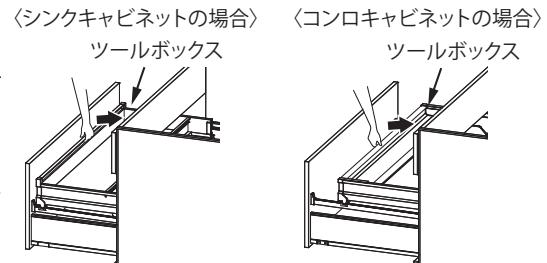
ツールボックスのローラー部（下部）をそのまま床に置くと、変形・破損する恐れがあります。



使い方

ツールボックスの使い方

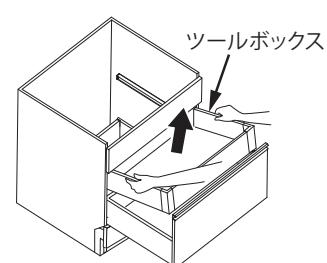
- 引出しを引き出すとツールボックスも一緒に引き出されます。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、ツールボックスの手掛け部を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください（手前をやや持ち上げながら動かすとスムーズにスライドできます）。
- ※シンクキャビネットとコンロキャビネットでは手掛け部の持ち方が異なります。
- 引出しを閉めてから再度引き出すと、再びツールボックスも一緒に引き出されます。



注意 手前を過度に持ち上げると、ツールボックスがガイドレールから外れる恐れがあります。

ツールボックスの脱着

引出しを全開させて、中の収納物を取り出してから、ツールボックスの両側板または手掛け部と背板を持ち、斜め手前へ持ち上げてください。



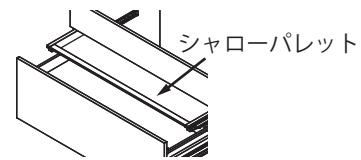
参照 引出しの脱着 P.66

5.4. シャローパレット

シャローパレットにはまな板やふきんを収納することができます。

シンク下にあるので、使いたいときにサッと取り出すことができます。

また、まな板を斜めに置くことで指が入りやすく、取り出しやすくなっています。



使用上の注意



必ず実行

まな板などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



禁止

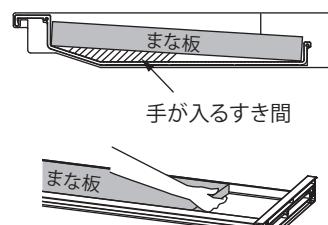
シャローパレットを引き出したまま、引出しを閉めない。

シャローパレットが扉とぶつかって、破損の原因になります。



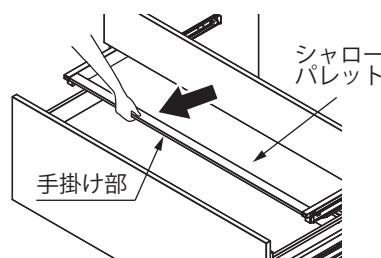
使い方

シャローパレットとまな板の間にすき間ができるので、大きく厚いまな板でも、指が入りやすく、取り出しやすくなっています。



シャローパレットの使い方

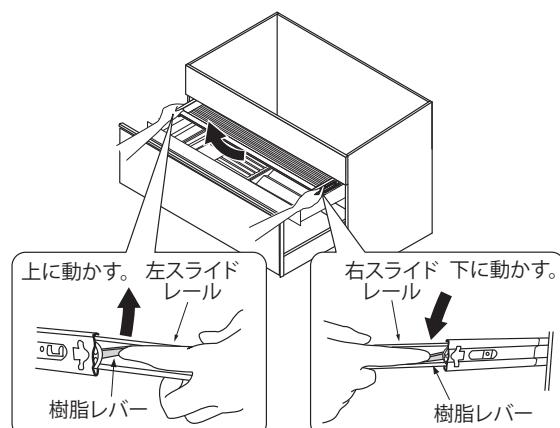
- 手掛け部を下から持って、手前にゆっくり引き出します。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、手掛け部を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください。



シャローパレットの脱着

取り外し方

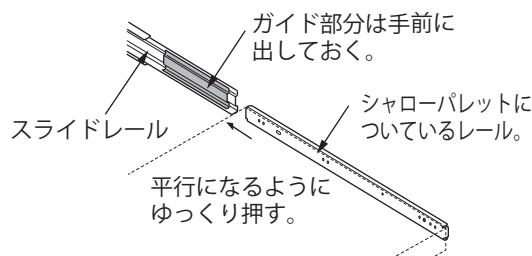
引出しを全開状態まで引き出し、右のスライドレールの側面の樹脂レバーを下げながら、左のスライドレールの樹脂レバーを上げて、レールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

右図のように、スライドレールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。

このとき、左右両方のスライドレールのガイド部分を手前側に移動しておくと、作業がやりやすくなります。

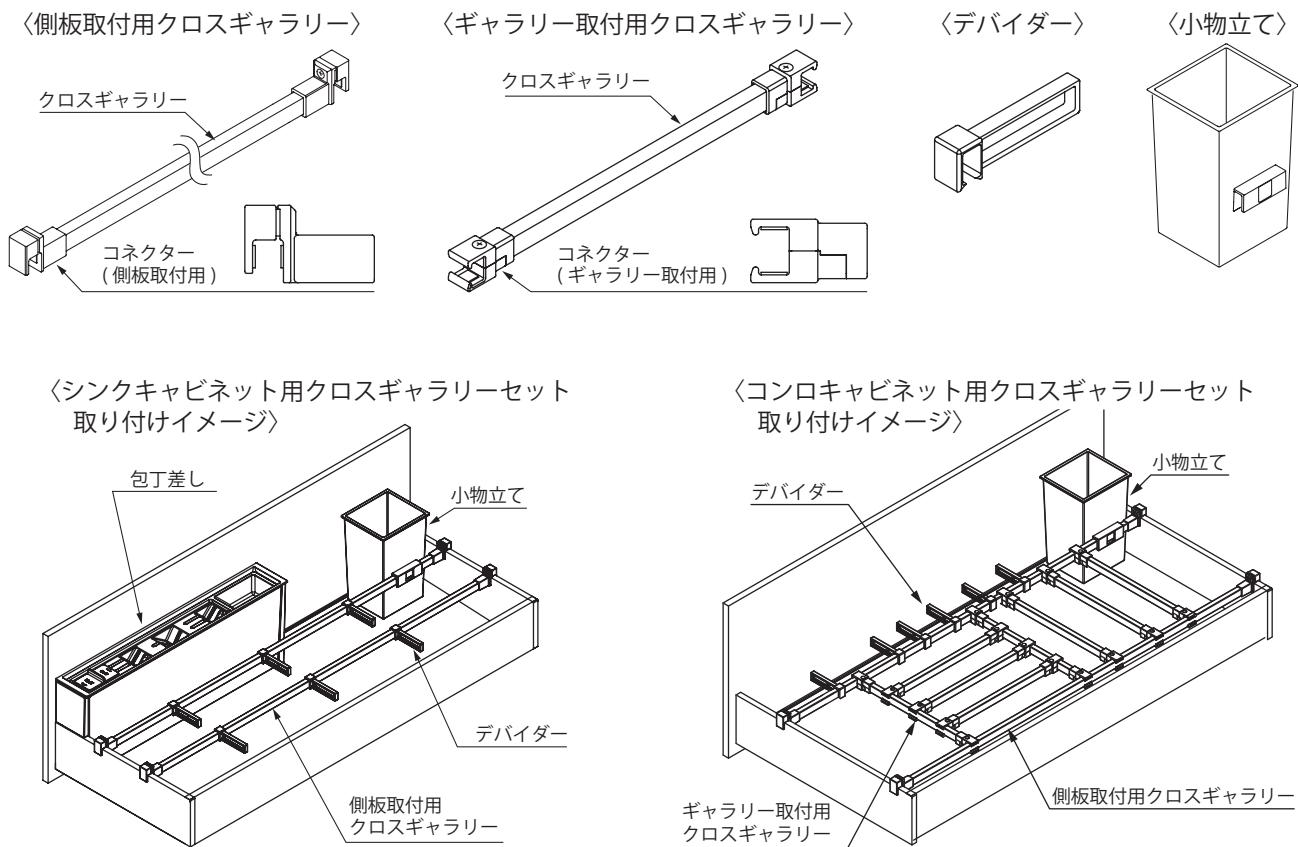


※図は右側板についているレール

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.5. 立て置き収納

立て置き収納は、引出し内をクロスギャラリーで仕切り、調理道具を立てて収納できる部材です。



5

収納アイテムの使い方-キャビネット

● 使用上の注意



必ず実行

立て置き収納は、引出しの種類により、取り付けられない場合があるため、取り付け前に確認する。

立て置き収納は、シンクキャビネットの1段目、コンロキャビネットの1段目(グリルレスコンロキャビネットの場合は2段目)の引出しに取り付けできます。

グリルレスコンロキャビネットの1段目の引出し、フロアコンテナ、ベースキャビネットの引出しに取り付けるとキャビネットの部品と干渉する恐れがあります。



必ず実行

コネクターは、取付位置がずれないように調節ねじをしっかりと締める。

ねじの締め付けがゆるいと引出しの開閉時にクロスギャラリーがずれ、収納物が引出し内で倒れる恐れがあります。



必ず実行

クロスギャラリーの取付位置を動かしたり、脱着する際は必ずコネクターの調節ねじをゆるめてから行う。

コネクターが破損する恐れがあります。



必ず実行

コネクターの調節ねじは、電動ドライバーを使用せず \oplus ドライバーで締め付ける。

電動ドライバーを使用すると、ねじ頭が削れる恐れや、コネクターボディが破損する恐れがあります。手回しドライバーでねじを締めてください。



必ず実行

調理道具は、水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

クロスギャラリーの取付位置を動かしたり脱着するときは、引出し内の収納物を全て外に取り出してから行う。

クロスギャラリーがうまく取り外しうまくなかったり、収納物が倒れる恐れがあります。



必ず実行

コンロキャビネットのガス配管ガードの下は収納有効高さ寸法が低くなっているため、ガス配管ガードに収納物が干渉しないように位置を確認して収納する。

ガス配管ガードの下に収納可能な収納物の高さは 20.7cm までです。

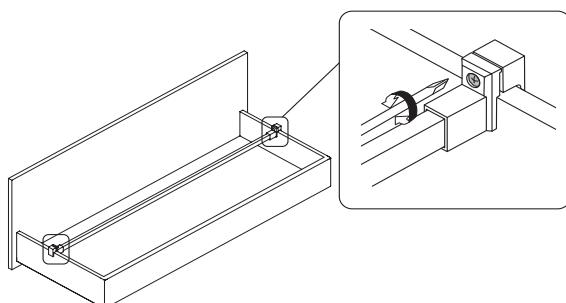
使い方

各部材の取付・調整・脱着

●側板取付用クロスギャラリー

取り付け方

- ④ドライバーでクロスギャラリーの両端のコネクターの調整ねじをゆるめ、引出しの側板に取り付ける。
- 取付位置を調整し、ねじを締めなおす。



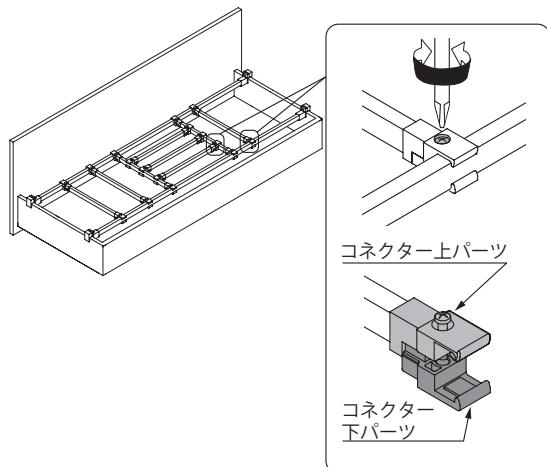
取り外し方

取り付けた時と逆の手順で取り外す。

●ギャラリー取付用クロスギャラリー

取り付け方

- ④ドライバーでクロスギャラリーの両端のコネクターの調整ねじをゆるめ、コネクター樹脂パーツを上下に分ける。
- ギャラリーパイプをコネクターの上下パートで挟み込み、軽くねじを締める。
- 取付位置を調整し、ねじを締めなおす。



取り外し方

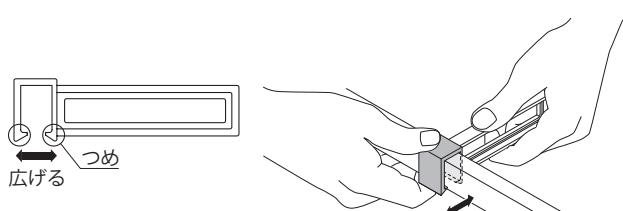
取り付けた時と逆の手順で取り外す。

注意

ギャラリーパイプは表面に塗装を施しているため、フライパンや鍋を繰り返し強く擦りつけると、表面の塗装がはがれる場合があります。

●デバイダー

つめを広げながらクロスギャラリーへの取り付け・取り外しを行う。



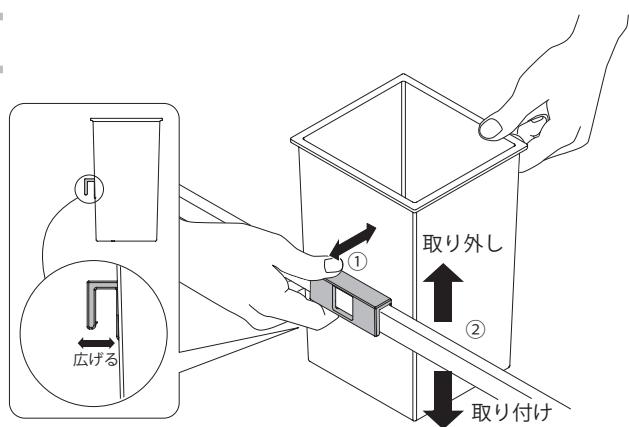
5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.5. 立て置き収納

各部材の取付・調整・脱着（つづき）

●小物立て

つめを広げながらクロスギャラリーへの取り付け・取り外しを行う。



立て置き収納 引出し取付レイアウト

5

収納アイテムの使い方-キャビネット

追加のご購入時には、下図を参考に部材の取り付けを行ってください。

〈コンロキャビネット用クロスギャラリーセット〉

	間口 600	間口 750 見切り板付 / なし	間口 900 見切り板付 / なし	間口 1050 見切り板付 / なし
L仕様				
R仕様				

() 内寸法：配管スペースありの場合。

※配管スペースありの場合は小物立てを点線の位置に取付けてください。

〈シンクキャビネット用クロスギャラリーセット〉

	間口 750 インセットパネル付 / なし	間口 900 / 1050 / FF 対応用 インセットパネル付 / なし
配管スペースあり / なし		

※上図はL仕様の場合。R仕様の場合は包丁差しとトラップガードの位置が左右反転します。

〈クロスギャラリー 単品セット〉

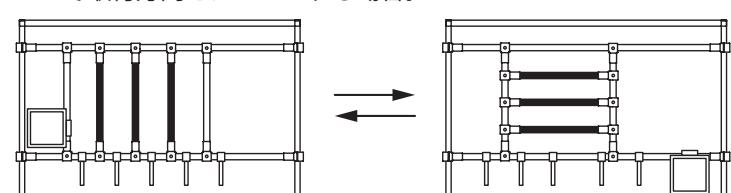
上図を参考に、購入部材・個数に合わせて取り付けを行う。

MEMO

上記レイアウトはあくまで参考です。

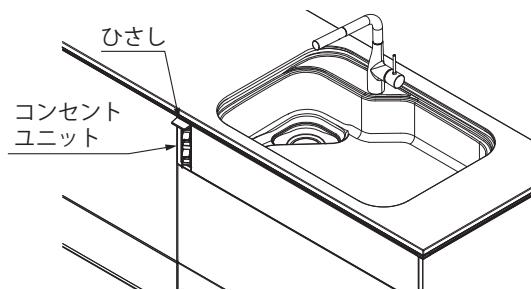
お客様の収納物に合わせ、クロスギャラリーの取付位置を自由に調整してください。

例 間口 75 cm コンロキャビネット用クロスギャラリーセット
で取付方向をアレンジする場合。



5.6. シンクキャビネット（コンセント付）

キッチン作業面で調理家電を使用できます。
使用時は、ワンタッチでコンセントを出すことができ、
使用しないときは、コンセントを隠すことができます。



使用上の注意



コンセント差込口カバーを開けた状態や電源プラグが差し込まれたままで、コンセントユニットのフタを閉めない。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、破損により、液体がコンセントユニット内部に浸入し、感電・漏電・火災の恐れがあります。



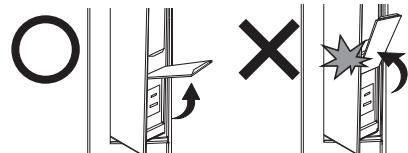
電源コードを抜き差しする際に、コンセントユニットのフタ・差込口カバー・扉などに当たらないように注意する。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、電源プラグが当たることで、塗装がはがれる恐れがあります。



差込口カバーを開きすぎたり、力を加えたりしない。

差込口カバーやコンセントユニットが破損する恐れがあります。



使い方

コンセントの使い方

- 下図○部付近を押して、コンセントユニットのフタを開け、差込口カバーを上に上げた状態で、調理器具の電源プラグを持ち、コンセントにまっすぐ差し込みます。（電源プラグを差し込んだ後、差込口カバーは電源プラグに沿うように、自然に下がります。）

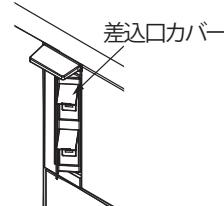
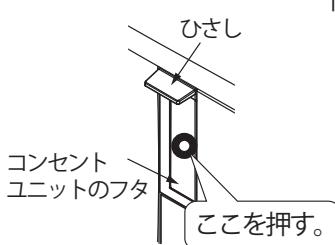
〈コンセントユニット
のフタ閉時〉

〈コンセントユニットの
フタ開時(差込口カバー
閉時)〉

〈コンセント差込口
カバー開時〉

①差込口カバーを開ける。

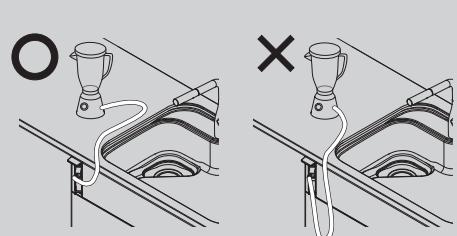
②電源プラグを
差し込む。



- コンセント使用後は、電源プラグを抜き、差込口カバーを閉じ、上図○部付近を押して、コンセントユニットのフタも閉じてください。
- コンセントは2口合計1500Wの容量の器具が使用できます。

注意

- 電源コードが引出しや扉に掛からないよう、ワーケツップの上に載せて使用してください。
電源コードが掛けたまま引出しを開閉すると、コンセントユニットに負荷がかかるだけでなく、電源コードの断線などにつながる恐れがあります。
- 電子レンジ、卓上の食器洗い乾燥機など、規定以外のプラグを使用した機器には使用しないでください。
- 使用時に電源コードをひっぱりかねない機器（掃除機など）は、コンセントユニットに負荷がかかる可能性があるため、使用しないでください。



5.6. シンクキャビネット（コンセント付）

お手入れのしかた

コンセントユニット（ひさしを除く）のお手入れ

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

コンセントユニット（差込口を除く）の汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしばつてから、拭き取ってください。その後乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

注 意

- コンセントをお手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてからお手入れをしてください。
- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。
- コンセント差込口は水拭きせず、必ず乾いた布で汚れやホコリを拭きとってください。

5

ひさしのお手入れ

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注 意

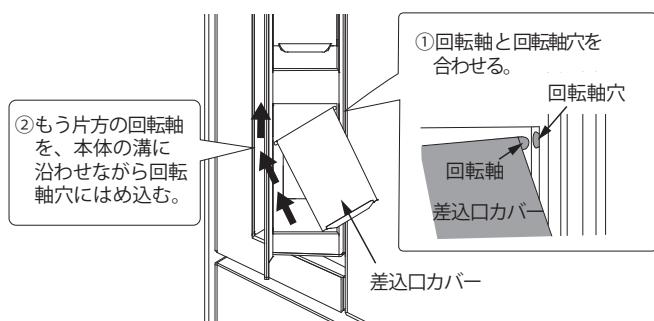
- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

こんなときは

差込口カバーの取り付け方

万が一差込口カバーが外れた場合は、下記手順に沿って取り付けてください。

- 差込口カバーのどちらか一方の回軸軸をコンセントユニット本体側の回軸穴に差し込む。
- もう片側の回軸軸をコンセントユニット本体側の溝に沿わせながら回軸穴に差し込む。



注 意

- 差込口カバーが取り付かない場合は、差込口カバーの回軸もしくは回軸穴に不具合が生じている可能性があるため、使用を停止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参 照

アフターサービスのご用命 裏表紙

5.7. コンロキャビネット・コンロ横引出し

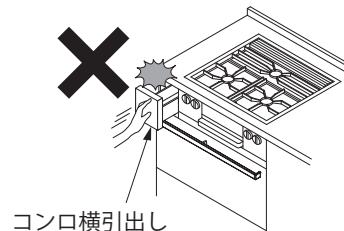
コンロ横引出しは調味料などの収納としてご利用いただけます。

使用上の注意



コンロ横引出しを勢いよく閉めない。

レールが破損する恐れがあります。



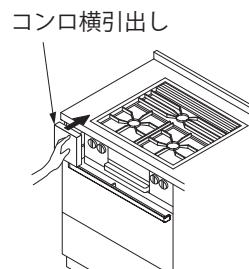
コンロ横引出し



使い方

コンロ横引出し（扉面材タイプ）の使い方

- コンロ横引出し（扉面材タイプ）はプッシュオープンレールを使用しています。
- 前板を押すと反動で引出しがやや開きます。全開にする場合は手で引き出してください。
- コンロ横引出し（扉面材タイプ）を閉める場合は、前板を最後まで押し込んでください。

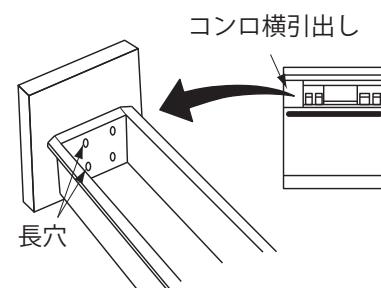


注意

プッシュオープンレールは商品の特性上、引出しが出る量に若干のバラつきがあります。

コンロ横引出しの前板の調整

前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。
その後、必ずねじを締め直してください。



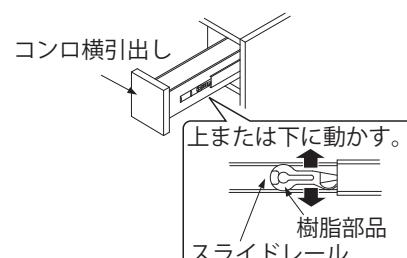
注意

扉を調整する場合は、ねじのゆるめすぎに気をつけてください。
ねじをゆるめすぎると扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

コンロ横引出しの脱着

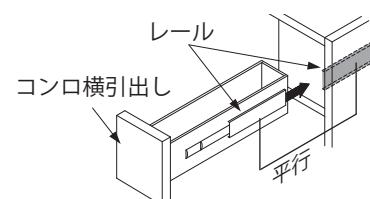
取り外し方

- 引出しが引き出して、全開にする。
- 右図のように、レールの樹脂部品を上または下へ動かして、さらにレールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

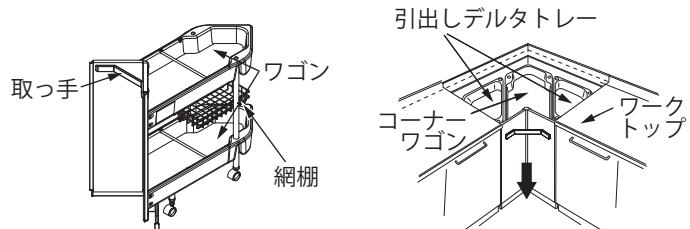
右図のように、レールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.8. コーナーキャビネット (ワゴンタイプ)

サッと引き出せるコーナーワゴンには、普段使用するものを収納し、両サイドの引出しデルタトレーには、あまり使用しないものを収納することをお勧めします。



使用上の注意



必ず実行

引出しデルタトレー やコーナーワゴンをキャビネットに収納する際は、ゆっくりと押し入れる。

勢いよく入れると、隣の扉に当たって傷がついたり、扉やレール、樹脂部品が破損する恐れがあります。また、収納物が転倒する場合があります。



禁止

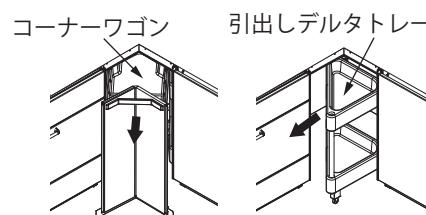
取っ手を握りながら下方向に過度に力を加えない。

コーナーワゴンの収納量が少ない場合、コーナーワゴン後方のキャスターが持ち上がることがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。

使い方

コーナーワゴンの使い方

- コーナーワゴンが完全に引き出された状態で、両サイドの引出しデルタトレーをそれぞれ引き出して使用できます。
- コーナーワゴンを手前に引き出して、お好きな場所までコーナーワゴンを運んで収納物の出し入れができます。

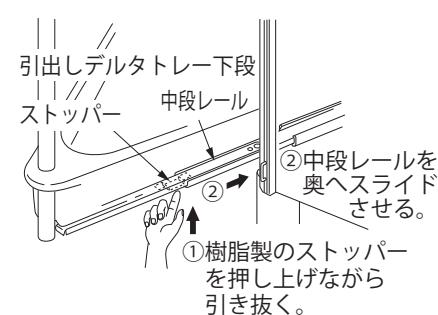


引出しデルタトレーの脱着

取り外し方

- レール下面にある樹脂製のストップバーを指で上に押し上げながら、引出しデルタトレーを最後まで引き出す。
- レールをキャビネットの奥方向へスライドさせる。

レールから取り外せるようになります。レールから外れた状態では、引出しデルタトレーは自立できませんので、倒れないように手で支えてください。



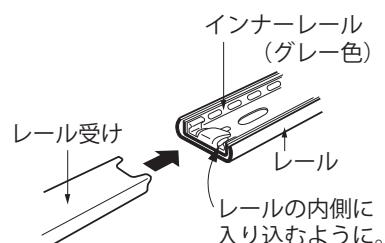
注意

レールがない状態では、引出しデルタトレーは自立できません。必ず、収納物を取り除いてから取り外してください。

取り付け方

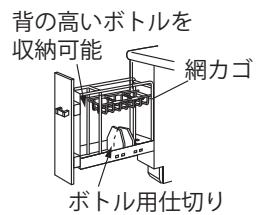
- 側板についているレールを奥まで入れる。
- インナーレール（グレー色）をレール手前に移動させる。
- 引出しデルタトレーについているレール受けを、レールの内側に入り込むように当たがって、奥まで押し込む。
レールの奥になるほど、少し強めに押してください。
- 引出しデルタトレーを引き出して、所定の位置でトレーが止まる位置を確認する。

外れる場合は、再度、引出しデルタトレーを取り付けて、前に取り付けたときよりも、さらに奥に押し込んでください。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット 5.9. ボトル収納スライドキャビネット

ボトル収納スライドキャビネットには一升ビンやペットボトルを収納することができます。また、上部の網力ゴには、調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意



勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

使い方

ボトル収納スライドキャビネットの使い方

上部の網力ゴは、収納量に応じて、取付位置を上下に可動できます。一升ビンを2本以上収納する場合は、網力ゴを上段に取り付けてください。

MEMO ボトル収納スライドキャビネットは、収納ラックに何も入れない場合や、小物類のみを収納した場合は、引出しの開閉時にぶれが大きく感じることがありますが、故障ではありません。

ボトル用仕切りの脱着

取り外し方

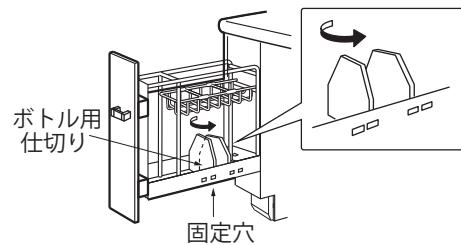
右図の矢印のように仕切りを斜めにして取り外す。

取り付け方

側面の固定穴に合わせて仕切りを差し込む。

“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込んでください。

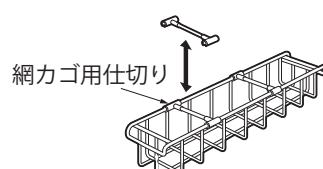
〈一升ビン4本収納の場合〉 〈一升ビン1本収納の場合〉



網力ゴ用仕切りの脱着

取り外し方

網力ゴをラック本体から外し、仕切りのT字の樹脂部分を強く引っ張って外す。



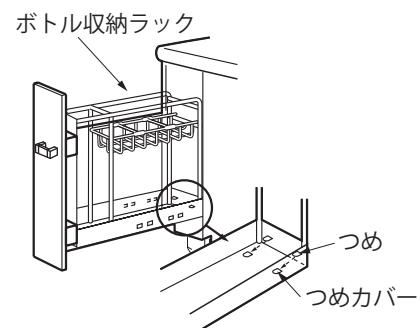
取り付け方

取り外したときと逆の手順で取り付ける。

ボトル収納ラックの脱着

取り外し方

1. ボトル収納ラックを引き出す。
2. ボトル収納ラック奥側についているつめカバーを取り外す。
3. ボトル収納ラック本体の下側の脱着バネの先端をつまみながら、ボトル収納ラック本体を手前に引いてレールから取り外す。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.9. ボトル収納スライドキャビネット

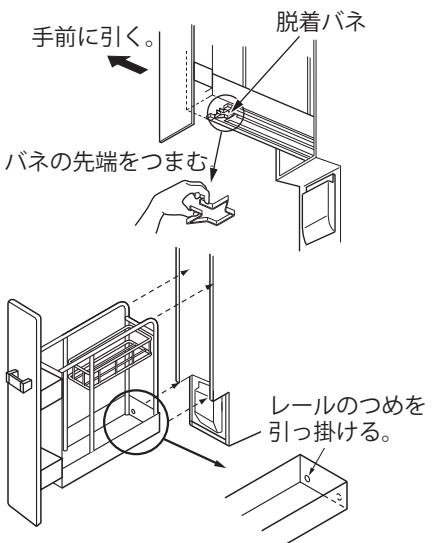
ボトル収納ラックの脱着（つづき）

取り付け方

- レールをキャビネット内に収納する。
- ボトル収納ラック本体下側の脱着バネの先端をつまみながら、レールに合わせて脱着バネを取り付け、ボトル収納ラック本体を奥側までスライドさせる。

確認のため、ボトル収納ラックを手前にスライドさせ、奥側にレールのつめが掛かっているかどうか確認してください。つめが掛かっていない場合は、もう一度ボトル収納ラックをしっかりとキャビネット奥に収納してください。

- ラック奥側のつめのカバーを取り付ける。



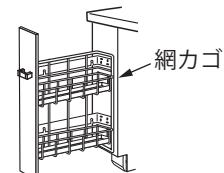
5

収納アイテムの使い方-キャビネット

注意 ボトル収納ラックを取り外す場合は、収納物を取り除いてから行ってください。

5.10. 網力ゴスライドキャビネット

網力ゴスライドキャビネットには、上下の網力ゴに調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意



勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

使い方

脱着・調整のしかた

取り外し方

インナーレールについている解除レバーを下げながら（Rタイプの場合は上げながら）、レールを引き出す。

取り付け方

アウターレールにインナーレールを合わせ、差し込む。解除レバーがアウターレールに完全に隠れるまで、確実に差し込む。

〈上下調整のしかた〉

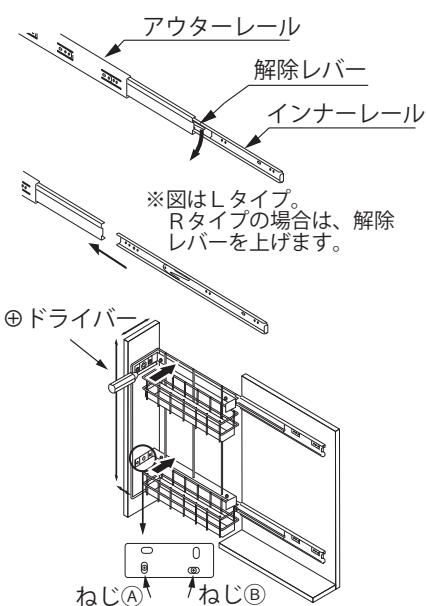
長穴を利用し、右図のねじⒶ4本を使用します。

〈左右調整のしかた〉

右図のねじⒷ2本を使用します。

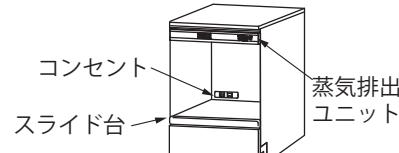
〈前後調整のしかた〉

右図の矢印の箇所から⊕ドライバーを差し込み、奥にあるねじを使用します。ねじをゆるめ、前後調整した後、確実にねじを締め直してください。



5.11. 家電収納タイプベースキャビネット

家電収納庫には、電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカーを置くことができます。



使用上の注意



家電の電源コードをスライド台のレールにはさまない。

断線、感電の原因になります。



スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

使い方

家電収納庫の使い方

- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントは1口 1480W以下の器具が使用できます。
- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器などの家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。
- 家電収納部の収納有効寸法は、下図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位：cm）〉

キャビネット 間口	収納部		
	高さ	間口	奥行き
60	33.7	54.1	48.9
75		69.1	

注意

電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器や電子レンジを置かないでください。

5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口



使用上の注意

●開き扉、引出し



必ず実行

コンロキャビネットの引出しあは、コンロと接触しないように調整する。

コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。



禁止

扉と引出しを過度な力で勢いよく閉めない。

サイレント効果が弱まる恐れや、サイレントダンパー、ブルモーション機構が破損する恐れがあります。



必ず実行

開き扉内の内引出しを引き出す場合は、開き扉をしっかり開く。

内引出しと開き扉がぶつかり、傷の原因になります。



禁止

引出しにものを入れすぎない。

収納物の重量や高さによっては、引出しの開閉がしにくくなったり、収納物が上の扉とぶつかったりする恐れがあります。

ツールボックス付の場合、ツールボックスとぶつからないように収納物を入れてください。

参考 重量に関する規定 キャビネット P.21



必ず実行

引出し内のツールボックスよりも外側に収納物が出ないようにする。

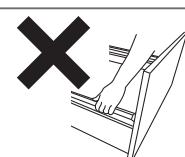
キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



禁止

ガイドレールを持って引出しを脱着しない。

故障する恐れがあります。



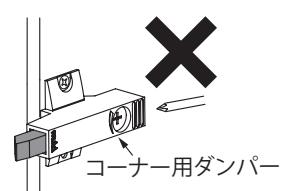
●サイレントダンパー



禁止

サイレントダンパーは設置位置を変えない。

効果を発揮させるため、最適な位置に取り付けてあります。無理に固定ねじをゆるめて位置を動かすと、サイレントダンパーが外れたり、破損したりする恐れがあります。



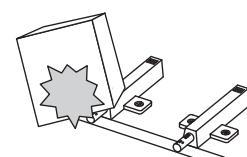
●プッシュラッチ



必ず実行

プッシュラッチを避けて収納する。収納物を取り出すときは、プッシュラッチに当たらないようにする。

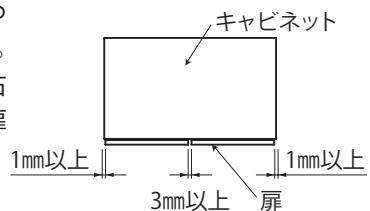
収納物が当たって、プッシュラッチが破損する恐れがあります。



使い方

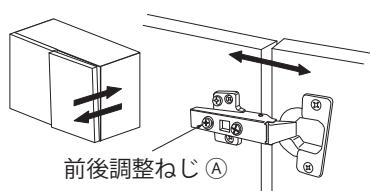
開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかりと締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。



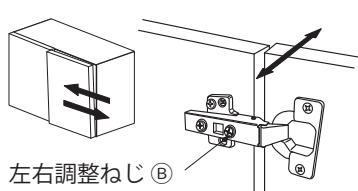
●通常キャビネットの場合

〈前後調整〉



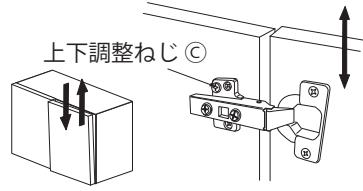
ねじ④を左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後に動きます。

〈左右調整〉



ねじ⑤を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

〈上下調整〉



ねじ⑥をゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじ⑥を締め直します。

MEMO コーナー用扉の場合は、前後、左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

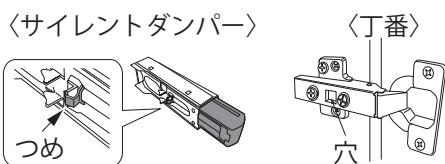
丁番のお手入れ

- 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口

サイレントダンパーの脱着

●通常キャビネットの場合



注意

サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側（上部および下部）についている場合があります。サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。

5

取り外し方

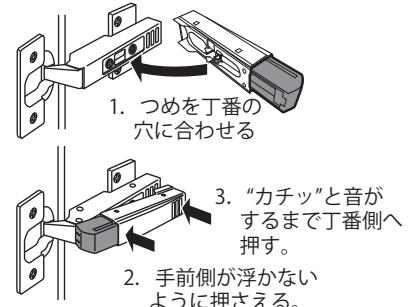
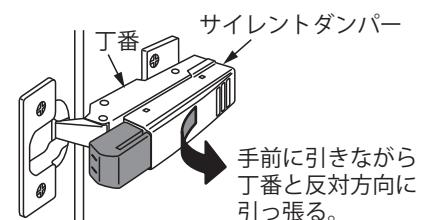
サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と反対方向に引く。

取り付け方

- サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の穴に入るように合わせる。
- 手前側が浮かないようにしっかりと押さえる。
- 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込む。

注意

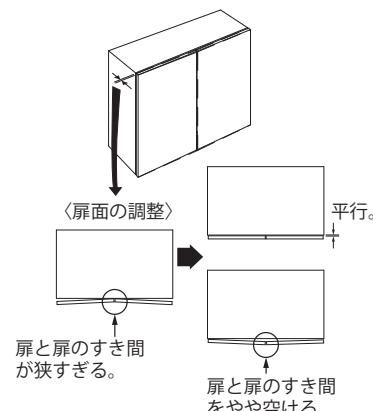
サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。



以下の場合は、サイレント効果が弱いと感じられます。

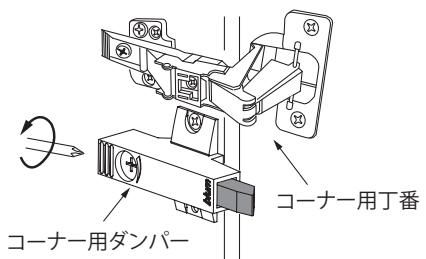
- 扉を閉めた状態で、扉の丁番取り付け部よりも、扉の裏面がキャビネット本体に近すぎるとき。
- 小さいサイズの扉のとき。
- 左右両開き（観音開き）扉で、片方の扉を開けた状態で、もう片方を閉めたとき。

上記①、②の場合には、扉面がキャビネットと平行、もしくは扉の裏面をキャビネットからやや離すように扉を調整してください。



コーナー用サイレントダンパーの調整のしかた

コーナーキャビネット（棚板タイプ）、コーナー吊戸棚、コーナーパントリーには右図のようなサイレントダンパーがついています。サイレントダンパーの押し代を伸ばしたり、縮めたりすることで、扉を開めるときに、サイレントダンパーが扉の裏面に接触してから閉まりきるまでの時間を調整することができます。



サイレントダンパーのねじを正面から向かって反時計回りに回すとサイレントダンパーの押し代が伸びて、扉が閉まりきるまでの時間が長く（強）なります。時計回りに回すと押し代が縮まり、時間が短く（弱）なります。

扉を開めるとき、扉裏面とサイレントダンパーの先端がこする音がする場合があります。その場合には、サイレントダンパーの先端部がずれないと確認しながらサイレントダンパーのねじを回し、調整すると音が消えます（サイレント効果は変わりません）。

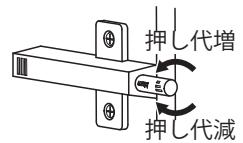
注意 サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

サイレントダンパーのお手入れ

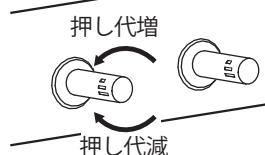
扉を開閉する頻度によっては、扉裏面のサイレントダンパーの接触する部分が汚れる場合があります。その場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。

プッシュラッチの調節のしかた

- ・ プッシュラッチの先端を回転させることによって、扉の押し代を調整することができます。
- ・ プッシュラッチの先端を正面から向かって反時計回りに回すと、扉の押し代が増えます。時計回りに回すと扉の押し代が減ります。



コンバーチブル収納の場合
：埋め込み式プッシュラッチ



5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口

引出しの脱着

MEMO

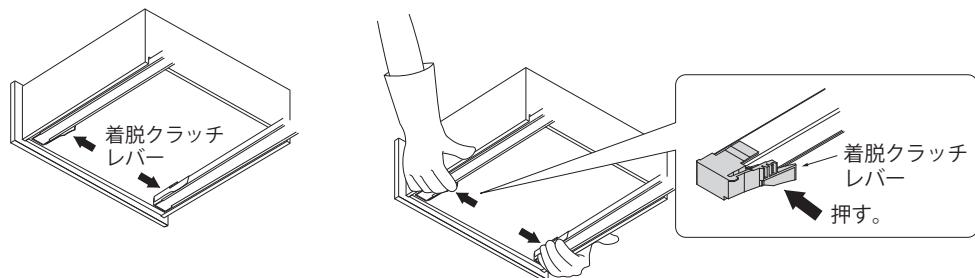
- 引出しの間口が大きく手が届かない場合は、片方ずつの取り外し・取り付けを行ってください。
- ご無理な場合は、手助けをいただきながらの作業をおすすめします。
- ケガを防ぐために手袋の使用をおすすめします。



取り外し方

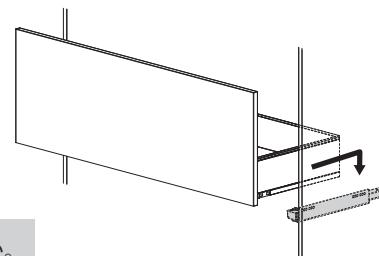
- 引出しをストップするところまで引き出す。
 - 引出し裏側のクラッチレバーを矢印の方向に押しながら、手前側に静かに引き出す。
- ※クラッチレバーは左右のレールにそれぞれついています。

5



取り付け方

- 受けレールを奥まで入れる。
- 引出しの奥から1/3くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す（“カチッ”と音がしてロックが掛かる）。
- 3~4回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動するかを確認する。



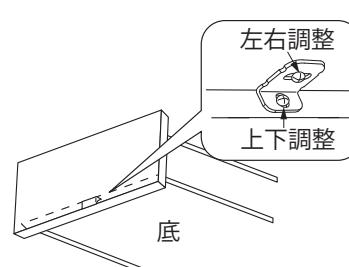
注意

クラッチが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。差し込みが不十分だと、引出しを開閉した際に、引出しが落下する恐れがあります。

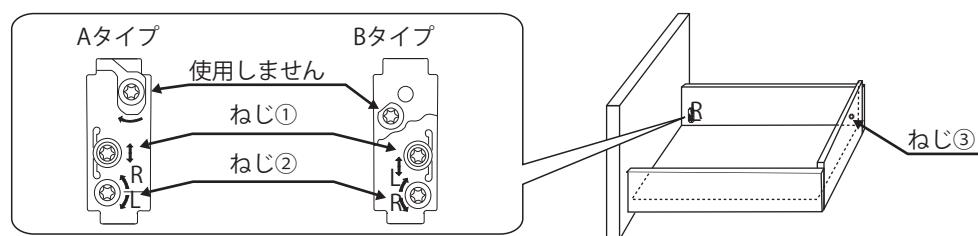
<前板調整部品>

引出し前板の調整のしかた

- 引出しの裏面に前板調整部品がついている場合は、
④ドライバーでねじをゆるめてから引出しを調整してください。
調整後は、必ずねじを締め直してください。

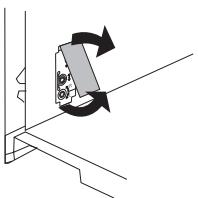


- 引出しの調整はヘクスローブレンチ (T20) が必要です。付属のヘクスローブレンチ (T20) を使って調整してください。



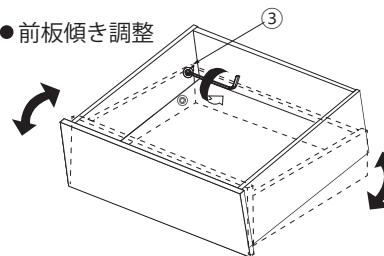
※引出しの調整器具には2種類あります。

●脇カバーを外します。



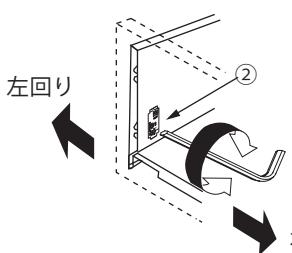
カバーの下側を上に押し上げて手前に外します。

●前板傾き調整



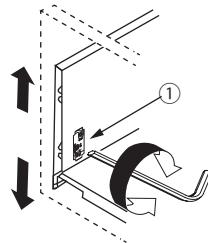
引出しの側板後方にあるねじ③を左へ回すと引出し全体が前に、右へ回すと後ろに傾きます。

●左右調整



左図のようにねじ②を右へ回すと右に、左へ回すと左に調整できます。

●上下調整



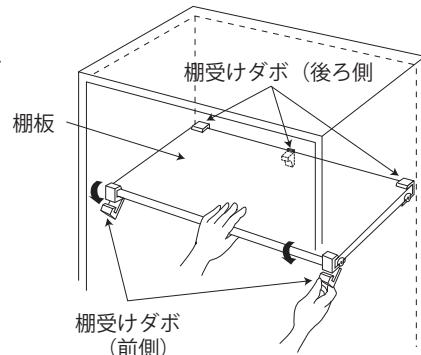
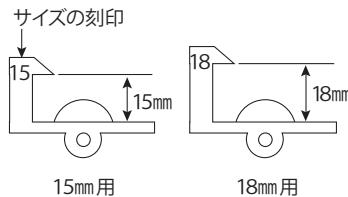
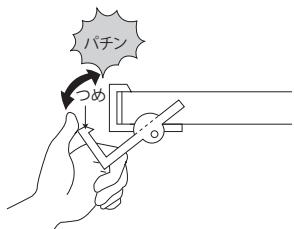
ねじ①を左右に回して調整します。

※調整終了後は、必ず脇カバーを取り付けてください。

木製棚板の脱着

取り外し方

- 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
- 棚板を前へ引いて取り外す。



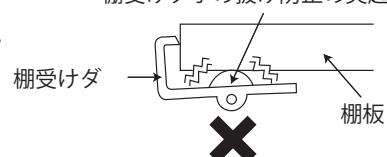
注意

棚受けダボは、棚板の厚さ（15mm、18mm）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

取り付け方

- 棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。
幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

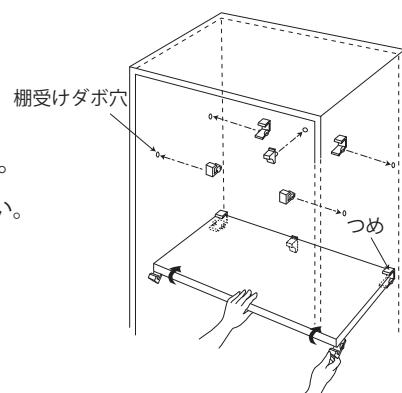
棚受けダボの抜け防止の突起



注意

- 差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- 棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。

- 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとはめ込む。
- 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
- 棚板にガタつきがないか、確認する。
ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

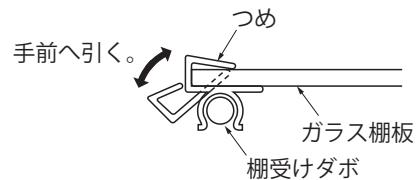
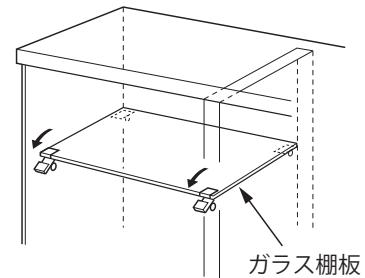


5.12. 開き扉・引出し・棚板・点検口

ガラス棚板の脱着

取り外し方

- 前側の左右のガラス棚受け用ダボのつめ部分を、ガラス棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
- ガラス棚板を前へ引いて取り外す。



取り付け方

- 図のように、ガラス棚受け用ダボの金属部品を、前後の棚受けダボ穴にしっかりとねじ込む。

幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

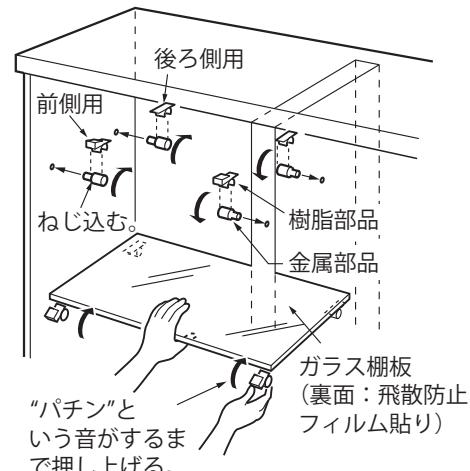
- 図のように、ガラス棚受け用ダボの樹脂部品を金属部品にはめ込む。

樹脂部品は前後で形状が異なりますので、気をつけてください。

- ガラス棚板を設置する。

注意

ガラス棚板の裏面は飛散防止フィルム貼りです。飛散防止フィルムは傷がつきやすいため、「上面」と書かれたシールが貼られている面を、必ず上にして設置してください。



- ガラス棚板を後ろ側のガラス棚受け用ダボに載せ、ガラス棚板を押さえながら、前側のガラス棚受け用ダボを下から強く押し上げる。

つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

- ガラス棚板にガタつきがないか確認する。

ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。

注意

ガラス棚板を取り扱うときは、十分に気をつけてください。

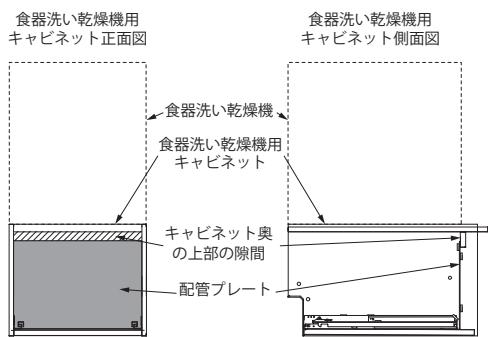
食器洗い乾燥機用キャビネット 配管プレートの脱着

配管プレートは食器洗い乾燥機用キャビネットの奥にあるため、はじめに引出しを取り出す必要があります。

参照 引出しの脱着 P.66

取り外し方

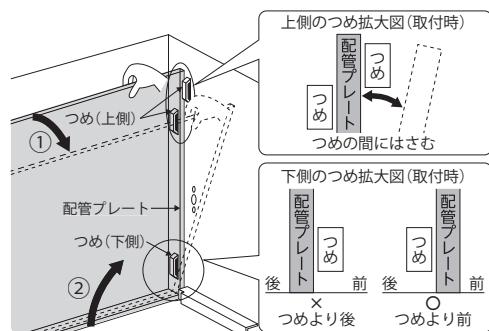
- キャビネット奥の上部のすき間から配管プレートの端をつまみ、手前に引き上側の左右のつめの間から外す。
- 配管プレートを手前に引き、キャビネットから取り出す。



取り付け方

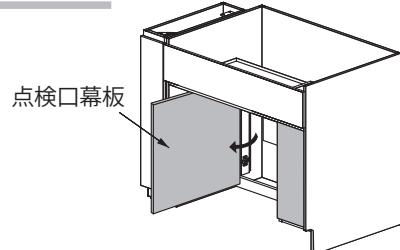
取り外した時の逆の手順で取り付ける。

配管プレートが、下側の左右のつめの手前に位置していることを確認してから取り付ける。



シンクキャビネット オープンタイプ用点検口幕板の開閉方法

シンクキャビネットオープンタイプをご使用の場合で、浄水器や整水器のカートリッジを交換する際には、点検口幕板の上部に手をかけて開閉してください。

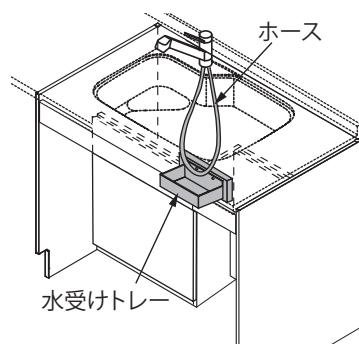


注意 点検口幕板内部は収納スペースではないので、浄水器や整水器のカートリッジ以外は置かないでください。

シンクキャビネットオープンタイプ 水栓用水受けトレーのお手入れ

水栓の機種により水受けトレーが設置されています。水受けトレーは、シャワーヘッドを引き出して使用される際にシャワーホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。

トレー内に水が溜まっていないか確認し、溜まっている場合は水拭き取ってください。



6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた



使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。



禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。



禁止

棚に衝撃を与えるように、勢いよくものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを起こす恐れがあります。



必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。



お手入れのしかた

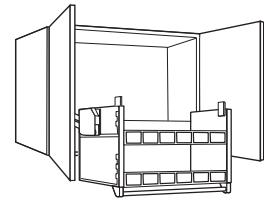
吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.2. ムーブダウン吊戸棚

ムーブダウン吊戸棚は、昇降バネの強さを切り替えることができるので、収納量が多くても軽い力で降ろせる可動式の吊戸棚です。



● 使用上の注意



落下防止バーを持って引き出さない。

禁止

落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。



落下防止バーを必ず掛けて使用する。

必ず実行

昇降時に収納物が動いて落下する恐れがあります。



ぬれたものを収納しない。

禁止

破損やサビの原因になります。

● 使い方

ムーブダウン吊戸棚の使い方

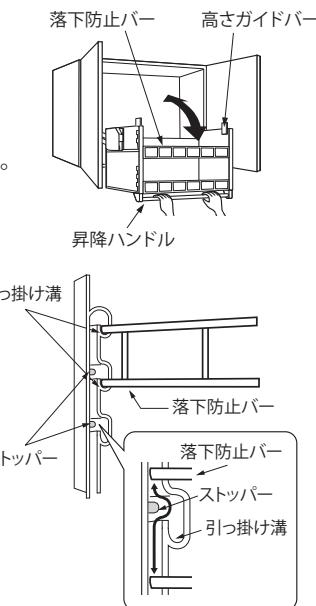
昇降ハンドルの中央部を両手で持ち、ゆっくり上げ下げしてください。

MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。

落下防止バーの調整のしかた

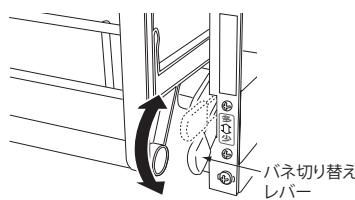
収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

1. 落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、右図のようにストッパーをよけながら上下に移動させる。
2. 位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れる。



バネ切り替えレバーの調整のしかた

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。



MEMO • 使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「少」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
• 収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げて、レバーを調整してください。

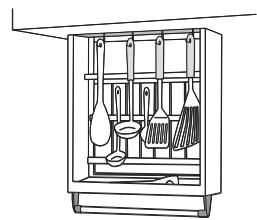
収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0 ~ 5 kg	少	少
5 ~ 10 kg	少	多
10 ~ 15 kg	多	少

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.3. プルダウン吊戸棚

プルダウン吊戸棚は、手前が通常棚板で、奥が昇降ラックになっています。

- ・調味料棚タイプは、調味料や香辛料を収納できます。
- ・レードルラックタイプは上下2段にレードルが掛けられ、下部の小物トレーには菜箸などを収納できます。



● 使用上の注意



ぬれたものを収納しない。

禁止

サビの原因になります。

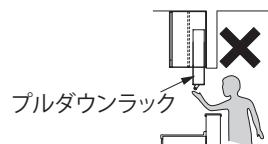


対面側からプルダウンラックを上下操作しない。

禁止

ケガや破損の原因になります。

プルダウンラックの操作は、キッチン側から行ってください。



● 使い方

プルダウン吊戸棚の使い方

下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、ゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

注 意 収納物がない状態では、操作がかなり重く、上げる際にはバネの力で急上昇するので気をつけてください。

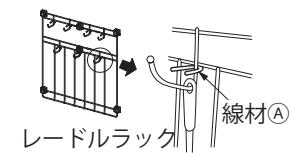
6

● 調味料棚タイプ

- ・間口45cmタイプの上段にはキッチンペーパーが、間口30cmタイプの上段には調味料が収納できます。
- ・下段には調味料や香辛料が収納できます。

● レードルラックタイプ

- ・フック部分の上についている線材Ⓐは、プルダウン吊戸棚を昇降する際に、フックからレードルが落下しないために取り付けられています。レードルは線材Ⓐの下部に掛けるようにしてください。
- ・小物トレーには菜箸などを収納することができます。



小物トレーの脱着

収納物をすべて取り出してから行ってください。

取り外し方

底から小物トレーを押し上げる。

飛び出しを防ぐために、もう片方の手を添えながら行ってください。

取り付け方

小物トレーとフレームを水平にして、上から垂直にセットする。



底から押し上げて外す。

ラック類の脱着

取り外し方

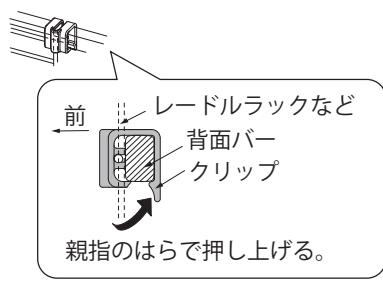
親指のはらを使って左右のクリップを同時に押し上げる。

取り付け方

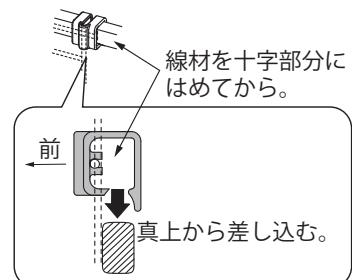
1. ラックの線材をクリップの十字になっている部分にはめ込む。
2. 背面バーの真上からクリップを左右同時に差し込む。

MEMO ペーパーラックは、クリップを前後逆にして取り付けてあります。

注意 使用する前に、ラック類がきちんとセットされているか確認してください。ラック類が落下してケガをする恐れがあります。



親指のはらで押し上げる。



ペーパーラックは、クリップの前後を逆にして使う。

お手入れのしかた

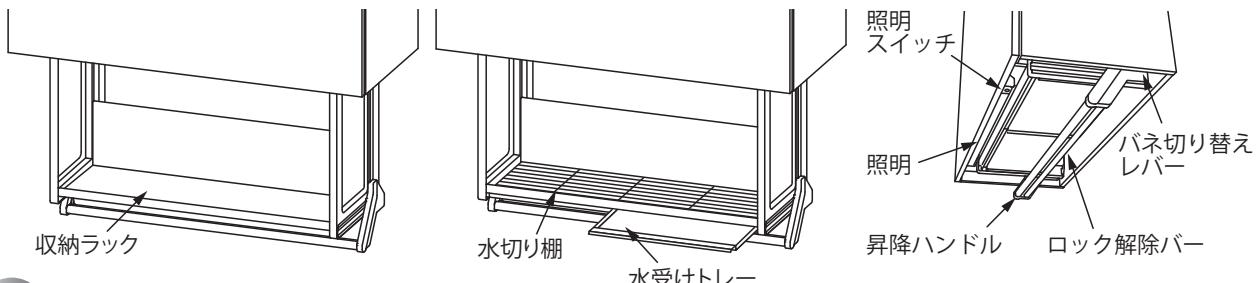
調味料棚に敷いてある樹脂シートは、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、自然乾燥させます。乾拭きをする場合は、ティッシュペーパーや毛脚の長いタオルなどでこすると繊維が付着する恐れがあるので、乾いた布で行ってください。その他のお手入れはP.70「6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた」を参考に行ってください。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.4. ハンドムーブ

ハンドムーブは、調理道具や調味料、食器類などを収納できる上下可動式の収納ラック付吊戸棚です。

- ・収納棚タイプは、調味料やキッチンペーパーなどを収納できます。
- ・水切りタイプは、洗った食器や調理道具などを収納できます。



使用上の注意



収納物や水受けトレーがはみ出したまま昇降させない。

禁止

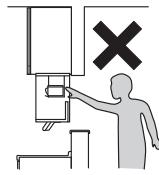
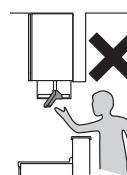
収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。



対面側からラックを上下操作しない。対面側から収納物を取り出さない。

禁止

ケガや破損の原因になります。
収納ラックの操作は、キッチン側から行ってください。



お手入れの際は、収納重量とバネ切り替えレバーを目安の設定に合わせ、降ろしきった状態で行う。

必ず実行

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



お手入れの際は、ロック解除バーを手前に引かない。

禁止

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



ラックの背板に収納物を強くぶつけない。

禁止

庫内が変形して、水が垂れる恐れがあります。



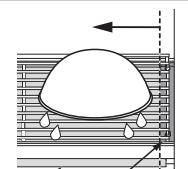
水切りタイプにぬれたものを収納する場合、食器や調理器具に水気がたまつたまま収納しない。

収納時に水が垂れ、庫内のすき間および下面から水が垂れる恐れがあります。



水切りタイプにぬれたものを収納する場合、水受けトレー内に納まるように置く。

水受けトレーおよび、キャップレールより外側に置くと、収納庫の端から水が垂れる恐れがあります。



水受けトレー キャップレール

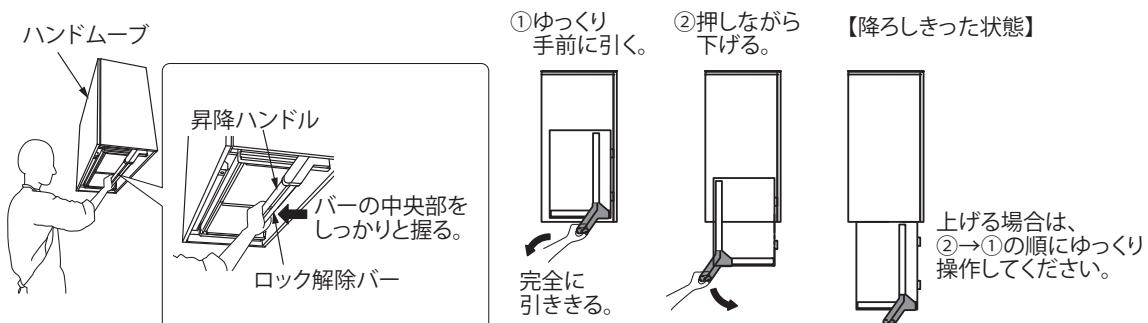
使い方

ハンドムーブの使い方

- 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。
- 収納庫全体の最大収納量は約 8kg です。
- 収納できる大きさは高さ 35cm、奥行き 23cm までです。
- 収納物の重さがかかるようないように、均等に収納してください。

注意

- 食器や調理器具などにたまつた水気をあらかじめ捨ててからしまってください。
- ぬれたまな板や洗ったものを背板に密着させて収納した場合に、背板や側板を伝って庫外に水が垂れることがあります。

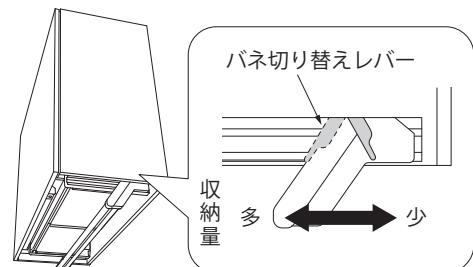


バネ切り替えレバーの調節

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

MEMO

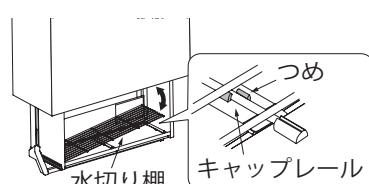
- 使い始めや、何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「小」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
- 収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げきってから、レバーを調節してください。



収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0 ~ 4 kg	少	少
4 ~ 7 kg	少	多
	多	少
7 ~ 8 kg	多	多

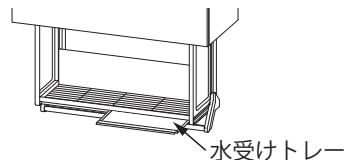
水切り棚の脱着

ゆっくりとキャップレールから外してください。
取り付ける場合は、キャップレールのつめにしっかりと押し込んでください。



水受けトレーの脱着

両手で持ち、ゆっくりと手前にスライドさせ、外してください。



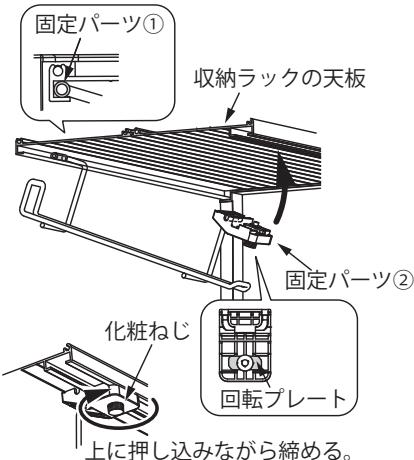
6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.4. ハンドムーブ

ラックの脱着（皿立てラック・カトラリーラックを除く）

取り付け方

- 上棚板裏面の奥側にあるラック取付溝に固定パーツ①を下方向からはめ込む。
固定パーツ①をはめ込む際は、右図を参照して向きに注意してください。
- 回転プレートが手前にあるラック取付溝に平行であることを確認し、固定パーツ②を下方向からはめ込む。
- 固定パーツ②の化粧ねじを上に押し込みながら締め、ラックを固定する。
ラックの化粧ねじは確実に締め、固定パーツ①②が外れないことを確認してください。



取り外し方

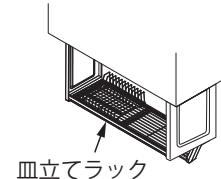
外すときは、化粧ねじを上に押し込みながら、取り付けのときと逆の手順で外す。

皿立てラックの脱着

水切り棚の目に合わせて置いてください。

MEMO

収納庫のたわみを避けるため、皿立てラックをご使用の際は、収納庫の中央付近への設置は避け、左右どちらかに寄せてご使用ください。中皿、大皿（直径 23cm）11枚まで収納できます。



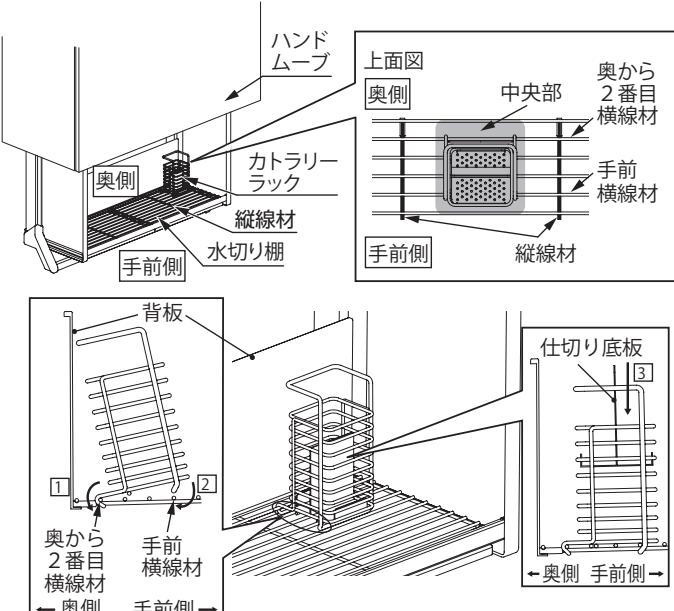
カトラリーラックの脱着

カトラリーラックは水切り棚に取り付けて、箸や、スプーン、フォークなどのカトラリー類を収納することができます。

カトラリーラックの脱着はハンドムーブ水切り棚の縦線材間の中央部で行ってください。

取り付け方

- カトラリーラックのフック形状の脚を水切り棚の奥から2番目の横線材に引っ掛ける。
- カトラリーラックの手前側の脚を本体を手前に引きながら水切り棚の手前の横線材にはめ込む。
- 仕切り底板を上部から入れる。



取り外し方

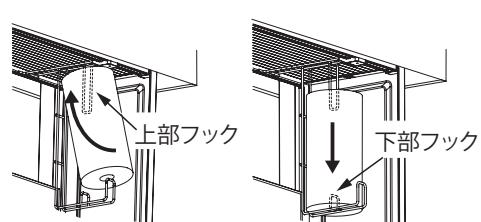
取り付けのときと逆の手順で取り外す。

MEMO

・構造上、固定が固くなり、取り外しにくい場合があります。必ず、水切り棚を押さえながら取り外してください。
・カトラリーラックの脱着はラック内および収納庫内の収納物を取り除いてから行ってください。
・収納する際は、ハンドムーブ本体から収納物が出ないように収納してください（収納物長さ制限：30cm）。

ペーパーホルダーの使い方

- ペーパーホルダーの上部フックにキッチンペーパーを下方向からはめ込む。
- キッチンペーパーを奥側の下部フックにはめ込む。



7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

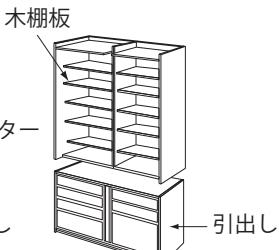
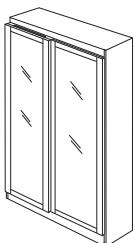
7.1. システムエリア収納

システムエリア収納は、食器や食材、調理道具の収納などに適した収納庫です。

内部にカウンターを備えたタイプでは、さっと隠せる一時置きやちょっとした作業スペースに使えます。

参照

9.3. 照明器具 P.93



● 使用上の注意



必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

引き違い防止部品に強い衝撃を与えると、異音や破損の原因となります。



必ず実行

内引出しを引き出す際は、扉が開ききった状態であることを確認し、引き出す。

内引出しとガラス扉がぶつかって、破損する恐れがあります。

● ガラス棚板



必ず実行

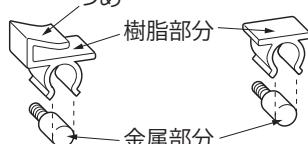
専用のガラス棚受け用ダボを使用する。

その他のダボを使用すると、棚板がガタついたり、落下の原因になります。

〈ガラス棚受け用ダボ〉

〈前側用〉

〈後ろ側用〉



必ず実行

取り付けるときは、「上面」と書かれたシールが貼られた面が上になるように設置する。

飛散防止フィルムに傷がつく恐れがあります。

● 使い方

システムエリア収納の使い方

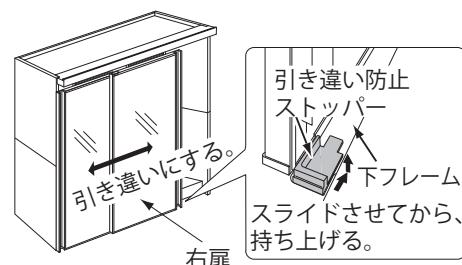
扉端の取っ手中央部を持ってゆっくり開閉してください。

● お手入れのしかた

ガラス扉の裏面は飛散防止フィルム貼りです。裏面は表面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気をつけてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

扉の裏面をお手入れする場合

- 右扉の下フレーム右下に取り付けられている引き違い防止ストッパーを取り外す。
- 左右の扉を引き違いにし、扉の裏面を拭く。
- 清掃が終わったら、引き違い防止ストッパーを元の位置に取り付け直す。



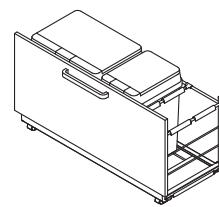
注意

引き違い防止ストッパーは、指はさみを防止するために必要な部品です。
お手入れした後は、必ず取り付けて使用してください。

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.2. リサイクルゴミワゴン

リサイクルゴミワゴンは、家電収納庫や引出し下のスペースに複数のゴミ箱が置け、資源ゴミの分別に便利です。キャスターつきなので作業中のゴミ捨ても簡単です。



使用上の注意



ポリ袋ストッパーと仕切りバーをワゴンの持ち手として使用しない。

ポリ袋ストッパーと仕切りバーが取れる恐れがあります。



必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

悪臭の原因になります。



生ゴミは収納しない。

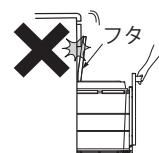
悪臭の原因になります。



必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。

フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。

破損の原因になります。



キャスターにゴミや汚れがついた状態で使用しない。

床材に傷や汚れがつく恐れがあります。

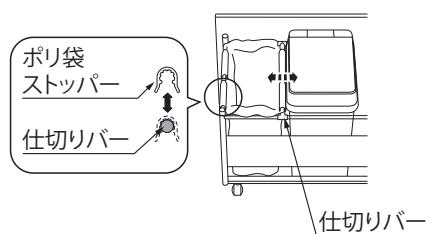
使い方

リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- ワゴンの開閉時は、両手で取っ手または、前板上部を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

ポリ袋の止め方

- ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
- ポリ袋ストッパーを上に引っ張って外す。
- 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにポリ袋ストッパーで止める。



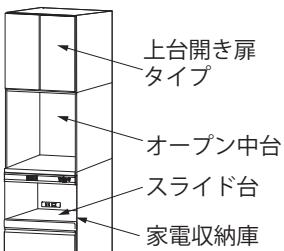
MEMO ポリ袋ストッパーがついていないタイプもあります。

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.3. 片面フロア・片面/両面ハイフロア・片面カップボード・コーナーパントリー

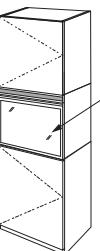
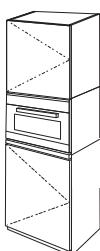
- 家電収納庫には、電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカーを置くことができます。
扉付家電収納の場合は扉ですっきり隠したまま湯沸かしや炊飯をすることができます。
- 片面ハイフロアオープン中台には、電子レンジを置くことができます。
- ウォールオーブン収納には指定機種のオーブンを置くことができます。
- カップボードはその他の周辺収納のアイテムとデザインを合わせてレイアウトできる収納です。
- コーナーパントリーはキッチン角のスペースを有効的に活用できる便利な大型収納です。食器や食材を収納できます。

〈片面ハイフロア中台・上台
家電収納庫〉



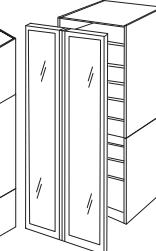
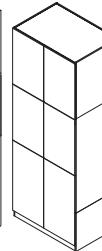
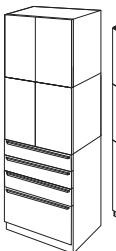
ウォールオーブン収納

〈ウォール家電収納〉

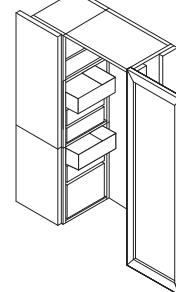


スイング
ダウン扉

〈片面カップボード〉



〈コーナーパントリー〉



● 使用上の注意



キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

必ず実行

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。

● ウォール家電収納



**キャビネット下台の引出しや扉を開いた状態でスイングダウン扉や
オーブンの扉を開閉しない。**

禁止

扉や引出しとスイングダウン扉やオーブンの扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

● 家電収納庫・扉付家電収納



家電の電源コードをスライド台のレールに、はさまない。

禁止

断線、感電の原因になります。



スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

禁止

破損の原因になります。

● 片面ハイフロアオープン中台



オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

必ず実行

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。

● 片面カップボード パントリータイプ



内引出しを最後まで閉めた状態で、扉の開閉を行う。

必ず実行

ラックのトレーと内引出し前板がぶつかり、傷がついたり、トレーが破損する恐れがあります。



収納ラックを取り外した状態で、中台の内引出し、棚板の脱着を行う。

必ず実行

内引出しや棚板がラックにぶつかって傷がつく恐れがあります。

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.3. 片面フロア・片面/両面ハイフロア・片面カップボード・コーナーパントリー

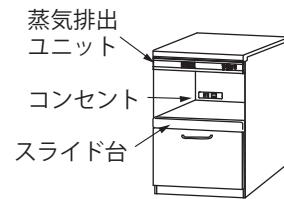
使い方

家電収納庫の使い方

- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントは1口 1480W以下の器具が使用できます。
- スライド台レールには、動き防止のためのストップバーがついています。スライド台を奥まで収納したときや手前まで引き出したときに炊飯器等の家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストップバーです。
- ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストップバーが働いていることを確認してください。
- 家電収納部の収納有効寸法は、下図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位:cm）〉

機種	キャビネット間口	収納部				
		高さ	間口	奥行き		
		45	47	65		
片面ハイフロア 家電収納庫タイプ	60		54			
	75	33	69	34		44
	90		84			
両面ハイフロア 家電収納庫タイプ	60		54			
	75	33	69		34	
	90		84			
ウォール家電収納庫 扉付家電収納庫タイプ中台	60	34	45			41
コーナー用家電収納庫上台	135		54	34		
	150	33	69			



注 意 電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器や電子レンジを置かないでください。

●扉付家電収納の使い方

- キャビネットについているスイングダウン扉を閉めた状態で、炊飯・湯沸かしができます。
- 蒸気排出ユニットのファンは自動で作動しますが、異常高温を検知した場合は、電気を遮断します。

片面ハイフロアオープン中台の使い方

- 片面ハイフロアオープン中台に電子レンジなどを置く場合は、天面・後面・両側面に器具指定の空間を設けてください。
- 付属のコンセントは2口合計1500W以下の器具が使用できます。

片面カップボードパントリータイプの使い方

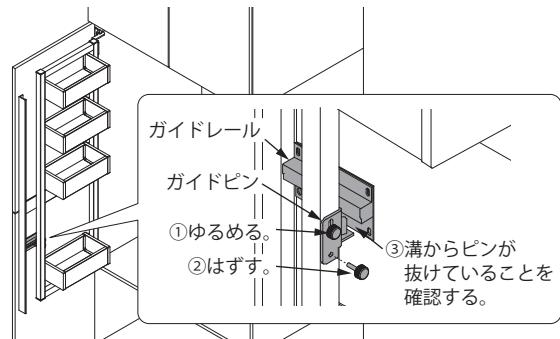
●扉裏収納ラックのトレーの脱着のしかた

注意 トレーに収納しているものを必ず全て取り除いてから脱着してください。

MEMO ラックはガイドピンによって扉に固定されています。

取り外し方

1. ガイドピンの上側のねじをゆるめ、下側のみねじを取り外す。
2. レール溝からピンが抜けていることを確認する。
3. トレーの裏面が見える位置までフレームを動かす。
4. トレーを軽く持ち上げ、傾けながら脱着を行う。

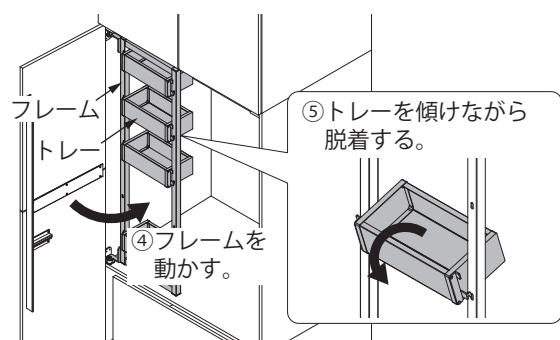


取り付け方

取り外し方と逆の手順で取り付ける。

●扉裏収納ラック本体の脱着のしかた

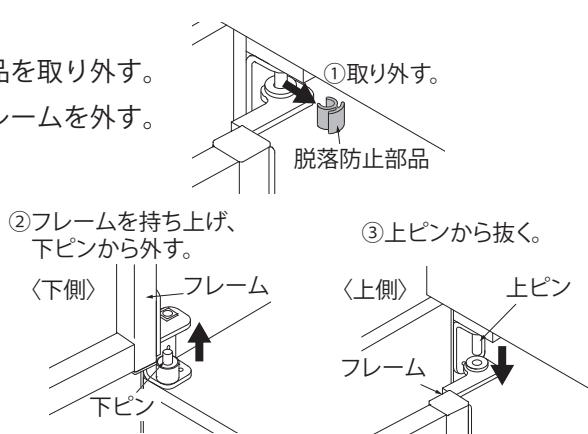
MEMO 中台の棚板や内引出しを取り外すためには、収納ラックの本体を取り外す必要があります。



注意 ガイドピンがガイドレールから抜けた状態にし、トレーを全て取り除いてから行ってください。

取り外し方

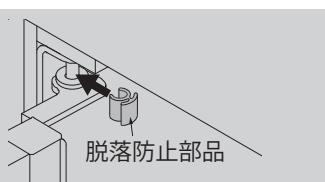
1. ラックの吊元上側についている脱落防止部品を取り外す。
2. フレームを上に持ち上げて、下ピンからフレームを外す。
3. 上ピンからフレームを抜く。



取り付け方

取り外し方と逆の手順で取り付ける。

注意 脱落防止部品は必ず元の位置に取り付けてください。



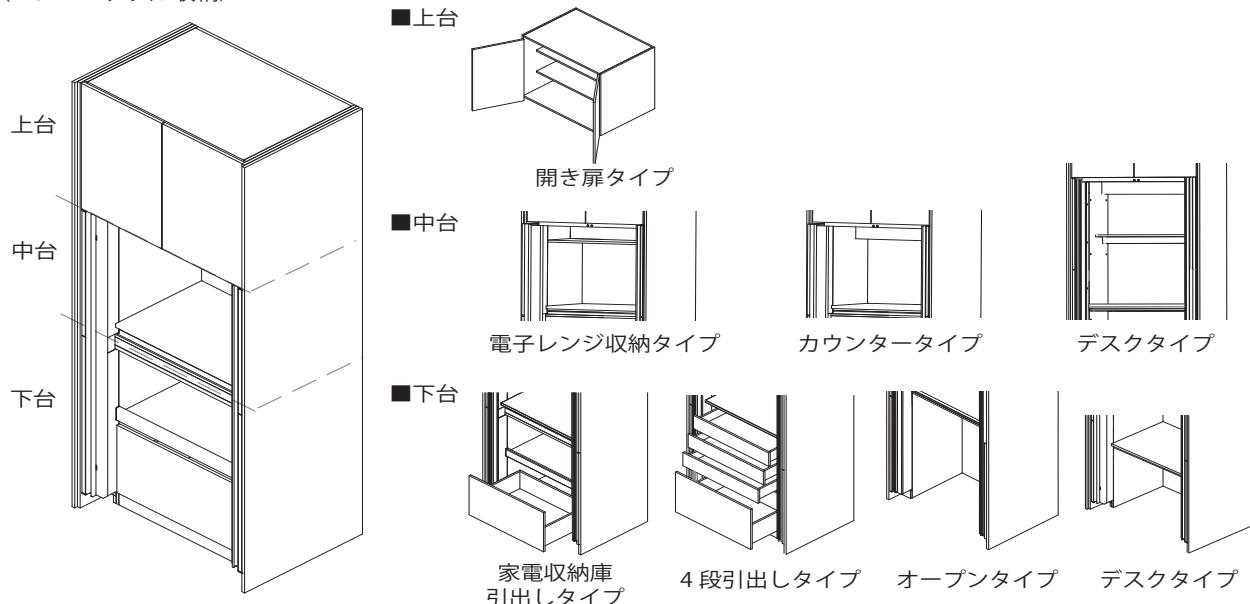
7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.4. コンバーチブル収納

コンバーチブル収納は、日常使いは扉を格納して使いやすく、来客時は扉を閉じることで収納物を隠し、すっきりと見せることができます。電子レンジ収納タイプ(中台)、家電収納庫引出しタイプ(下台)は、扉を閉めた状態でキャビネット庫内に熱がこもらないよう、扉を引き出すと通電が遮断される設計となっています。

参照 9.3. 照明器具 P.93

〈コンバーチブル収納〉



使用上の注意



キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

必ず実行

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。



扉やサイド化粧板にもたれかかったり、扉やサイド化粧板を前後に強く押さない。

扉やサイド化粧板がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



扉を引き出した状態のままで使用しない。

扉を引き出した状態で使用すると、ケガや破損の原因になります。



扉は 90 度以上開かない。扉を格納、または引き出す場合は、扉の開き角度が 90 度未満の状態で動かす。

扉を開き過ぎるとサイド化粧板と扉が干渉し、傷がつく恐れがあります。



扉は手前に完全に引き出した状態にしてから閉める。

扉が戸袋から完全に引き出されていない状態で無理に閉めようとすると、部品が破損する恐れがあります。



ガス機器、IH 調理器、電熱機器などの熱源が露出する機器は使用しない。

火災の原因となります。



ぬれたものを直接置かない。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。



炊飯器、ポット、電気ケトルなど蒸気が多量に出る機器を使用する場合、必ず家電収納庫引出しタイプ（下台）にて蒸気排出機能を作動させて使用する。

家電収納庫引出しタイプ（下台）以外の機種で蒸気が多量に出る機器を使用したり、蒸気排出機能を作動させずに使用したりすると、キャビネットの変色やふくれ、電気部品が破損する恐れがあります。

●電子レンジ収納タイプ（中台）



オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。



家電を使用する際は、扉を戸袋の奥まで格納した状態で使用する。

扉を戸袋の奥まで格納した状態の時のみ、通電します。キャビネット庫内に熱がこもらないよう通電遮断機能がついているため、扉を戸袋から引き出すと庫内の電源が遮断され、家電を使用できません。



使用後のオーブンレンジが高温である場合は、十分冷ましてから扉を開める。

冷却ファンが作動する機種の場合は、ファンが動いている間（最大30分程度。ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。）は扉を開めないでください。高温のまま扉を開めると、庫内に熱がこもり、キャビネットが傷んだり、収納機器が故障する恐れがあります。



棚板は外さない。

断線・感電の恐れがあります。

●家電収納庫引出しタイプ（下台）



家電を使用する際は、扉を戸袋の奥まで格納した状態で使用する。

扉を戸袋の奥まで格納した状態の時のみ、通電します。キャビネット庫内に熱がこもらないよう通電遮断機能がついているため、扉を戸袋から引き出すと庫内の電源が遮断され、家電を使用できません。



家電の電源コードをスライド台のレールに、はさまない。

断線、感電の原因になります。



スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。



内引出しやスライド台を引き出す際は、扉を戸袋の奥まで格納した状態で引き出す。

スライド台と扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

●4段引出しタイプ（下台）



内引出しを引き出す際は、扉を戸袋の奥まで格納した状態で引き出す。

内引出しと扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

●デスクタイプ



カウンター上で直接筆記作業を行わない。

筆記のあとが残る場合があります。

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

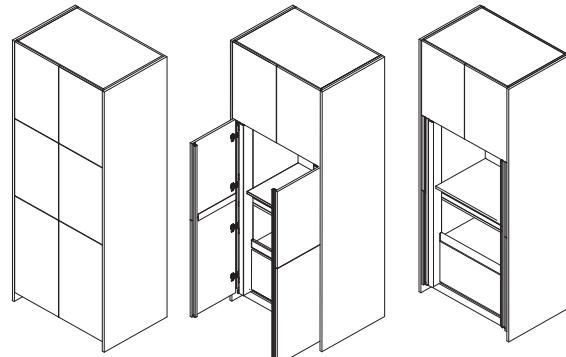
7.4. コンバーチブル収納

使い方

上台は開き扉仕様です。

中台と下台は扉が一体になっており、キャビネットの両側の戸袋部分に扉を収納できます。

〈扉を閉めた状態〉 〈扉を開けた/引き出した状態〉 〈扉を収納した状態〉



中台・下台の扉の開閉のしかた

扉の開け方・格納のしかた

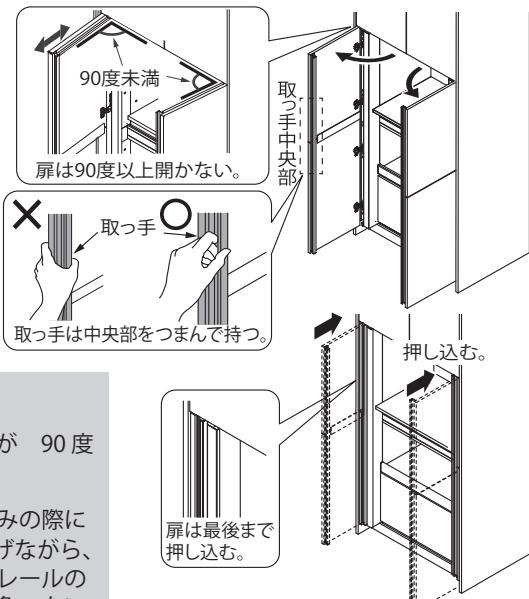
- 扉を開く。
- 取っ手の中央をつまみ、戸袋に扉を押し込む。

扉の引き出し方・閉め方

「扉の開け方・格納のしかた」と逆の手順で戸袋に格納された扉を引き出し、閉める。

注 意

- 扉を 90 度以上開かないでください。
- 扉を格納、または引き出す場合は、扉の開き角度が 90 度未満の状態で動かしてください。
- スライドレールの特性上、扉の引き出し、押し込みの際に動きが固くなる場合があります。扉を軽く持ち上げながら、ゆっくり力をかけ扉を全て引き出すと、スライドレールの動きの固さは解消されます。これは「クリープ現象」といいうスライドレールの特性のため、故障ではありません。



電子レンジ収納タイプ（中台）の使い方

- 電子レンジを置くことができ、使用しない時はすっきり隠せます。
- 電子レンジや家電などを置く場合は、天面・後面・両側面に機器指定の空間を設けてください。
- 付属のコンセントは、1500Wまでの機器が使用できます。
- 家電製品の使用時は扉を戸袋の奥まで格納した状態にしてご使用ください。

〈電子レンジ収納タイプ 収納有効寸法(単位:cm)〉

キャビネット 間口	収納部		
	高さ	間口	奥行き
75	52	56	51
90		71	

※カウンターの奥行きは 48cm です。
電子レンジの脚の位置にご注意ください。

注 意

- 電子レンジ収納タイプ（中台）で家電製品を使用するときには、必ず左右両方の扉を戸袋の奥まで格納した状態でご使用ください。
- 扉が戸袋の奥まで格納されないと、通電せず、コンセントが使用できません。
- 扉を閉めた状態で通電する場合は故障している恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参 照

アフターサービスのご用命 裏表紙

カウンタータイプ（中台）の使い方

付属のコンセントは、2口合計 1500Wまでの機器が使用できます。

家電収納庫引出しタイプ（下台）の使い方

- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントは1口 1480W以下の機器が使用できます。
- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときや手前まで引き出したときに炊飯器などの家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- ご使用になるときは、スライド台を奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。
- 家電製品の使用時は扉を戸袋の奥まで格納した状態にしてご使用ください。
- 家電収納部の収納有効寸法は、下図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位：cm）〉

機種	キャビネット 間口	収納部		
		高さ	間口	奥行き
コンバーチブル収納	75	51		
家電収納庫引出しタイプ（下台）	90	66	44	



注意

- 家電収納庫引出しタイプ（下台）で家電製品を使用するときには、必ず左右両方の扉を戸袋の奥まで格納してください。
- 扉が戸袋の奥まで格納されないと、通電せず、コンセントが使用できません。
- 炊飯器の保温モードや予約モードなどを使用する際は、途中で扉を戸袋から引き出すと庫内の通電が遮断され、ご使用できませんので注意してください。
- 扉を閉めた状態で通電する場合は故障している恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参考

アフターサービスのご用命 裏表紙

デスクタイプの使い方

- デスクタイプ（下台）には椅子などを収納することができます。
- 付属のコンセントは2口合計1500Wまでの機器が使用できます。

〈デスクタイプ収納有効寸法（単位：cm）〉

キャビネット 間口	収納部		
	高さ	間口	奥行き
75	56	45	
90	64	71	

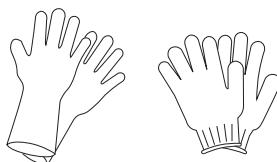
目隠し板の脱着のしかた

注意

目隠し板を取り外さないと中台・下台の丁番調整ができません。

MEMO

ケガを防ぐために手袋の使用をおすすめします。



取り外し方

ゴム手袋

軍手

- 取り外す目隠し板側の扉を開き、完全に引き出す。
- 目隠し板のキャップを取り外す。

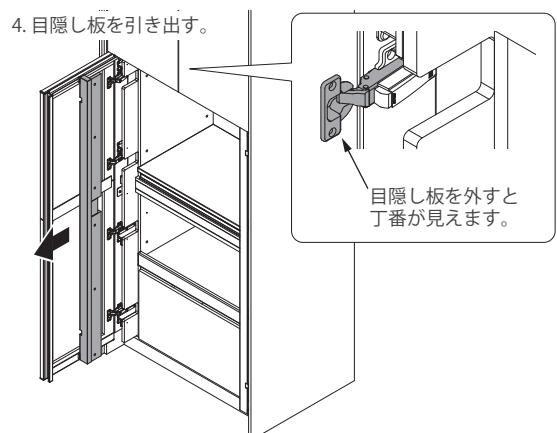
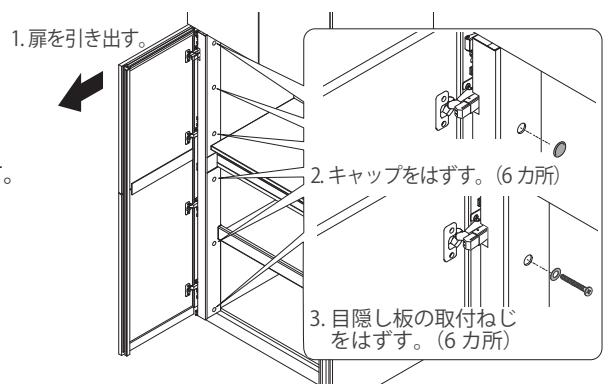
MEMO

キャップが外れづらい場合は、キャップと目隠し板の間に薄いヘラ等を差し込むと外れやすくなります。

- キャップを取り外した箇所のねじ穴に取り付けられているねじを⊕ドライバーで取り外す。
- 目隠し板を引き抜き、キャビネットから取り外す。

注意

目隠し板は重いため、落とさないよう注意して取り外しを行ってください。落とすと、ケガをしたり部材が破損する恐れがあります。



7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.4. コンバーチブル収納

- 丁番を調整する。

参照

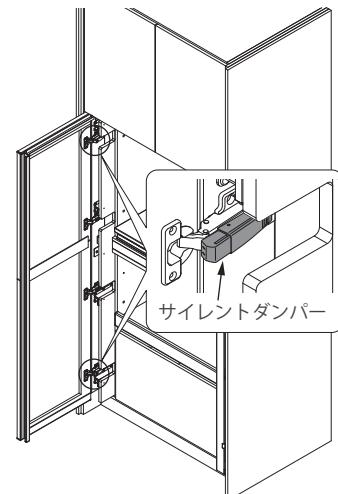
開き扉の調整のしかた P.63

取り付け方

注意

目隠し板を取り付ける前に、丁番にサイレントダンパーがついていることを確認してください。

サイレントダンパーは、1番上の丁番と1番下の丁番に取り付けてください。



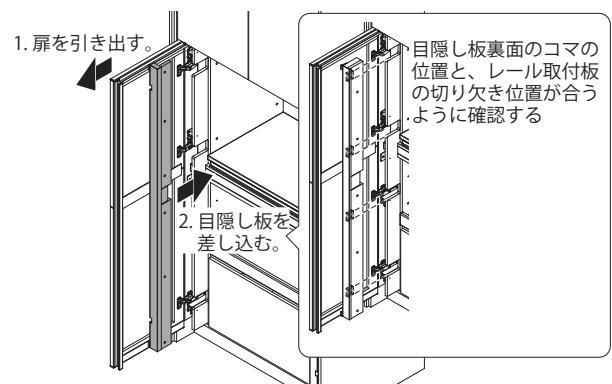
参照

サイレントダンパーの脱着 P.64

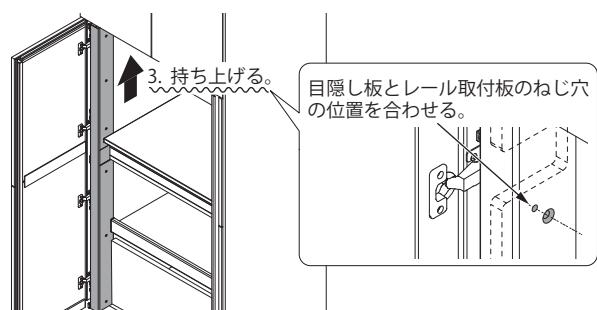
- 取り付ける目隠し板側の扉を完全に引き出す。
- 目隠し板のコマの位置が、レール取付板の切り欠きの形状に合うことを確認し、目隠し板を垂直に奥まで差し込む。

MEMO

目隠し板をキャビネット外側に寄せて差し込むとスムーズに取り付けられます。



- 目隠し板を差し込んだ状態で上に持ち上げ、目隠し板のねじ穴とレール取付板のねじ固定用穴の位置を合わせる。

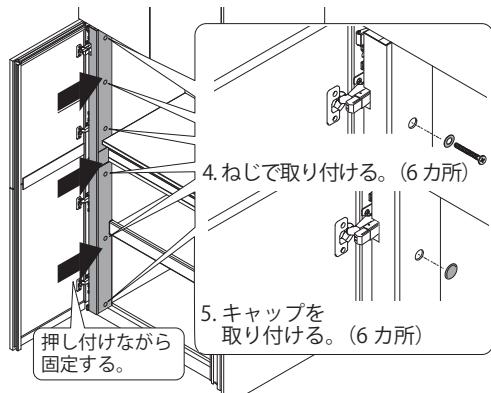


- ねじにワッシャーを入れ込み、⊕ドライバーを使用して目隠し板をねじで取り付ける。

MEMO

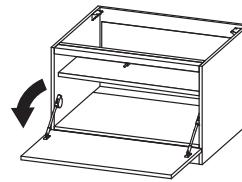
目隠し板とキャビネット側板の間にすき間ができるないように、目隠し板を右図の矢印方向に押し付けながらねじを締める。

- ねじ穴にキャップを取り付ける。



7.5. リビング収納

- リビングの収納のインテリアティストをキッチンや周辺収納と統一することができます。
- 配線加工をした場合は、カウンターから配線を通すことができ、テレビ台としてもお使いいただけます。
- ガラス扉の場合は、扉を閉じたままリモコンの操作が可能です。



使用上の注意



開いた扉の上やカウンターに体重をかけない。

禁止

扉が落下したり、キャビネットが破損して、ケガをする恐れがあります。



扉を開けるときは手を添えて開ける。

必ず実行

急に扉が手前に飛び出る恐れがあります。

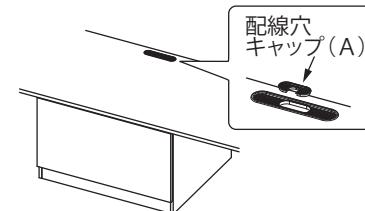
使い方

配線の通し方

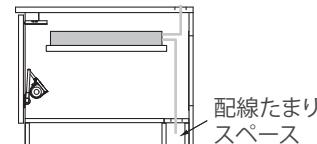
- 配線加工をした場合、カウンターから配線を通すことができます。

MEMO

- 配線穴キャップ (A) は必要に応じて取り外してお使いください。
- 配線穴キャップには空気穴が設けられています。収納する機器によっては、上部に配線穴キャップがあるキャビネット内に収納することをお勧めします。

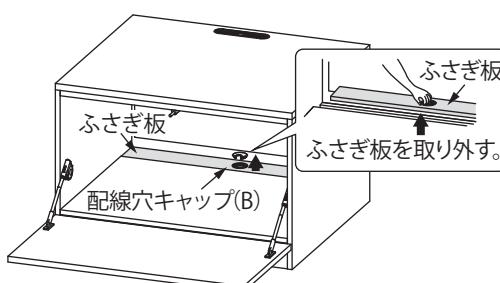


- キャビネット間には配線通し用の穴が開いています。キャビネットを通して配線したい場合にお使いください。また、余った配線は、配線たまりスペースに収納できます。



ふさぎ板の外し方

- 棚板を外す。
- ふさぎ板についている配線穴キャップの穴を使って、ふさぎ板を外す。
- 配線を配線穴キャップに通して、ふさぎ板を取り付ける。

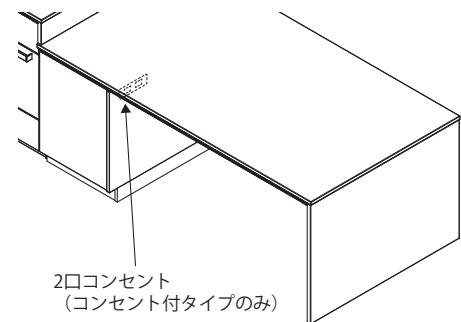


MEMO

配線穴キャップ (B) は必要に応じて取り外してお使いください。

7.6. ダイニングテーブル

キッチンと横並びに配置されたセラミック製のダイニングテーブルです。コンセント付タイプの場合、キッチン側サイドキャビネットの側面に2口のコンセントがついています。



使用上の注意

●天板共通、脚部



強い衝撃を与えない。天板に乗らない。

破損の原因になります。



硫酸・塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗浄剤、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。



脚部には、塩素系の洗剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。



粒子の粗い、または研磨材含有量が多い（20%を超えるもの）や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります



テーブルをまな板代わりに使用しない

傷がつく恐れがあります。



テーブルの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れなどの恐れがあります。置く場合は鍋敷き（厚さ1cm以上）などを使用してください。



食器や調理器具の置き方に注意し、引きずらない。

表面に傷がつく恐れがあります。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用下さい。

特に濃色のテーブルや鏡面仕上げのテーブルの場合は、傷が目立つので注意してください。



水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

●セラミックテーブル、サイド化粧板



端部に、強い衝撃を与えない。

禁止

破損（割れ、欠けなど）の原因になります。破損した場合、補修はできません。



鏡面タイプは、傷が目立つ恐れがあるので、取り扱いに注意する。

禁止

目立つ傷が発生しても、補修することができません。

●キャビネット



ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

必ず実行

悪臭の原因になります。



生ゴミは収納しない。

禁止

悪臭の原因になります。

お手入れのしかた

通常のお手入れ

水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

汚れた場合のお手入れ

中性洗剤をつけたメラミンフォームまたは粒子の細かい（研磨材 20%以下）クレンザー（液体クレンザーなど）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注意

- ・お手入れを長時間放置すると、こびりついで落としにくくなるため、こまめに天板全体をお手入れしてください。
- ・セラミックテーブル、サイド化粧板の場合は、研磨粒子入りの洗浄具（不織布タワシなど）やサンドペーパーは使用しないでください。つやがなくなり、白くくもる恐れがあります。鏡面仕上げの場合は、金属タワシも使用しないでください。

使い方

付属のコンセントは、2 口合計 1500Wまでの容量の機器が使用できます。

注意

電子レンジ、卓上の食器洗い乾燥機など、規定以外のプラグを使用した機器には使用しないでください。

8. 収納アイテムの使い方-キッチン対面収納

8.1. デュアルトップ対面 ハイタイプ上台

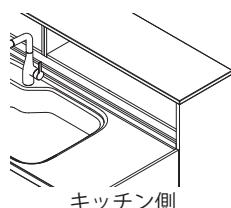
- ・デュアルトップ対面ハイタイプ用上台（奥行き 98cm）は両面収納になっており、扉を開閉し、キッチン側からでもダイニング側からでも取り出せます。※奥行き 80cmの場合はキッチン側のみから取り出せる収納です。
- ・両面引出しありのタイプは、調味料や食器、カトラリーなどの小物を両側から開閉・収納できます。
- ・収納できる大きさは以下のとおりです。

オープン収納部：高さ 14cm以内、奥行き 30cmまで。

（奥行き 80cmは、高さ 14cm以内、奥行き 11cmまで。）

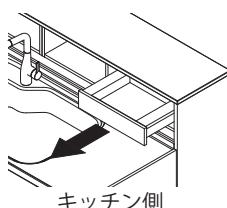
両面引出し部：高さ 11.5cm以内、奥行き 25.5cmまで。

〈両面引出しなし〉

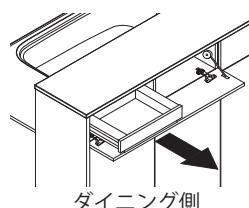


キッチン側

〈両面引出しあり〉



キッチン側



ダイニング側



使用上の注意



必ず実行

扉を開けるときは手を添えて開ける。

扉が急に手前に飛び出る恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内部やレール部に水滴・液だれがついた場合は、すぐに拭き取る。

キャビネットの変色やふくれ、錆びなどの恐れがあります。



禁止

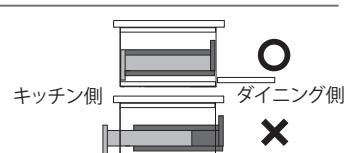
ぬれたものを直接置かない。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。



必ず実行

両面引出しありの場合は、キッチン側引出しと、ダイニング側引出しが閉まりきっている状態になってから片側ずつ操作する。



動作不良や故障の原因となります。



必ず実行

引出しを開閉する際は、前板中央部を持ち、ゆっくりと操作する。

勢いよく閉めると反対側に引出しが飛び出し、故障や破損の原因となります。

両面引出しの脱着

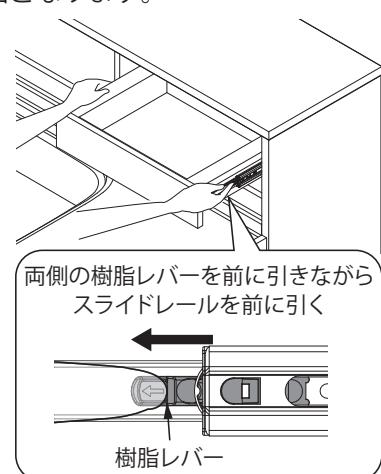
取り外し方

引出しを全開状態まで引き出し、両側のスライドレールの側面にある樹脂レバーを前に引きながら、レールと平行に静かに引き出す。

取り付け方

スライドレールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かにグッと奥まで押す。

このとき、左右両方のスライドレールのガイド部分を収納庫内に移動しておくと、作業がやりやすくなります。



注意

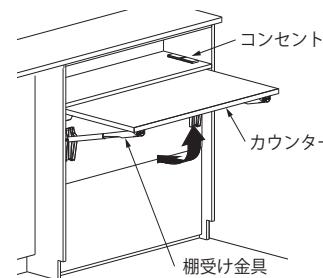
お掃除をするために、引出しを脱着する際は、必ずキッチン側から行ってください。

ダイニング側は脱着しにくいため、故障の原因となる場合があります。

8. 収納アイテムの使い方-キッチン対面収納

8.2. デュアルトップ対面 デスクタイプ

- ・デュアルトップ対面デスクタイプは在宅ワークなどの用途で、作業スペースとして活用できます。
- ・カウンターを使用しないときはカウンターを閉じることができます。
- ・カウンターの重量制限は 20kg までです。



使用上の注意



注意

カウンター上で直接筆記作業を行わない。

筆記のあとが残る場合があります。



注意

カウンターを使用しない際は必ずカウンターを閉じた状態にする。

体の一部がぶつかり、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

金具にゴミやほこりが付着していたら乾いた布で拭き取る。

ゴミやほこりが付着している状態で、カウンターの開閉を行うと金具にキズがつく恐れがあります。



禁止

カウンターに過度な力や体重をかけない。

故障の原因になります。



禁止

カウンターに座らない。

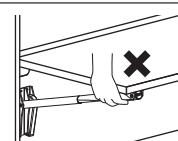
故障の原因になります。



禁止

横から操作をしない。

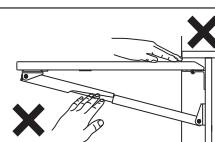
手や指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



禁止

機構部や金具、本体のすき間に触れない。

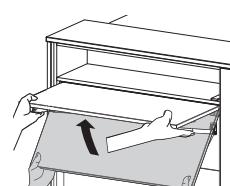
手や指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



使い方

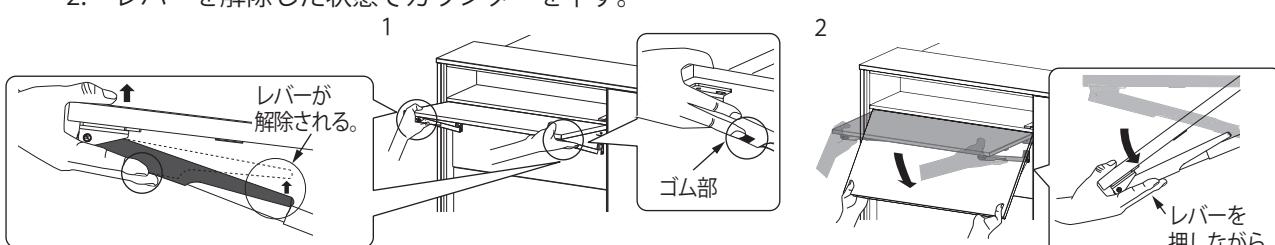
デスクタイプ用カウンターの開き方

1. カウンターを前から持つ。
2. カウンターを“カチッ”と音が鳴るまで持ち上げる。



デスクタイプ用カウンターの閉じ方

1. ゴム部に指を当てて、カウンターを持ち上げながら、左右のレバーを同時に上に押し上げる。
2. レバーを解除した状態でカウンターを下す。



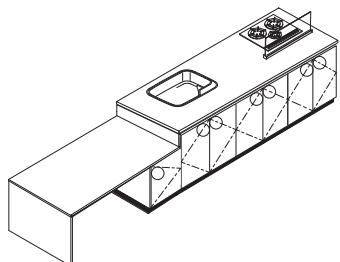
9. その他部材

9.1. プッシュラッチ・扉開放防止部品・コーナーアングル

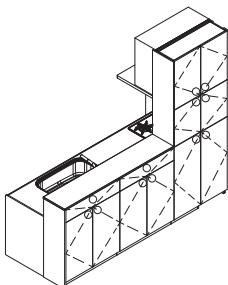
プッシュラッチ

下図の○付近を押すと、扉が開きます。

- ・対面用キャビネット
開き扉タイプ
- ・ダイニングテーブル用
サイドキャビネット

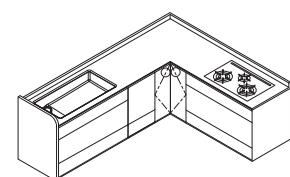
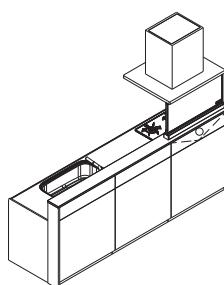


- ・デュアルトップ対面用
キャビネット 奥行き98cm
開き扉/コンロ前収納庫プラン



奥行き80cm

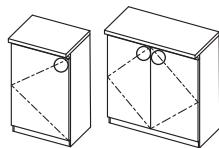
- ・コーナーキャビネット
棚板タイプ



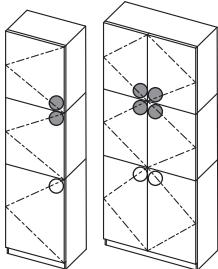
※耐力壁対応プラン、カウンター対面プランはイラストと異なります。

※上図のレイアウトは代表例です。開き扉はすべてプッシュオープンになります。

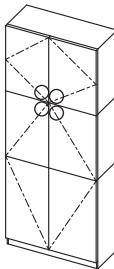
- ・片面フロア、ハイフロア、
両面ハイフロア
開き扉タイプ



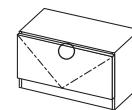
- ・片面カップボード
扉面材タイプ、パントリータイプ



- ・コンバーチブル収納



- ・リビング収納



※パントリータイプの場合は
●部を押してください。

MEMO

押す場所やプッシュラッチの出代によっては、開閉しにくい場合があります。

○付近を押しても開閉しにくい場合は、P.65「プッシュラッチの調節のしかた」を参照し、
プッシュラッチの出代を調節してください。

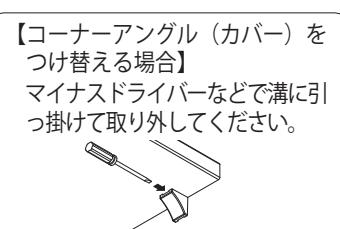
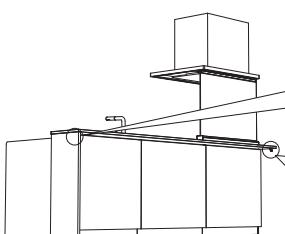
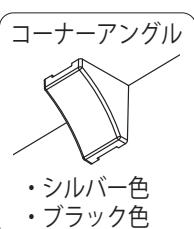
扉開放防止部品付キャビネットの使い方

- 扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- 地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- 扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

コーナーアングル

デュアルトップ対面 / ロータイプのオープンタイプ・セミ収納タイプの場合にコーナーアングルがついています。

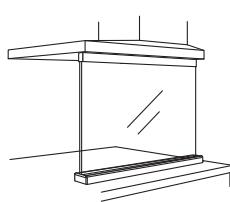
壁やサイド化粧板と合わせてシルバー色またはブラック色を予めつけていますが色を変えたい場合は、お手元にあるシルバー色またはブラック色のカバーを付け替えてください。



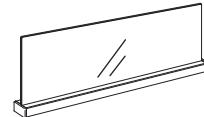
9.2. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。

〈ハイタイプ〉



〈ロータイプ〉



使用上の注意



金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。



ダイニング側のガラス面にはガラスクリーナーを使わない。

フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。

お手入れのしかた

- 汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

9.3. 照明器具

使用上の注意



照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっているので、素手で触らない。

やけどする恐れがあります。



LED 照明を長時間直視しない。

禁止

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いため、目を傷める恐れがあります。



LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

禁止

器具の破損や火災の恐れがあります。

LED 照明について

- LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70% の照度になります。
- LED 照明には光のバラつきがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

お手入れのしかた

参考

照明器具に付属の説明書

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。仕上げに乾いた布でもう一度器具を拭いてください。
- 汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

9.4. 壁パネル

マグネット対応壁パネルはマグネットが取り付けられるパネルです。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響をおよぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず30cm以上離してご使用ください。※マグネット壁パネル単体は磁気を発していません。

注意

- 市販のマグネット製品をお使いになる際は、マグネットに表示されている耐荷重の25～35%程度になります。あらかじめ保持力の確認をお客様自身で行ってください。万一、磁石の落下によるケガおよび損害が発生した場合、また磁石の使用による化粧面の損傷は、当社およびその販売会社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- マグネット対応壁パネル表面の微細な凹凸、水気、汚れの状態、ご使用になるマグネットの仕様や面積によっては、同じパネル内でも部分的にマグネットが滑りやすくなる場合があります。

● 使用上の注意

● 壁パネル共通



パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

禁止

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。



パネルに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

禁止

傷などの損傷が生じる恐れがあります。



パネル部は粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

禁止

傷がつく恐れがあります。



家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、強アルカリ、弱酸性洗剤を使用しない。

禁止

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。



パネル部は油性ペン、ホワイトボード用マーカーなどを使用しない。

禁止

油性ペンの色が残る恐れがあります。

● マグネット対応パネル



パネル部にマグネットを長期間貼り付けたままにしない。

禁止

マグネットの色がパネルに移る恐れがあります。



市販のマグネットを使用する場合は、マグネットがズリ落ちたり、吊り下げるものが落下しないか確認してから使用する。

必ず実行

マグネットが落下してケガをしたり、カウンターが破損する場合があります。



市販のマグネットを使用する場合は、パネル部に傷がつかないか十分に確認してから使用する。

必ず実行

市販のマグネットを使用する場合、パネルに傷がつく恐れがあります。



マグネットを取り付けるときは、加熱機器や電子レンジなどの離隔距離を守って設置する。

必ず実行

加熱調理機器から15cm(間口75cm相当のトッププレートの場合は7.5cm以上)離してください。
電子レンジなどその他の機器の離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。



必ず実行

マグネットを取り付けるときは、水栓や昇降吊戸棚が当たらない位置であることを確認する。

マグネットや水栓、昇降吊戸棚の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合、収納物の重さに耐えられる保持力のマグネットを使用する。

マグネットの保持力の目安が、耐荷重の約 25 ~ 35%程度になります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合、マグネットの接する面が平らなマグネットを使用する。

滑りやすいマグネット、接する面が平らでないマグネットは、固定できない場合があります。



必ず実行

マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

マグネット対応壁パネルがぬれていたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。



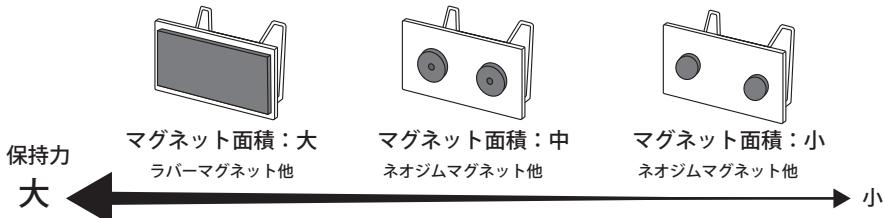
注意

マグネット製品はパネル部に傷がつきにくい製品を使用する。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。

金属が直接当たるマグネット製品や硬質で強力なマグネット製品等はパネルに直接当たって傷がつきやすいためご注意ください。

MEMO 傷がつきにくく、保持力が高いため、下記のようなマグネットを推奨しています。



9.4. 壁パネル

お手入れのしかた

クリン壁パネルの場合

- ・通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- ・パネル間の目地はゴミや油がつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください

マグネット対応壁パネルの場合

定期的にパネル表面をお手入れしてください。マグネットの接触面に汚れや異物があると、保持力の低下につながります。

●通常のお手入れ

水を含んだ布又は中性洗剤を付けたやわらかい布又はスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭きとってください。最後に乾いた布で乾拭きしてください。

●月に一度

マグネット製品を取り付けている場合は、月に一度は取り外して接触面を清掃し、取り付け直してください。

注意

- ・お手入れの際は、必ずすべてのマグネット製品を取り外してからお手入れしてください。マグネット部に洗剤がかかると、マグネットの保持力の低下の原因になります。
- ・汚れを長時間放置するところびりついて落としにくくなるため、気づいたらをお手入れしてください
- ・長時間マグネットが接触していると、マグネットの色がパネルに移り、跡が残る場合があります。

10.1. シンクアクセサリーパーツ

● 使用上の注意

● サポートプレート、洗剤ラック、水切りカゴ



シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

必ず実行

落下する恐れがあります。

● アクセサリーパーツ

※AEシンク用の排水プレートの★マークには、カラー記号が入ります。N(ホワイト)/G(ベージュ)/P(コーラル)/B(ブルーグレー)
※AKシンク用の排水プレートの■マークには、カラー記号が入ります。W(ホワイト)/F(グレー)/A(チャコール)/J(ベージュ)

お使いのシンク	SHシンク	SCシンク	BWシンク	BF/JX/JSシンク	JM/JLシンク	JTシンク	AEシンク	AKシンク
ステンレスシンク								
クリンラック					—	—		
スリムラック	—	※クリンラックを外して、スリムラック(BWシンク用)を付け替えることができます(オプション)。 	KAP-CK9			—		
付属品 サポートプレート	—	ZKPPRN-D				—		
排水プレート			KAP-HP10	KAP-HP12★	KAP-H12■			
浅型カゴ			KAP-H8					

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10. アクセサリーパーツのご案内

10.1. シンクアクセサリーパーツ

お使いのシンク	SH/SC/BWシンク	BF/JX/JSシンク	JM/JLシンク	JTシンク	AEシンク	AKシンク
オプション品	ステンレスシンク 					
	止水キャップ ZKPLNN-K	F-2	ZKPLNN-K			
	クリンラック —	ZKPSFN-D		KAP-CK7		
	サポートプレート ZKPPJN-K ※メッシュタイプ	ZKPPFN-D ZKPPQN-D ZKPPRN-D ZKPYBN-D ZKPYAN-D		ZKPPXN-K		
	水切りバスケット ZKPNNN-K	ZKPSNN-D				—
	まな板ブック (I型・L型用) ZKPAHN-K ※フルティックス、モリタ等のカットップの場合は取り付けられません。			—		
	まな板スタンド —	ZKPBNN-K				
	クリンコーナー ZKPKNN-K					

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.2. 引出しオプションパーツ

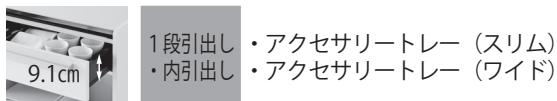
引出しオプションパーツを使用すれば、より効率的な収納ができます。各オプションパーツの取り付け可能な引出しについては、以下のイラストを参照してください。

〈引出しオプションパーツの使用可能場所〉

〈CENTRO キッチンセット側〉



〈収納側〉



10.2. 引出しオプションパーツ

アクセサリートレー

引出しにぴったり納まり、細かな収納を仕切ることができます。



アクセサリートレー
(スリム)

使用例

アクセサリートレー
(ワイド)

使用例

トレーの種類	タイプ	奥行き	品名
アクセサリートレー (スリム)	内引出し用	45cm用	ZKH045ES-D
		50cm用	ZKH055ES-D
	引出し用	30cm用	ZKH030DS-D
		35cm用	ZKH035DS-D
		45cm用	ZKH045DS-D
		50cm用	ZKH050DS-D
		55cm用	ZKH055DS-D
アクセサリートレー (ワイド)	—	—	ZKH022NL-D

立て置き収納

シンクキャビネットの1段目、コンロキャビネットの1段目（グリルレスコンロの場合は2段目）の引出し庫内を仕切りながら、調理用具などを立てて収納できます。ツールコンテナ付タイプには取り付けできません。

トレーの種類・奥行き	品名
側板取付用クロスギャラリー	間口60cm用
	AGNK060NCNN-B
	間口75cm用
	AGNK075NCNN-B
	間口90cm用
	AGNK090NCNN-B
	間口105cm用
	AGNK105NCNN-B
間口75cm用インセットパネル ・見切り板付用	AGNK075NCKN-B
	AGNK090NCKN-B
	AGNK105NCKN-B
ギャラリー取付用クロスギャラリー	AGNK028NDNN-B
クロスギャラリー用デバイダー	AGNKNNNNENN-B
クロスギャラリー用小物立て	AGNK013NFNN-B

パーテーショントレー（シンクキャビネット用フロアコンテナ専用）

フロアコンテナ内を仕切りながら、ストック品などを正面に並べて収納できます。

品名
ZKH016NM-D



パーテーショントレー

使用例

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.2. 引出しオプションパーツ



パントリータイプ扉裏収納ラック用トレー

最大1個まで追加することができます。

対応間口	品番
間口75cm用	KAP-PTRT075
間口45/90cm用	KAP-PTRT045
間口60cm用	KAP-PTRT060



間口 75cm用



間口 45/90cm用



間口 60cm用

10.3. 便利アイテム



スクエアタオル掛け

アンダーガードモールに取り付けるタオル掛けです。

使いやすい高さにタオルを掛けることができます。

品名
ZKHDAB-D

※タオル掛けをタオルをかける以外の目的で使用しないでください。

※以下の箇所には取り付けできません。

- ・コンロ前
- ・蒸気排出ユニットの上部
- ・引出しや開き扉の上部
- ・クラフツマンデッキシンクの下部
- ・食器洗い乾燥機の上部



スクエアタオル掛け



使用例



タオル掛け

シンクキャビネット専用のタオル掛けです。

引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

対応している取っ手の種類	品番	色
ライン取っ手	ZKHTDK-K ZKHTKN-K(2025年9月~)	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ZKHTDB-K ZKHTKB-K(2025年9月~)	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック
バー取っ手 ・ 取っ手レス	ZKHCAN-K ZKHCBN-K(2025年9月~)	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ZKHCAB-K ZKHCBB-K(2025年9月~)	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック



タオル掛け



使用例

※タオル掛けを取っ手代わりに引っ張らないでください。

※バー取っ手・取っ手レス用のタオル掛けの取付金具はステンレス色になります。

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.3. 便利アイテム



フロアコンテナ用ライザー（米びつ）

高さ 85cm以上、間口 45cm以上、奥行き 35cmのキャビネットのフロアコンテナ内に収納できます。お米が約 11kg 入る容量があります。

品名
ZKCFNN-K



フロアコンテナ用
ライザー

使用例

※深型食器洗い乾燥機用ベースキャビネットには対応不可です。
※引出し奥行き 35cm以下のフロアコンテナには収納できません。



ハンドムーブ用オプション

ハンドムーブに設置すれば、調理道具や食器等を収納するのに便利です。

●収納タイプ用

サポートラック

調味料ポット（高さ 12cmまで）などを収納できます。
最大収納量は約 3kgです。

品名
ZKMKNN-K



サポートラック

使用例

ペーパーラック

キッチンペーパー（直径 12cm×長さ 27cmまで）を立てて
収納しながらお使いいただけます。

品名
ZKMQJNN-K



ペーパーラック

使用例

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング <https://style.cleanup.jp/store/>

クリナップオンライン



- 商品仕様、価格および諸費用を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 予告なく廃番・製造中止等により供給できない場合があります。

11.1. Q & A

Q. 排水の流れが悪いです。

A. 次の点をご確認ください。

- ・シンクの浅型カゴにゴミがたまっていますか？
- ・シンクの排水口周りが汚れていますか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参考 部品ごとのお手入れ方法 P.36～37

- ・排水管が汚れていますか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。

参考 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.37

Q. 排水口が臭います。

A. 防臭パイプ、防臭器が汚れていますか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参考 部品ごとのお手入れ方法 P.36～37

Q. 排水口から "ゴボゴボ" 音がします。

A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

Q. 開き扉がガタつきます。

A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？
ねじがゆるんでいる場合は、④ドライバーで締めなおしてください。

Q. 引出しがきちんと閉まりません。

A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

参考 引出し前板の調整のしかた P.66

Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。

- ・食器などは水滴を拭き取ってから収納する。
- ・開封した食品は樹脂容器などに入れる。
- ・ときどき、扉を開放して換気する。

Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついたらどうしたらいいですか？

A. お手入れについては以下のページを参照してください。

参考 お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.28～29

Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

A. ①さびた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含めます。

- ②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムを掛けて放置します。軽いサビなら1日程度で除去できます。

Q. シンクやカウンター裏面が結露をおこしてキャビネット内に水滴が落ちてしまいます。また、ステンレスキャビネットが結露をおこして、キャビネット内やカウンター裏面にカビが発生しています。何か対策はありますか？

A. シンクやカウンター裏面の結露は、室内が高温多湿の状態で、冷たい水によりシンク表面が冷やされ、空気中の水蒸気が付着する現象です。ステンレスキャビネットもステンレス表面の温度が低いと、同様に結露が発生する場合があります。ぬれた部分やカビは拭き取り、キャビネット内の換気、市販の除湿剤を用いて湿気の除去を行ってください。

保証書

◎ システムキッチン用

シリーズ・品番	CENTRO			出張修理
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年月日	
★お客様	ご住所			
	お名前	様	TEL	()
★販売店	住所 店名	TEL	()	印 またはサイン

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことを約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

(1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。

(2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。

(3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。

(4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。

(5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。

(6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。

(7) 畫疵によらない自然の消耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。

(8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。

例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。

(9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。

例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。

ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。

(10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。

(11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。

(12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。

(13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。

(14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。

(15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。

(16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。

(17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。

(18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。

(19) 本保証書のご提示がない場合。

(20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。

(21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口 : クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ[®]株式会社

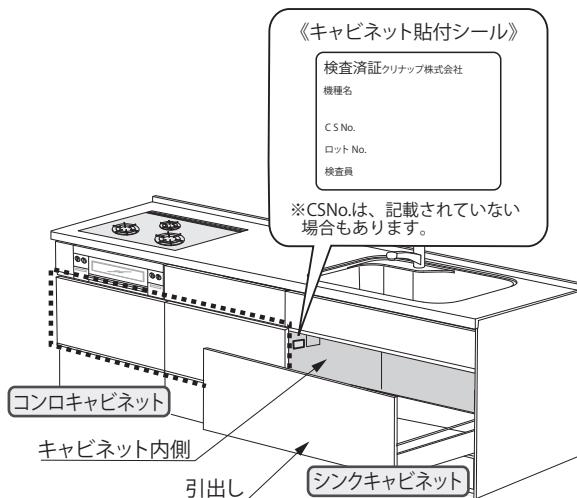
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22



修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。

また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状およびシンクキャビネット引出しを開け、内部をご確認いただき、貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください（シンクキャビネットで確認できない場合は、下図の「[]」のコンロキャビネットなど、ほかのキャビネットの内側でも確認できます）。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
☎	



廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。



アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●お電話でのご用命

📞 0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

受付時間 9:00~17:00

*9:00~11:00および12:00~13:00は混みあいます。

*年末年始はお休みさせていただきます。

*諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

*インターネット窓口では、Q&A（よくあるご質問）をご紹介しております。

修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

●インターネット窓口（クリナップホームページ内）

<https://cleanup.jp/support/>

右の2次元コードで「お客様サポートサイト」へ



お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。

あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの
訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを
訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは
一切関係ございませんので十分ご注意ください。